学校コード F139310110537 注3

設置年度 平成 31年度

計画の区分: 専門職大学の設置

注1



注2

高知リハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人高知学園 令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 庶務課

職名・氏名 課長 中平 憲一

電話番号 088-850-2311 (夜間) 088-850-2311

e —mail <u>syomuka@kochireha.ac.jp</u>

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
 - ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
 - 例) $\bigcirc\bigcirc$ 大学 $\triangle\triangle$ 学部 $\Box\Box$ 学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合:「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext,go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科

<理学療法学専攻>

	^~- <u>`</u>	シ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
3.	施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・ 4	12
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	13
5.	教員組織の状況 •••••••• 4	14
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・ 7	7 2
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7	79
補足	Z説明資料(専門職大学等)・・・・・・・・・・・・・・ S	90

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 高知学園

- (2) 大 学 名 高知リハビリテーション専門職大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒781-1102

高知県土佐市高岡町乙1139-3 (〒780-0956 高知県高知市北端町100番地)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キ ラ マサヒト) 吉 良 正 人 (平成26年8月)	(タカセ ヒサシ) 髙 瀬 久 志 (令和2年8月)	前任者の任期満了に伴い 選任 (令和2年8月31日) (3)
学 長	(オジマ ユタカ) 小 嶋 裕 (平成31年4月)	(ミヤガワ テツオ) 宮 川 哲 夫 (令和4年4月)	前任者の任期満了に伴い 選任 (令和4年4月1日) (4)
学 部 長	(オオクラ ミツヒロ) 大 倉 三 洋 (平成31年4月)		
学科長等	(タガシラ カツユキ) 田 頭 勝 之 (平成31年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u>
 <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください</u>(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)を確認してください)。
 - ・ <u>様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -(1) 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備	考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1/用	75
		年	7	Α	λ			
リハビリテーション学部		4	150	_	600			
リハビリテーション学科	保健衛生学関係	4	150	_	600	±=1== W ±= 1		
理学療法学専攻 理学療法学士(専門職)	ション関係)	4	70	_	280	新規入学者を 募集中		
作業療法学専攻 作業療法学士(専門職)		4	40	_	160			
言語聴覚学専攻 言語聴覚学士(専門職)		4	40		160			

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科

	対象年度	平成3	0年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均入学定員	開設年度から報告	
区	分	春季入学	その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	47 VP -	年度までの平均入 学定員超過率	備考
		人	人	人 人 150	人 人 150	人 人 150	人 人 150			
Α	入学定員	()	(–)	(-)	(–)	(–)			
		[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
				152 —	131 —	109 —	135 —			
	志願者数	()	()	(-) (-)	(-)	(-) (-)	(-) (-)			
		[]	[]	[-] [-]	[-] [-]	[-] [-]	[-] [-]			
				147 —	130 —	108 —	134 —			
	受験者数	()	()	(-)(-)	(-)(-)		(-) (-)	0.77倍	— 倍	
		L J	L J							
	V T4> ***	,		139 –	127 –	108 –	128 –			
	合格者数	()	()							
-		L J	L J							
	2 *** ***	, ,	, ,	132 -	119 -	95 –	122 -			
В	入学者数	()	()							
7 6	学定員超過率	L J	L J							
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	F正貝亞迥坐 B/A			0.88	0. 79	0. 63	0. 81			
	D / /\									

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

7/1	レッノーショ	ノチ叩		リリーン			7家/太子。	+**							
	対象年度	平成3	0年度	令和元	年度	令和2	2年度	令和3	3年度	令和4	4年度	平均入学定員	開設年度から報告		
区分)	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超過率	年度までの平均入 学定員超過率	備	考
	1 尚白 2	X	λ	人 70) <u> </u>	人 7	0 Y	人 7	0	人 7	0				
Α	入学定員	([)	(– [–)	(- [-	-) -]	-) -]	-) -]	(- [-	-) -]				
Ħ.	 ありまり あいまま あいま とりま といっぱい まんしょう おいま しょう はいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま しゅう	()	()	75 (—)	(–)	69 (-)	(-)	61	- (-)	91	- (-)				
		L J	L J	73	[<u> </u>	[—] 68	[—]	[—]	[—]	90	[—]				
3	受験者数	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.93倍	— 倍		
		L J	L J	69		68		60		83					
4	合格者数	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
			L]							
В	入学者数	()	()	67 (—)	_ (_)	63 (–)	(-)	52 (—)	(-)	08 (–)	(-)				
	定員超過率 B/A	L J	L J	0.9)5	0.	9	0.	74	1.	14				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行って いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 -]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**
 - してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科

対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
学年	春季入学 その他の学期	VH 75				
		132 —	119 —	95 —	122 —	
1 年次		[-][-]	[-][-]	[-][-]	[-][-]	
		(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)	
			124 —	125 —	95 —	
2 年次			[-][-]	[-][-]	[-][-]	
			(-) (-)	(6) (-)	(3) (-)	
				112 —	129 —	
3 年次				[-][-]	[-][-]	
				(-) (-)	(14)(-)	
					97 —	
4 年次					[-][-]	
					(-) (-)	
	_	132	243	332	443	
計	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(–)	(–)	(–)	(6)	(17)	

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

	大対象年度) 年度	令和え	コンテ/		2年度		3年度	令和 4	1年度	144-	+
学 年	<u> </u>	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	備	考
				67	-	63	_	52	-	80	_		
	1 年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
						64	_	66	_	51	_		
	2 年次					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
						(-)	(-)	(3)	(-)	(1)	(-)		
								58	_	69	_		
	3 年次							[-]	[-]	[-]	[-]		
								(–)	(-)	(9)	(-)		
										49			
	4 年次									[-]	[-]		
					7		.7		7.0	(-)	(–)		
	=1	_	,	6	1	12	27		76	_ 24	19		
	計	ι –	7	L -	-]	L -	-]	L -	-]	L -	-]		
		(–)	(-	-)	(-	-)	(;	3)	(0)		

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科

	ノコンナル	7/1L77	フコンティ			
区分	左尚孝粉 (L)	退学者数(a)		内訳		主な退学理由
対象年度	仕字有数(b)	返子有数(a)	入学した年度	退学	者数 うち留学生数	(留学生の理由は[]書き)
平成30年度	人	人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	132 人	8 人	平成30年度	- 人	- 人	
节和儿牛皮	132 人	۰ ۸	令和元年度	8 人	0 人	就学意欲の低下(6人)、経済的理由(2人)
			平成30年度	- 人	- 人	
令和2年度	243 人	6 人	令和元年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、経済的理由(1人) 学力不振(2人)、進路変更(2人)
			令和2年度	0 人	0 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	1 人	0 人	学力不振(1人)
令和3年度	332 人	11 人	令和2年度	7 人	0 人	経済的理由(1人)、学力不振(2人)、進路変更(3人) 学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和3年度	3 人	0 人	学力不振(1人)、進路変更(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人)
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和4年度	443 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		25 人		25 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	- = -	0	=	0 %
【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a)		0		
令和元年度の在学者数(b)	- = .	132	=	6.06
【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	- = .	6 243	=	2.46 %
【令和3年度】		240		
令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b)	- = .	<u>11</u> 332	=	3.31 %
【令和4年度】 令和4年度の退学者数(a)	_	0	_	0 %
令和4年度の在学者数(b)		443	_	0 96

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

			/ J / J / T	1 1 1/4 1 45										
区分	在学者数(b)	坦学李粉(s)		内訳		主な退学理由								
対象年度	在子有奴(D)	返子有奴(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)								
T#00/T#			-		うち留学生数									
平成30年度	人	人	平成30年度	- 人	- 人									
令和元年度	67 人	3 人	平成30年度	- 人	- 人									
151456 1 22			令和元年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、経済的理由(2人)								
			平成30年度	- 人	- 人									
令和2年度	127 人	3 人	令和元年度	3 人	0 人	経済的理由(1人)、進路変更(2人)								
			令和2年度	0 人	0 人									
			平成30年度	- 人	- 人									
		7 人	7 人	- 1	7.1	- 1	7 1	7 1	7 1	7.1	令和元年度	0 人	0 人	
令和3年度	176 人			令和2年度	5 人	0 人	学力不振(2人)、進路変更(2人) 学生個人の心身に関する事情(1人)							
			令和3年度	2 人	0 人	学力不振(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)								
			平成30年度	- 人	- 人									
			令和元年度	0 人	0 人									
令和4年度	249 人	Д 0 Д	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人			
			令和3年度	0 人	0 人									
			令和4年度	0 人	0 人									
合 計		13 人		13 人 0 人										

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・ 就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 除籍 ・ その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 【平成30年度】

【平成30年度】					
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	_ =	0	=	0	%
【令和元年度】					
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	- =	3 67	=	4.47	%
【令和2年度】					
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	_ =	3 127	=	2.36	%
【令和3年度】					
令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b)	_ =	7 176	=	3.97	%
【令和4年度】					
令和4年度の退学者数(a) 令和4年度の在学者数(b)	- =	<u>0</u> 249	=	0	%

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<リハビリテーション学部 リハビリテーション学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

					j	単位	数	専	任教	員等	の配	置	兼任	Г					Ě	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼		科 E 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	-
_			2. 抽类	1 ***	修 2	択	由	授	授	師	教	手	担 2	-			2. 理器	1 ***	修 2	択	由	授	授	師	教	手	兼担
		探問	心理学 教育学	1前 1前・後	2	2							1			探問	心理学 教育学	1前 1前・後	2	2							1
		球間水の	生命倫理	3前		2							2			球間求の	生命倫理	3前		2							2
		41	コミュニケーション論	1前・後	2				1							41	コミュニケーション論	1前•後	2				1				
		探社 探会	社会学	1前		2							1			探せなの	社会学	1前	١.	2							1
		なます。	リーダーシップ論	4後 4後	1	2							1			** の	リーダーシップ論	4後	1	2							1
		±h	国際関係論 地域課題研究 I	2後	1	2			2				1			±h	国際関係論 地域課題研究 I	4後 2後	1				2				1
J	基	探域 水域の	地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3			į	į.	探域 の	地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		1
	楚	- 0,	生物学	1前	_	2			,		,		1	т.	楚	- 07	生物学	1前	<u> </u>	2			,				1
14	Æ	自然	数学	1後		1							1	14	Æ	自然	数学	1後		1							1
Ŧ	4	の	物理学	1後		1							1	Ŧ	4	の	物理学	1後		1							1
	∄	探求	統計学 情報処理演習 I	1後 1前	1	2		1		1			'	E	1	探求	統計学 情報処理演習 I	1後 1前	1	2		1		1			'
		*	情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1						-	情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
		探健康	健康科学	1前	1			2								探健康	健康科学	1前	1			1					
1		求成の	健康とスポーツ【※】	1前•後	1								3			求成の	健康とスポーツ【※】	1前•後	1								3
1		の外	英語 I	1前・後	2	_		1								の外	英語I	1前・後	2			1					
1		の探証	英語 Ⅱ 英会話	1前・後 1前・後		1		1		ĺ			1				英語 Ⅱ 英会話	1前·後 1前·後		1		1					1
		探語求	中国語	1前・後		1							1			探語求	中国語	1前・後		1							1
			小計(21科目)	-	13	17	0	9	9	8	3	0	16				小計(21科目)	-	13	17	0	9	9	8	3	0	15
			医学英語 解剖学 I	2前	1								1				医学英語 解剖学 I	2前・後	1								1
			(総論・神経系)	1前	1			1					1				(総論・神経系)	1前	1			1					1
			解剖学Ⅱ	1前	1			1					1				解剖学Ⅱ	1前	1			1					1
			(内臓・脈管系) 解剖学Ⅲ(骨格系)	1後		1		1					1				(内臓・脈管系) 解剖学Ⅲ(骨格系)	1後		1		1					1
			解剖学Ⅳ(筋系)	1後		1		1					1				解剖学Ⅳ(筋系)	1後		1		1					1
			生理学 I	1前	1								3				生理学 I	1前	1								3
			(動物性機能) 生理学Ⅱ	ניפוי									3			**	(動物性機能) 生理学Ⅱ	1 89	'								J
		基礎	(植物性機能)	1後	1								3			基礎	(植物性機能)	1後	1								3
		医学	運動生理学	1後		1		2								医学	運動生理学	1後		1		2					1
		7	運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1					子	運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		1
			基礎運動学	1後		2			1								基礎運動学	1後		2			1				
			運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1						運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		1
			理学療法 運動学演習	2前		1		1			1						理学療法 運動学演習	2前		1		1			1		1
			作業療法	2前		1		1			2						作業療法	2前		1		1			2		
職	専		運動学演習 人間発達学			Ė		·			_		4	職	専		運動学演習 人間発達学					ļ ·			-		,
業専	門支		小計(14科目)	1後	5	10	0	6	2	0	3	0	8	業専	門支		小計(14科目)	1後	5	10	0	6	2	0	3	0	8
門科	持科		医学概論	1後	Ů	1	Ů	Ť	_	Ť	Ť		1	門科	持科		医学概論	1後	Ť	1	Ŭ	Ť	_	Ŭ	Ü	Ū	1
目	目		病理学	1後	1								1	目	目		病理学	1後	1								1
			内科学	2後	2					ĺ			4				内科学	2後	2								4
			整形外科学	2後		2		1		ĺ							整形外科学	2後		2		1					
			臨床神経学	2前·後						ĺ			2				臨床神経学	2前·後	2								2
			精神医学	2前	2								3				精神医学	2前	2								7
			小児科学	2後	1								4				小児科学	2後	1								4
		臨床	リハビリテーション 医学	2前·後	1								1			臨床	リハビリテーション 医学	2前·後	1								1
		医	臨床心理学	2前	2								3			医	臨床心理学	2前•後	2								3
		学	耳鼻咽喉科学	2前		2							1			学	耳鼻咽喉科学	2前		2							1
1			形成外科学	3前		1							1				形成外科学	3前		1							1
			臨床歯科医学	3前		1							1				臨床歯科医学	3前		1		1					1
1			画像診断学	3前		1				ĺ			1				画像診断学	3前		1							1
			臨床栄養学	3前		1							1				臨床栄養学	3前		1		1					1
Ī			臨床薬理学 救急管理実習【※】	3前		1							1				臨床薬理学 救急管理実習【※】	3前		1		1					1
			水思官理美省[※]	3前・後	11	11	0	1	0	0	0	0	24				水思官理美省【※】 小計(16科目)	3前・後	11	11	0	1	0	0	0	0	28
Ц			つ:町(104年日)			111	U		U	U	U	U	۷4		L		(1.世人)(14.日)		-11	- ' '	U		U	U	U	U	40

_	L D	P =1 Hd	又は届出時』	1									並		ᄁᄱ	4 年 月	£.1		1								並
	科目			配当	j	単位	数	専	任教	員等	の配	置	兼任		科目			配当	È	单位数	Þ	専	任教	員等	の配	置	兼任
	区分		授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		区分		授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
-			リハビリテーション		修	択	由	授	授	師	教	手	担	-	1		リハビリテーション		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	専門	保健	概論	1前·後	1			2							専門	保健	概論	1前·後	1			2					
	支	加医	社会福祉概論	1前·後	2								1		支	加医	社会福祉概論	1前·後	2								1
	持科	^佐 療 念福	地域包括ケア論 チーム連携論	3後 4前	2								2		持科	念福	地域包括ケア論 チーム連携論	3後 4前	2								2
	目	祉	小計(4科目)	4 HIJ	6	0	0	2	0	0	0	0	4		目	祉	小計(4科目)	4 HIJ -	6	0	0	2	0	0	0	0	4
			理学療法概論	1前	1			2									理学療法概論	1前	1			1					
		基	理学療法概論演習	1前	1				1	1						基	理学療法概論演習	1前	1				1	1			
		礎理	理学療法セミナー I (PBL)	1後	1					1	1					礎理	理学療法セミナー I (PBL)	1後	1					1	1		
		学療	理学療法セミナー II (PBL)	2前	1				2							学療	理学療法セミナー Ⅱ (PBL)	2前	1				2				
		法	臨床運動学	2後	1			1								法	臨床運動学	2後	1			1					
		学	理学療法管理学	3後	1			1								学											
			小計(6科目)		6	0	0	4	3	2	1	0	0				小計(5科目)	-	5	0	0	2	3	2	1	0	0
																管理	理学療法管理学		1			1					
																学療法	理学療法管理実務 小計(2科目)	3 gg	2	0	0	1	0	0	0	0	-
			理学療法評価学	1後	1				1								理学療法評価学	1後	1	Ů	Ů	Ė	1			Ů	Ė
			理学療法測定 実習 I【※】	2前	1				2								理学療法測定 実習 I【※】	2前	1				2				
		理学	理学療法測定	2後					,							理 学	理学療法測定	05%									
		· 療 法	実習 I【※】 理学療法検査	21友	1				2							· 療 法	実習 II【※】 理学療法検査	21友	l '				2				
		評	実習 [【※】	2前	1				1		1					評	実習 [【※】	2前	1				1		1		
		価学	理学療法検査 実習 II【※】	2後	1				1		1					価 学	理学療法検査 実習 Ⅱ【※】	2後	1				1		1		
			電気診断学	3前	1			1									電気診断学	3前	1			1					
			小計(6科目)	-	6	0	0	1	4	0	1	0	0				小計(6科目)	-	6	0	0	1	4	0	1	0	0
職	専門		運動療法学 運動療法学	2前	2			2						職	専門		運動療法学 運動療法学					1					
業専	基幹		実習【※】	2後	1			2						業専	基幹		実習【※】		-			1					
専門科	科		物理療法学 物理療法学	2前	2								1	門科	科		物理療法学 物理療法学		2								1
目	目 (実習【※】	2後	1				1				1	目	目(実習【※】	2後	1				1				1
	理学		理学療法 日常生活活動学	2前	2			1							理学		理学療法 日常生活活動学	2前	2			1					
	療法		理学療法日常生活 活動学実習【※】	2後	1			1		1					療法		理学療法日常生活 活動学実習【※】	2後	1			1		1			
	学		内部障害 理学療法実習【※】	3前	2			2	1						学		内部障害 理学療法実習【※】	3前	2			2	1				
	専 攻)		中枢神経障害												専攻		中枢神経障害										
			理学療法実習【※】 脊髄障害	3前	l '								')		理学療法実習【※】 脊髄障害	る削り	'								'
			理学療法実習【※】	3前	1								1				理学療法実習【※】	3前	1				1				
		理	運動器障害 理学療法実習【※】	3前	1					1			1			理	運動器障害 理学療法実習【※】	3前	1			1		1			1
		学療	発達障害 理学療法実習【※】	3後	1				1							学 療	発達障害 理学療法実習【※】	3後	1				1				
		法治	老年期障害	3後	1			1		1						法治	老年期障害	3後	1			1		1			
		療学	理学療法実習【※】 義肢装具学演習					l '		'						療学	理学療法実習【※】 義肢装具学演習					ľ	•	ļ '			
		Ŧ	理学療法技術実習Ⅰ	3後	1				1							Ŧ	理学療法技術実習I		l '				_				
			(運動関節学的手技)【※】	3前		1							1				(運動関節学的手技)【※】	3前		1							1
			理学療法技術実習Ⅱ (神経筋促通手技)【※】	3後		1		1					1				理学療法技術実習Ⅱ (神経筋促通手技)【※】	3後		1		1					1
			理学療法技術実習Ⅲ (生体観察手技)【※】	3前	ĺ	1							1				理学療法技術実習Ⅲ (生体観察手技)【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習I	3前		1							1				理学療法治療学実習 I	3前	1後 1 2 3 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			1					
			(脳障害)【※】 理学療法治療学実習Ⅱ														(脳障害)【※】 理学療法治療学実習 II										
			(ICU)[%]	3後	ĺ	1							1				(ICU)[**]	3後		1							1
			理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ障害)【※】	3前		1							2				理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ障害)【※】	3前		1							2
			理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)【※】	3後		1							1				理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)【※】	3後		1							1
			臨床理学療法	3前	1				1	1	1						臨床理学療法	3前	1				1	1	1		
			技法演習(PBL) 小計(21科目)	3削	18	7	0	5	4	2	1	0	11				技法演習(PBL) 小計(21科目)	3削	18	7	0	4	5	2	1	0	10
ь	1		コロ(417年日)		10	/	U	υ	4		_'	U		· L			1.01 (7144月)		10	_ /	U	4	0	۷	_	U	10

<u>k</u> i	認可時	又は届出時】	1										<u> </u>	令和	4年月	ŧ)										
				È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任						È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区:	目 分	授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	兼		科 E		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	兼
				修	択	由	授	教授	師	教	手	担担						修	択	由	授	教授	師	教	手	担
専		地域理学療法学	2後	2			1									地域理学療法学	2後	2			1					
門		地域理学療法学演習	3前	1								1		専門		地域理学療法学演習	3前	1							,	1
基幹	理学业	生活環境支援 理学療法実習【※】	3前	1			1							基幹	理学点	生活環境支援 理学療法実習【※】	3前	1			1				,	l
科目	療地	機能代償支援	3後	1				1		1				科	療地	機能代償支援	3後	1				1		1	,	l
_	法学	理学療法実習【※】 ヘルスプロ	312	l '				l '		l '				Ε (法学	理学療法実習【※】	312	l '				'		'	,	l
理学		モーション演習	3後	1			1							理学		モーション演習	3後	1			1					
療		小計(5科目)	ı	6	0	0	2	1	0	1	0	1		療法		小計(5科目)	1	6	0	0	2	1	0	1	0	1
法学	臨理	理学療法臨床実習I【臨】	2後	1			5	5	2	1				学	臨理	理学療法臨床実習I【臨】	2後	1			5	6	2	1	,	l
専攻	床学 実療	理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	5	2	1				専攻	床学 実療	理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	6	2	1	,	l
2	習法	理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18 23	0	0	5	5	2	1	0	0		\sim	習法	理学療法臨床実習皿[臨]	4前	18 23	0	0	5	6	2	1	0	0
		小計(3科目) 作業療法概論	1前	1	U	U	1	J		1	U	U				小計(3科目) 作業療法概論	1前	1	U	U	1			_	U	-
		生活活動と障害【※】	1前	1			ľ		3							生活活動と障害【※】	1前	1			l .		3		.	l
	作業士	基礎作業学実習【※】	1前	1					2						作業士	基礎作業学実習【※】	1前	1					2		,	l
	来基 療礎 法	応用作業学実習【※】	1後	1					2						療基	応用作業学実習【※】	1後	1					2		,	l
	法学	作業療法セミナー	1後	1				2	3	3					法學	作業療法セミナー	1後	1				2	3	3	,	l
		作業療法管理学	4前	1	_			_	1	_	<u> </u>	1				1-14-51-51		_	_	_	_					H-
		小計(6科目)	-	6	0	0	1	2	3	3	0	1			血作	小計(5科目) 作業療法管理学	3後	5 1	0	0	1	2	3	3	0	1
															事業	作業療法管理実務	4前	li					'		.	1
															学振	小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	1	0	0	2
		基礎作業	2前	2			1									基礎作業	2前	2			1				П	
		療法評価学 作業療法評価実習 I		١.					١.							療法評価学 作業療法評価実習 I		١.							,	
	評業	(身体系)【※】	2前	1					1	2					評業	(身体系)【※】	2前	1					1	2		l
	価療法	作業療法評価実習Ⅱ (精神・認知系)【※】	2前	1				2							価 学 法	作業療法評価実習Ⅱ (精神・認知系)【※】	2前	1				2				
職業		作業療法評価実習Ⅲ (発達系)【※】	2後	1					1			1	職業			作業療法評価実習Ⅲ (発達系)【※】	2後	1					1			1
専門		小計(4科目)	-	5	0	0	1	2	2	2	0	1	専門			小計(4科目)	-	5	0	0	1	2	2	2	0	1
科専門		作業分析学	2前	1			1						科目	専門		作業分析学	2前	1			1				.	
基		作業分析演習 基礎作業療法	2後	1			1		1	1				基		作業分析演習 基礎作業療法	2後	1			1		1	1	.	l
幹科		^{壶硬作来景压} 治療学Ⅰ(身体系)	2後	2			1							幹科		治療学 I (身体系)	2後	2			1				,	l
目		基礎作業療法治療学 Ⅱ(精神・認知系)	2後	2				1						B		基礎作業療法治療学 Ⅱ(精神・認知系)	2後	2				1				
作 業		作業療法 日常生活活動学	2前	1					1					作業		作業療法 日常生活活動学	2前	1					1			
療法		日常生活支援 作業療法実習【※】	2後	1					1					療法		日常生活支援 作業療法実習【※】	2後	1					1			
学専		義肢·装具 作業療法実習【※】	2後	1				1				1		学専		義肢·装具 作業療法実習【※】	2後	1				2				1
攻		身体障害作業療法 実習 I (中枢神経系)【※】	3前	1			1			2				攻)		身体障害作業療法 実習 I (中枢神経系)【※】	3前	1			1			2		
	作	身体障害作業療法 実習Ⅱ(脊髄・運動器系)【※】	3前	1					1	1		1			作	身体障害作業療法 実習 II (脊髄・運動器系)【※】	3前	1					1	1		1
	療法	身体障害作業療法 実習皿(内部系)【※】	3前	1								1			療法	身体障害作業療法 実習Ⅲ(内部系)【※】	3前	1								1
	法治療	共自軍(P1の未/【本】 精神障害 作業療法実習 I【※】	3前	1				2							法治療	精神障害 作業療法実習 I【※】	3前	1				2				
	学	精神障害	3後	1				2							学	精神障害	3後	1				2				
		作業療法実習 II【※】 老年期障害	3前	1					1							作業療法実習 I【※】 老年期障害	3前	1				_	1			
		作業療法実習 I【※】 老年期障害	3後					1	1							作業療法実習 I【※】 老年期障害	3後					1	1			
		作業療法実習 II【※】 発達障害		1				'								作業療法実習 II【※】 発達障害						'				
		作業療法実習【※】 高次脳機能障害	3前	1					1			1				作業療法実習【※】 高次脳機能障害	3前	1					1			1
		作業療法実習【※】 臨床作業療法	3後	1				1		1		1				作業療法実習【※】 臨床作業療法	3後	1				1		1		1
		技法実習 I (PBL)【※】	2前	1				1	1	2						技法実習 I (PBL)【※】 臨床作業療法	2前	1				1	1	2		
1		臨床作業療法 技法実習Ⅱ(PBL)【※】	3後	1				1	1	2						技法実習Ⅱ(PBL)【※】	3後	1				1	1	2	Щ	<u> </u>
		小計(18科目)	-	20	0	0	1	3	3	3	0	5				小計(18科目)	-	20	0	0	1	4	3	3	0	5

_	3 - 9	ΧIJ	は届出時】			₩ /± ×	ii-		IT N	.	Φ.=-	平	兼		市和	4年月	E.J		,	* / L ×	ki-		: /r */	. ₋	の配	-	兼
	₽目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	単位数選	自	教	任教	貫寺	助助	助	任・		科 E		授業科目の名称	配当年次	必	単位領選	自	教	准	貫寺	助	助	任・
					修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担						修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
			地域作業療法学	2後	2					1							地域作業療法学	2後	2					1			
			地域作業療法学 演習	3前	1					1							地域作業療法学 演習	3前	1					1			
車			生活環境支援 作業療法実習【※】	3前	1					1			1		専門		生活環境支援 作業療法実習【※】	3前	1					1			1
基章	争		機能代償支援 作業療法実習【※】	3後	1						1		2		基幹	作業地	機能代償支援 作業療法実習【※】	3後	1						1		2
利 E	損	or tests	就労支援 作業療法演習	3後	1				1		1				科目	療域法	就労支援 作業療法演習	3後	1				1		1		
í	\ =		生活活動マネジメント	3後		1				1					作	学	生活活動マネジメント	3後		1				1			
э	ŧ		地域支援 I (余暇活動)	3後		1				2					業		地域支援 I (余暇活動)(未開講)	3後		1				2			
报	Ę		地域支援Ⅱ (認知症)	3後		1			1	1					療法学		地域支援 II (認知症)(未開講)	3後		1			1	1			
卓	7	ŀ	小計(8科目)	-	6	3	0	0	2	3	2	0	3		専		小計(8科目)	-	6	3	0	0	2	3	2	0	3
Ē	/	富作	作業療法臨床実習I【臨】	2後	2				2	3	4				攻	臨作	作業療法臨床実習I【臨】	2後	2				2	3	4		
	ß	業	作業療法臨床実習 II【臨】	3後	6				2	3	4					床業	作業療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	6				2	3	4		
		関係 関法・	作業療法臨床実習Ⅲ【臨】 小計(3科目)	4前	16 24	0	0	0	2	3	4	0	0			実療 習法	作業療法臨床実習皿【臨】 小計(3科目)	4前	16 24	0	0	0	2	3	4	0	0
-	+		言語聴覚障害学		1	U	U			3	4	U	U				小計(3科日) 言語聴覚障害学			U	U	1		3	4	U	U
			総論 I 言語聴覚障害学	1前	2			1	1								総論 I 言語聴覚障害学	1前	2			1	1				
			総論Ⅱ	1後	2			1	1								総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1				失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学 音声·言語系医学	2前 2後	2								2				聴覚系医学 音声·言語系医学	2 <mark>後</mark> 2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1				発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1				言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1				音声学	2後	2								1
			音響学 (聴覚心理学を含む)	2後	2								1				音響学 (聴覚心理学を含む)	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1				聴覚障害学	2前	2								1
職			音声障害学実習【※】	2後	1				1					職			音声障害学実習【※】	2後	1				1				
業専		基	学習・認知心理学	3前	1								1	業専		基	学習・認知心理学	3前	1				١.				1
門		TAE.	言語発達学 高次脳機能障害学	3前	1				1		1			門		礎言	言語発達学 高次脳機能障害学	3前 3前	1				1		1		١,
科目		語	言語発達障害学	3前 3前	1				'		l '		1	科目		語	言語発達障害学	3前	1				l '		'		1
- L		聰	重複障害学	3後	1				1				1		_	聴覚	重複障害学	3後	1				1				1
月	7	学	学習障害·広汎性 発達障害学	3前	1				1				1		専門基	学	学習障害·広汎性 発達障害学	3前	1				1				1
車	Ŷ		機能性構音障害学 実習【※】	3前	1			1							幹科		機能性構音障害学 実習【※】	3前	1			1					
			器質性構音障害学 実習【※】	3前	1								1		B		器質性構音障害学 実習【※】	3前	1								1
語	5		運動障害性 構音障害学実習【※】	3後	1								1		言語		運動障害性 構音障害学実習【※】	3後	1								1
耶覚	Ĺ		吃音学	3前	1								1		聴覚		吃音学	3前	1								2
中			嚥下障害学実習【※】	3前	1								2		学専		嚥下障害学実習【※】	3斄	1								2
Ę			補聴器・ 人工内耳学	3前	2								1		攻)		補聴器・ 人工内耳学	3 後	2								1
			言語聴覚療法 セミナー I	2通	1					2							言語聴覚療法 セミナー I	2通	1					2			
			言語聴覚療法 セミナー II	3通	1					2							言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
	┝	_	小計(25科目) 言語発達障害検査	-	35	0	0	1	2	2	1	0	20				小計(25科目) 言語発達障害検査	-	35	0	0	1	2	2	1	0	20
			実習【※】	2前	1				1	1							実習【※】	2前	1				1	1			
			実習【※】	2後	1				1	1							実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1			言	聴覚検査学	2後	2								1
		睡	聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1			語聴	聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
		覚 療	失語·高次脳機能障害 検査実習【※】	3前	1					1			1			覚療	失語·高次脳機能障害 検査実習【※】	3前	1					1			1
		評	失語·高次脳機能障害 評価実習【※】	3後	1				1							法 評	失語·高次脳機能障害 評価実習【※】	3後	1				1				
		学	発声発語・嚥下障害 検査実習【※】	3前	1					1			1			価学	発声発語·嚥下障害 検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語·嚥下障害 評価実習【※】	3後	1					1			1				発声発語·嚥下障害 評価実習【※】	3後	1					1			1
1	- 1		心理測定法実習【※】	3後	1						1		1		1		心理測定法実習【※】	3後	1	1		1	1				1

	6 HJ I	可又に	は届出時】											_[*	市和	4 年月	E)	1									-J-
	科目	ı		配当	È	単位数			任教				兼任		科目	ı		配当		单位数			任教	-			兼任
	区分		授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	· 兼 担		区分		授業科目の名称	年次	必修	選択	田田	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
			言語聴覚療法技術実習 I (言語発達障害)[※]	3後	1				1								言語聴覚療法技術実習 I (言語発達障害)【※】	3後	1				1				
	専門	言	言語聴覚療法技術実習 II (高次脳機能障害)【※】	3後	1					1			1		専門	言語時	言語聴覚療法技術実習 II (高次脳機能障害)[※]	3後	1					1			1
	基幹科	治療学療	言語聴覚療法技術 実習皿(失語)【※】	4前	1				1				1		基幹科	^{心療} 学療	言語聴覚療法技術 実習Ⅲ(失語)【※】	4前	1				1				1
職業専	= (法	言語聴覚療法技術実習Ⅳ (発声発語・嚥下障害)【※】	4前	1				1				1	職業専	=	法	言語聴覚療法技術実習IV (発声発語・嚥下障害)[※]	4前	1				1				1
門和	言語		小計(4科目)	-	4	0	0	0	2	1	0	0	3	門	言語		小計(4科目)	-	4	0	0	0	2	1	0	0	3
科目	聴覚	言	言語聴覚療法 臨床実習 I【臨】	2後	1			1	2	2	1			科目	聴覚	言	言語聴覚療法 臨床実習 I【臨】	2後	1			1	2	2	1		
	学専攻	臨語床聴	言語聴覚療法 臨床実習 II【臨】	3後	3			1	2	2	1				学専攻	臨語床聴	言語聴覚療法 臨床実習 II【臨】	3後	3			1	2	2	1		
)	実覚 習療 法	言語聴覚療法 臨床実習皿【臨】	4前	16			1	2	2	1)	実覚 習療 法	言語聴覚療法 臨床実習皿【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計(3科目)	-	20	0	0	1	2	2	1	0	0				小計(3科目)	-	20	0	0	1	2	2	1	0	0
			生涯スポーツ論	1後	2			1									生涯スポーツ論	1後	2			1					
			スポーツ心理学	1後	2								1				スポーツ心理学	1前	2								1
		理	学校保健論	2前	1								1			理	学校保健論	2前	1								1
		学	産業保健論	2前	1								1			学	産業保健論	2前	1								1
		療 法	企業論	2前	2			١.					1			療法	企業論	2前	2			L.					1
		展	データ分析論 経営組織論	2後	2			l '								展	データ分析論 経営組織論	2後	2			l '					,
		開 科	マーケティング論	3前 3前	2								1			開科	マーケティング論	3前 3前	2								1
		B	会計学総論	3前	2								1			目	会計学総論	3前	2								1
		群	経営管理論	3後	2								1			群	経営管理論	3後	2								1
			起業論	3後	2								1				起業論	3後	2								1
			小計(11科目)	-	20	0	0	2	0	0	0	0	9				小計(11科目)	=	20	0	0	2	0	0	0	0	9
			土佐地域資源論	1前	2								1				土佐地域資源論	1前	2								1
			社会的企業論	1後	2								2				社会的企業論	1後	2								2
		作	福祉工学基礎論	2前	2								1			作	ロボット技術活用論	2前	2								2
		業	地域福祉論	2前	2								1			業	地域生活とサービス	2前	2								1
用		療 法 展	精神障害福祉論	2後	2								1		展	療法展	精神障害者の援助 とネットワーク 障害者の	2後	2								1
開彩		開	障害者福祉論	3前	2								1		開 斗	開	社会環境と制度	3前	2								1
Ē		科目	地域防災論	3前	2								1		j.	科目	地域防災論	3前	2								1
		群	更生保護制度論	3前	2								1			群	更生保護制度論	3前	2								1
			特別支援教育論	3前	2								1				特別支援教育論	3前	2								1
			対人援助技術論 小計(10科目)	3前	20	0	0	0	0	0	0	0	12				対人援助技術論	3前	20	0	0	0	0	0	0	0	13
			地域福祉活動論	- 1前	1	U	U	U	U	U	U	U	1				小計(10科目) 地域福祉活動論	1前	1	U	U	U	U	U	U	U	1
			マンガ概論	1前	2								1				マンガ概論	1前	2								1
		_	マンガ基礎実習【※】	1前	1								1			_	マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
		言語	活字デザイン論	1後	2								1			言語	活字デザイン論	1後	2								1
		聴	視覚デザイン概論	2前	2								1			聴	視覚デザイン概論	2前	2								1
		覚 療 法	カラーコミュニ ケーション概論	2前	2								1			覚療法	カラーコミュニ ケーション概論	2前	2								1
		展	視覚伝達デザイン論	2後	2								1			展	視覚伝達デザイン論	2後	2								1
		開 科	情報メディア学 入門	2後	2								1			開科	情報メディア学 入門	2後	2								1
		目	広告論	3前	2								1			目	広告論	3前	2								1
		群	企業広報活動論	3前	2								1			群	企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1				広告デザイン論	3前	2								1
			小計(11科目)		20	0	0	0	0	0	0	0	9				小計(11科目)	-	20	0	0	0	0	0	0	0	8

【製可時又は届出時】

【令和4年度】

***	,		T 7 1/2	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
				修	択	由	授	契	師	教	手	担
	応	理学療法地域支援 実習【※】	4後	1			5	5	2	1		
	用理	応用理学療法学演習	4後	2			3	5	2	1		
	学	理学療法総合演習I	4後		1		1	1	1			
	療	理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2				
	法学	理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
		小計(5科目)	ı	3	3	0	5	5	2	1	0	0
	応	作業療法地域支援 実習【※】	4後	1				2	3	4		
	用作	応用作業療法学演習	4後	2				1	3	3		
総	業	作業療法総合演習I	4後		1				1			
合	療	作業療法総合演習Ⅱ	4後		1			1		1		
科目	法学	作業療法総合演習Ⅲ	4後		1			1	1	1		
		小計(5科目)	ı	3	3	0	0	2	3	4	0	0
		言語聴覚療法 地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
	応用	応用言語聴覚学 演習	4後	2			1	2	2			
	言語	言語聴覚療法 総合演習 I	4後		1			1				
	聴覚	言語聴覚療法 総合演習 Ⅱ	4後		1							1
	学	言語聴覚療法 総合演習Ⅲ	4後		1				1			
		小計(5科目)	1	3	3	0	1	2	2	1	0	1
	合言	†(223科目)	-	293	57	0	13	9	8	6	0	118

卒業要件及び履修方法

《理学療法学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修8単 派ム計画ナリングイログードングをジャーに、「生ナ派ム/元派ナリングイギーロン学にから必修10年 位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」 の3科目23単位から必修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

《作業療法学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 ①金峰行日(13・八周のパカス)、「五公の大力」、「セスの大力」、「日本の大力」、「世球の下 本」の17年日25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

② 職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床 医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単 位から必修単位、「基礎作業療法学」の6科目6単位から必修6単位、「作業療法評算」の4科 目5単位から必修5単位、「作業療法治療学」の18科目20単位から必修20単位、「地域作業療法 学」の8科目9単位から必修6単位を含め7単位以上、「作業療法臨床実習」の3科目24単位から 必修24単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得す

⑤卒業要件単位数は合計141単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

				Ě	单位数	Į.	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
				修	択	由	授	投授	師	教	手	担
	応	理学療法地域支援 実習【※】	4後	1			5	6	2	1		
	用理	応用理学療法学演習	4後	2			3	6	2	1		
	世学	理学療法総合演習 I	4後		1		1	1	1			
	療	理学療法総合演習 Ⅱ	4後		1		2	2				
	法学	理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
	,	小計(5科目)	1	3	3	0	5	6	2	1	0	0
	応	作業療法地域支援 実習【※】	4後	1				2	3	4		
	用作	応用作業療法学演習	4後	2				1	3	3		
総	業	作業療法総合演習I	4後		1				1			
合	療	作業療法総合演習Ⅱ	4後		1			1		1		
科目	法学	作業療法総合演習Ⅲ	4後		1			1	1	1		
	,	小計(5科目)	1	3	3	0	0	2	3	4	0	0
		言語聴覚療法 地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
	応用	応用言語聴覚学 演習	4後	2			1	2	2			
	言語	言語聴覚療法 総合演習 I	4後		1			1				
	聴覚	言語聴覚療法 総合演習 Ⅱ	4後		1							1
	学	言語聴覚療法 総合演習Ⅲ	4後		1				1			
		小計(5科目)	1	3	3	0	1	2	2	1	0	1
	合言	†(225 科目)	1	295	57	0	13	10	8	6	0	122

《理学療法学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から<mark>必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上、</mark>「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する、「基礎理学療法学」の5科目5単位か6必修5単位、「理学療法管理学」の2科目2単位から必修2単位、「理学療法育価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修23 単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得す

⑤卒業要件単位数は合計143単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限・48単位/年間)

(作業療法学専攻) ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 ①金雄(村日 16は、八周の)があい。 本: Jの17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

② 職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床 医学」の16科目22単位から**必修11単位及び選択必修6単位を含め17単位以上**、「保健医療福 社の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎作業療法学」の5科目**5単位から必修5単位、** 作果療法管理学の2科目2単位から必修2単位、作業療法評価学」の4科目5単位から必修5 単位、「作業療法治療学」の18科目20単位から必修20単位、「地域作業療法学」の8科目9単位か ら必修6単位を含め7単位以上、「作業療法臨床実習」の3科目24単位から必修24単位をそれぞ

③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得す

⑤卒業要件単位数は合計144単位以上を修得する。

《言語聴覚学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」 の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法海学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修620単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ 修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

《言語聴覚学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の 4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法法臨床実習」の3科目20単位から必修620単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ 修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

科目 区分 授業科目の名称 配当 年次 必選目教 教 推講助助 教 助助 表 任 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	単位数			单	単布	↓☆≱	数	ī	T	車化	任数	b 昌 ≦	等の配	配置	兼
様々 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日								自	_		准	講			任
日本語画学		你	你	你				由			教授	師			兼
「		_		_	10	100	Τ	Ш	13	X.	fΧ	l lile	- 7 X	1	2
1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1				_	:	2									1
# 社会学	2				نــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	2							\perp		2
大き		€ 2	2	2							1				
	2				2	2									1
本語 地域課題研究 2歳 1 2 7 3 1 1 2 2 7 3 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 4 4 2 2 4 4 4	·	1	1	1											1
************************************		٠.	_		+2	2			╀	4	_	-	+	+	1
生物学 1前 2 2 2 2 2 2 2 2 2									١,	,	9	١,	1		
世界		+ '	_	'	+	2	+		ť	/	9	7	3	+	1
科別	1					1									
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	1					1									1
日本語画	2				1:	2									1
理解		1	1	1					1	1		1			
東語	1	1	1	1					1	1		1			
東語	1	1	1	1	Ī				1	1					
P	1	美 1	1	1											3
探	2	É 2	2	2					1	1					
中国語 前・後 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	É			1	1			1	1					
中国語	1	É			1	1									1
医学英語 2前 1 1 1 1 1 1 1 1 1					+	_	-		L			<u> </u>	4	4	1
解剖学 I (総論・神経系)	+++	_	_	_	1	17	7	0	9	9	9	8	3	3 0	+-
(表)語・神経系) 1前 1 1 1 1 1 1 1 1	1	1	1	1											1
(内臓・脈管系) 1回 1 1 1 1 1 1 1 1	1	1	1	1					1	1					1
解剖学取(商格系) 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	1	1	1					1	1					1
解剖学IV (筋系)	1				١.	1			L	1					1
中国学工	1					1				1					1
基礎	1	1	1	1											3
では では では では では では では では	'	1 '	ļ '												ľ
## 中央	1	1	1	1											3
基礎運動学 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1				-	1			2	2					
運動機能学案習[※] 2前 1 1 1 1 2 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1						•			2	2	1		1		
理学療法 (型動学演習 (2前 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									L	,	1		1		
職業 専門 支					l.	Ċ			Ľ		Ċ		Ľ		
職業 専門 支 大村 大村 大村 大村 大村 大村 大村	'					'			Ľ	'			'		
横	1				,	1			1	1			2	!	
専門科目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目目	1					1									1
科目	5 10	5	5	5	1	10)	0	6	6	2	0	3	3 0	8
目 目 病理学	1				1	1									1
整形外科学 2後 2 1 臨床神経学 2前・後 2 精神医学 2前 2 小児科学 2後 1 リハピリテーション 医学 2前・後 1 臨床心理学 2前・後 1 事品味料学 2前・後 1 事品味料学 2前・後 2 事品吸喉科学 2前 2 形成外科学 3前 1 臨床歯科医学 3前 1															1
臨床神経学 精神医学 小児科学 りハピリテーション 医学 西臨床心理学 学 野鼻咽喉科学 形成外科学 協院床歯科医学 2前・後 1 2前・後 1 2前・後 1 2前・後 2 3 3 4 4 1 1 1 3 5 6 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 9 7 8 9 7 8 8 9 9 7 8 8 8 8		2	2	2											4
精神医学 2前 2 1 3 指神医学 2前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			_		2	2			1	1					١,
小児科学 2後 1 いパピリテーション 医学 2前・後 1 医学 医療性 2前・後 1 日本 日															3
協															4
床 医子 臨床心理学 2前 2 学 耳鼻咽喉科学 2前 2 形成外科学 3前 1 臨床歯科医学 3前 1 1 1 臨床歯科医学 3 1 原医 医床心理学 学 耳鼻咽喉科学 2前 2 形成外科学 3前 1 1 1 臨床歯科医学 3 前 1 1															
学 耳鼻咽喉科学 2前 2 形成外科学 3前 1 1 臨床歯科医学 3前 1 1 臨床歯科医学 3前 1															Ι'
形成外科学 3前 1 1 形成外科学 3前 1 臨床歯科医学 3前 1 1 臨床歯科医学 3前 1		2	2	2		•			I						3
臨床歯科医学 3前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									1				1	1	1
									I						1
									I						
┃	1 - 1								I			1			1
									I						1
		ź							I						1
小計(16科目) - 11 11 0 1 0 0 0 0 24 小計(16科目) - 11 11	_	4	11	11	+		+	0	1	1	0	0	0) 0	-

_ [3	7和:	元年度	E)											[*	祁	2 年月	ξį										
					Ì	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任						単	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准数	講	助	助	-		科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准数	講	助	助	
					修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担						修	択	ь	授	教授	師	教	手	兼担
	車	保	リハビリテーション 概論	1前·後	1			2							車	保	リハビリテーション 概論	1前·後	1			2				Ť	
	門	健	社会福祉概論	1前·後	2								1		門	の健	社会福祉概論	1前·後	2							ı	1
	支持	理医	U. I	3後	2								2		支持	理医	W 1-4 - 4-7 /	3後	2							ı	2
	科	▽福	チーム連携論	4前	1								1		科	~福	チーム連携論	4前	1							ŀ	1
	目	祉	小計(4科目)	_	6	0	0	2	0	0	0	0	4		目	祉	小計(4科目)	-	6	0	0	2	0	0	0	0	4
			理学療法概論	1前	1			2									理学療法概論	1前	1			1				\dashv	
			理学療法概論演習	1後	1				1	1							理学療法概論演習	1前	1				1	1		ı	
		基礎	理学療法セミナー I	1後	1					1	1					基礎	理学療法セミナー I	1後	1					1	1	ı	
		理	(PBL) 理学療法セミナー II	112	ľ					·	ļ .					理	(PBL) 理学療法セミナー II	112	Ċ					ļ .	Ċ	ı	
		学療	(PBL)	2前	1				2							学 療	(PBL)	2前	1				2			ı	
		法学	臨床運動学	2後	1			1								法学	臨床運動学	2後	1			1				ı	
		,	理学療法管理学	3後	1			1								,											
			小計(6科目)	-	6	0	0	4	3	2	1	0	0				小計(5科目)	-	5	0	0	2	3	2	1	0	0
																警	理学療法管理学	3前	1			1				ı	
																霊療	理学療法管理実務	3後	1							_	1
			四兴在江三万兴		_				_							一法	小計(2科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	1
			理学療法評価学 理学療法測定	1後	1				1								理学療法評価学 理学療法測定	1後	1				1			ı	
		理	実習 [【※】	2前	1				2							理	実習 [【※】	2前	1				2			ı	
		学	理学療法測定 実習 I【※】	2後	1				2							学	理学療法測定 実習 I【※】	2後	1				2			ı	
		療法	理学療法検査	2前	1				1		1					療法	理学療法検査	2前	1				1		1		
		評価	実習 I【※】 理学療法検査	2 111					ļ '		l '					評価	実習 I【※】 理学療法検査	289	'				l '		·	ı	
		学	実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1					学	実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1	ı	
			電気診断学	3前	1			1									電気診断学	3前	1			1					
			小計(6科目)	-	6	0	0	1	4	0	1	0	0				小計(6科目)	-	6	0	0	1	4	0	1	0	0
職業	専門		運動療法学	2前	2			2						職業	専門		運動療法学	2前	2			1					
専	基幹		運動療法学 実習【※】	2後	1			2						専	基幹		運動療法学 実習【※】	2後	1			1					
門科	科		物理療法学	2前	2								1	門科	科		物理療法学	2前	2							ı	1
Ħ	目 (物理療法学 実習【※】	2後	1				1				1	Ē	目(物理療法学 実習【※】	2後	1				1				1
	理学		理学療法	2前	2			1							理学		理学療法 日常生活活動学	2前	2			1					
	療		日常生活活動学 理学療法日常生活												療		口吊生活活動子 理学療法日常生活									ı	
	法学		活動学実習【※】 内部障害	2後	1			1		'					法学		活動学実習【※】 内部障害	2後	1			ļ '		'			
	専攻		理学療法実習【※】	3前	2			2	1						専攻		理学療法実習【※】	3前	2			2	1				
)		中枢神経障害 理学療法実習【※】	3前	1								1		$\overline{}$		中枢神経障害 理学療法実習【※】	3前	1								1
			脊髄障害 理学療法実習【※】	3前	1								1				脊髄障害 理学療法実習【※】	3前	1								1
		理	運動器障害 理学療法実習【※】	3前	1					1			1			理	運動器障害 理学療法実習【※】	3前	1					1			1
		学療	発達障害 理学療法実習【※】	3後	1				1							学 療	発達障害 理学療法実習【※】	3後	1				1				
		法治	老年期障害 理学療法実習【※】	3後	1			1		1						法治	老年期障害 理学療法実習【※】	3後	1			1		1			
		療学	義肢装具学演習	3後	1				1							療学	義肢装具学演習	3後	1				1				
			理学療法技術実習I	3前		1							1			•	理学療法技術実習I	3前		1						- 1	1
			(運動関節学的手技)【※】 理学療法技術実習Ⅱ	3後		1		1					1				(運動関節学的手技)【※】 理学療法技術実習Ⅱ	3後		1		1					1
			(神経筋促通手技)【※】 理学療法技術実習Ⅲ			-		ľ									(神経筋促通手技)【※】 理学療法技術実習Ⅲ					ľ					
			(生体観察手技)【※】 理学療法治療学実習 I	3前		1							1				(生体観察手技)【※】 理学療法治療学実習 I	3前		1							'
			(脳障害)【※】	3前		1							1				(脳障害)【※】 理学療法治療学実習Ⅱ	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅱ (ICU)【※】	3後		1							1				(ICU)[%]	3後		1							1
			理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ障害)【※】	3前		1							2				理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ障害)【※】	3前		1							2
			理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)【※】	3後		1							1				理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)【※】	3後		1							1
			臨床理学療法 技法演習(PBL)	3前	1				1	1	1						臨床理学療法 技法演習(PBL)	3前	1				1	1	1		
1			小計(21科目)	-	18	7	0	5	4	2	1	0	11	1			小計(21科目)	-	18	7	0	4	4	2	1	0	11

177	· γu.	元年月	E.J			W /_ N	u_	-	- 1 41				本	. —	令和	2年月	E)			M 1.1. M	4		- I-r -b/I		O T7		本
	科目	1	柳春村日本存取	配当	必	単位数選	自	教	上仕教 准	貫等	の配助	直助	兼任		科	1	柳春村 日本女子	配当	必	単位数 選	自	教	任教	員等	の配助	直助	兼任
	区分		授業科目の名称	年 次	修	択	曲	授	教授	師	教		兼担		区		授業科目の名称	年 次	修	択		授	教授	師	教	手	兼担
			地域理学療法学	2後	2	,,,		1		H-F	32				_		地域理学療法学	2後	2	-		1		БЪ	32		
	専門		地域理学療法学演習	3前	1								1		専門		地域理学療法学演習	3前	1								1
	基幹	理学地	生活環境支援 理学療法実習【※】	3前	1			1							基幹	理学地	生活環境支援 理学療法実習【※】	3前	1			1					
	科目	療域 法	機能代償支援 理学療法実習【※】	3後	1				1		1				科目	^撥 域 法	機能代償支援 理学療法実習【※】	3後	1				1		1		İ
	理学	学	ヘルスプロ モーション演習	3後	1			1							理	学	ヘルスプロ モーション演習	3後	1			1					İ
	療		小計(5科目)	1	6	0	0	2	1	0	1	0	1		学療		小計(5科目)	-	6	0	0	2	1	0	1	0	1
	法学	臨理	理学療法臨床実習 [【臨】	2後	1			5	5	2	1				法学	臨理	理学療法臨床実習I【臨】	2後	1			5	5	2	1		
	専攻	床学	理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	5	2	1				専	床学	理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	5	2	1		İ
	()	実療習法	理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	5	2	1				攻	実療習法	理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	5	2	1		
Ļ			小計(3科目)	-	23	0	0	5	5	2	1	0	0				小計(3科目)	-	23	0	0	5	5	2	1	0	0
			作業療法概論	1前	1			1									作業療法概論	1前	1			1					İ
		作	生活活動と障害【※】	1前	1					3						作	生活活動と障害【※】		1								İ
		丵	基礎作業学実習【※】	1前	1					2						業			1								İ
		法礎		1後	1				_	2	_					療礎法									•		İ
		学	作業療法セミナー作業療法管理学	1後 4前	1				2	3	3		1			学	TF未療法できり一	1仮	'				2	3	3		İ
			小計(6科目)	4 (91)	6	0	0	1	2	3	3	0	1				小計(5 科目)	_	5	0	0	1	2	3	3	0	0
			77-81 (014-12)		Ů	Ů	Ů	Ė		J	,	Ü	<u> </u>			业作	作業療法管理学	31117		Ü	Ů	Ė		_	J	Ť	1
																事業	作業療法管理実務							i i			1
																学療法	小計(2科目)	-	2	0	0	1	0	1	0	0	2
			基礎作業療法評価学	2前	2			1									基礎作業療法評価学	2前	2			1					
		評 業	作業療法評価実習 I (身体系)【※】	2前	1					1	2					,作 評業	作業療法評価実習 I (身体系)【※】	2前	1					1	2		İ
Réb		評価学	作業療法評価実習Ⅱ (精神・認知系)【※】	2前	1				2					Rôn.		評価学	作業療法評価実習 II (精神・認知系)【※】	2	1				2				İ
職業専		子法	作業療法評価実習Ⅲ (発達系)【※】	2後	1					1			1	職業専		子法	作業療法評価実習Ⅲ (発達系)【※】	2後	1					1			1
門			小計(4科目)		5	0	0	1	2	2	2	0	1	門			小計(4科目)	_	5	0	0	1	2	2	2	0	1
	専門		作業分析学	2前	1			1						科目	専門		作業分析学	法集習[※] 3後 1									
	基		作業分析演習	2後	1			1		1	1				基		作業分析演習	2後	1			1		1	1		
	幹科目		基礎作業療法 治療学 I (身体系)	2後	2			1							幹科目		基礎作業療法 治療学 I (身体系)	2後	2			1					İ
	口(作		基礎作業療法治療学Ⅱ (精神・認知系)	2後	2				1						作		基礎作業療法治療学Ⅱ (精神・認知系)	2後	2				1				İ
	: 業療		作業療法 日常生活活動学	2前	1					1					: 業療		作業療法 日常生活活動学	2前	1					1			İ
	法学		日常生活支援 作業療法実習【※】	2後	1					1					法学		日常生活支援 作業療法実習【※】	2後	1					1			İ
	専 攻		義肢·装具 作業療法実習【※】	2後	1				1				1		専攻		義肢·装具 作業療法実習【※】	2後	1				1				1
)		身体障害作業療法 実習 I (中枢神経系)【※】	3前	1			1			2				\sim		身体障害作業療法 実習 I (中枢神経系)【※】	3前	1			1			2		İ
		作業	身体障害作業療法 実習Ⅱ(脊髄·運動器系)【※】	3前	1					1	1		1			作業	身体障害作業療法 実習Ⅱ(脊髄·運動器系)【※】	3前	1					1	1		1
		療法	身体障害作業療法 実習皿(内部系)【※】	3前	1								1				身体障害作業療法 実習Ⅲ(内部系)【※】	3前	1								1
		治療学	精神障害 作業療法実習 I【※】	3前	1				2							治療学	精神障害 作業療法実習 I【※】	3前	1				2				
		子	精神障害 作業療法実習 II【※】	3後	1				2							7	精神障害 作業療法実習 II【※】	3後	1				2				
			老年期障害 作業療法実習 I【※】	3前	1					1							老年期障害 作業療法実習 I【※】	3前	1					1			İ
			老年期障害 作業療法実習 I【※】	3後	1				1	1							老年期障害 作業療法実習 I【※】	3後	1				1	1			
			発達障害 作業療法実習【※】	3前	1					1			1				発達障害 作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			高次脳機能障害 作業療法実習【※】	3後	1				1		1		1				高次脳機能障害 作業療法実習【※】	3後	1				1		1		1
			臨床作業療法 技法実習 I (PBL)【※】	2前	1				1	1	2						臨床作業療法 技法実習 I (PBL)【※】	2前	1				1	1	2		
			臨床作業療法 技法実習Ⅱ(PBL)【※】	3後	1				1	1	2						臨床作業療法 技法実習Ⅱ(PBL)【※】	3後	1				1	1	2		
		l	小計(18科目)	-	20	0	0	1	3	3	3	0	5	I L		1	小計(18科目)	-	20	0	0	1	3	3	3	0	5

K II M	元年	*.1		j	単位数	\$t	毐	任数	員等	の配	置	兼) TH	2 年 月	£.1		į	单位数	t	夷	任教	·昌等	の配	置	兼
科		授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・		科目		授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
Z	分		年次	修	択	曲	授	教授	師	教	手	兼担		区分			年次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		地域作業療法学	2後	2					1							地域作業療法学	2前	2					1			
		地域作業療法学 演習	3前	1					1							地域作業療法学 演習	3前	1					1			
専		生活環境支援	3前	1					1			1		専		生活環境支援	3前	1					1			1
門基		作業療法実習【※】 機能代償支援							ľ			·		門基	作	作業療法実習【※】 機能代償支援		•					i i			
幹	業	作業療法実習【※】	3後	1						1		2		幹	業 .	作業療法実習【※】	3後	1						1		2
科目	程	就労支援 作業療法演習	3後	1				1		1				科目	療域法	就労支援 作業療法演習	3後	1				1		1		
作	学	生活活動マネジメント	3後		1				1					作	学	生活活動マネジメント	3後		1				1			
業		地域支援 I (余暇活動)	3後		1				2					業		地域支援 I (余暇活動)	3後		1				2			
療法	:	地域支援Ⅱ	3後		1			1	1					療法		地域支援Ⅱ	3後		1			1	1			
学専		(認知症) 小計(8科目)		6	3	0	0	2	7	2	0	3		学専		(認知症) 小計(8科目)		6	3	0	0	2	3	2	0	3
攻		作業療法臨床実習I【臨】	2後	2	Ť	Ť	Ť	1	3	3	Ť	Ů		攻	臨作	作業療法臨床実習I【臨】	2後	2	Ť	Ť	Ť	1	3	3	Ť	Ť
	床業	作業療法臨床実習 Ⅱ【臨】	3後	6				2	3	4	1)	床業	作業療法臨床実習 II【臨】	3後	6				2	3	4	1	
	実療習法	作業療法臨床実習皿[臨]	4前	16				2	3	4	1				実療 習法	作業療法臨床実習皿【臨】	4前	16				2	3	4	1	
_		小計(3科目) 言語聴覚障害学	-	24	0	0	0	2	3	4	1	0				小計(3科目) 言語聴覚障害学	-	24	0	0	0	2	3	4	1	0
		総論 I	1前	2			1	1								総論 I	1前	2			1	1				
		言語聴覚障害学 総論 Ⅱ	1後	2			1	1								言語聴覚障害学 総論 Ⅱ	1後	2			1	1				
		失語症学	1後	2								1				失語症学	1後	2								1
		聴覚系医学	2前	2								2				聴覚系医学	2∰	2								3
		音声·言語系医学	2後	2								3				音声•言語系医学	2後	2								3
		発達心理学 言語学	2後 2前	1 2								1				発達心理学 言語学	2後 2前	1 2								
		音声学	2後	2								1				音声学	2後	2								,
		音響学	2後	2								1				音響学	2後	2								
		(聴覚心理学を含む) 聴覚障害学	2前	2								1				(聴覚心理学を含む) 聴覚障害学	2前	2								L,
		音声障害学実習【※】	2後	1				1				'				音声障害学実習【※】	2後	1				1				l '
職業	基	学習·認知心理学	3前	1								1	職業		基	学習·認知心理学	3前	1								1
専	礎	言語発達学	3前	1				1					専		礎	言語発達学	3前	1				1				
門 科	言語	高次脳機能障害学	3前	1				1		1		1	門科		言語	高次脳機能障害学	3前	1				1		1		
目	聴覚	言語発達障害学 重複障害学	3前 3後	1				1				1	目		聴覚	言語発達障害学 重複障害学	3前 3後	1				1				
専門		学習障害·広汎性						'				'		専門	学	学習障害·広汎性										Ι.
基	:	発達障害学 機能性構音障害学	3前	1				'				'		基		発達障害学	3前	1				1				
幹科		機能性構育障害子 実習【※】	3前	1			1							幹科		機能性構音障害学 実習【※】	3前	1			1					
目		器質性構音障害学 実習【※】	3前	1								1		目(器質性構音障害学 実習【※】	3前	1								
言		運動障害性	3後	1								1		言		運動障害性	3後	,								Ι.
語聴	1	構音障害学実習【※】 吃音学										'		語聴		構音障害学実習【※】 吃音学										Ι.
覚学		吃百子 嚥下障害学実習【※】	3前 3前	1								2		覚学		吃百子 嚥下障害学実習【※】	3前 3前	1								
専		補聴器•	3前	2								1		専		補聴器・	3前	2								
改		人工内耳学 言語聴覚療法	3 813	_								'		攻)		人工内耳学 言語聴覚療法	OHII	_								
		古品味見派法 セミナー I	2通	1					2							古品級見版法 セミナー I	2通	1					2			
		言語聴覚療法 セミナー II	3通	1					2							言語聴覚療法 セミナーⅡ	3通	1					2			
		小計(25科目)	-	35	0	0	1	2	2	1	0	20				小計(25科目)	-	35	0	0	1	2	2	1	0	2
		言語発達障害検査 実習【※】	2前	1				1	1							言語発達障害検査 実習【※】	2前	1				1	1			
		言語発達障害評価		L				١.								言語発達障害評価		١.								
		実習【※】	2後	1				1	'							実習【※】	2後	1				1	1			
	言語	聴覚検査学	2後	2								1			言語	聴覚検査学	2後	2								
	聴	聴覚障害検査実習【※】 失語·高次脳機能	2後	1								1			聴	聴覚障害検査実習【※】 失語·高次脳機能障害	2後	1								
	党療	障害検査実習【※】	3前	1					1			1			覚 療	検査実習【※】	3前	1					1			
	法評	失語·高次脳機能障害 評価実習【※】	3後	1				1							法評	失語·高次脳機能障害 評価実習【※】	3後	1				1				Ĭ
	価	発声発語·嚥下障害	3前	1					1			1			価	発声発語·嚥下障害	3前	1					1			
	学	検査実習【※】 発声発語・嚥下障害							'						学	検査実習【※】 発声発語・嚥下障害										
		評価実習【※】	3後	1					1			1				評価実習【※】	3後	1					1			
		心理測定法実習【※】	3後	1								1				心理測定法実習【※】	3後	1								1
		小計(9科目)	-	10	0	0	0	2	2	0	0	4				小計(9科目)	-	10	0	0	0	2	2	0	0	4

日本語画	1777	1元年	- 150	E.J		4	¥ / *	u-	=	IT #h	吕华	O ⊞⊒	墨	兼		ᄜ	2 年 月	EJ		8	¥ /∴ ×	h	-	IT #h	吕华	ω #III	翠	兼
변경 등 변경 등 변경 등 변경 등 변경 등 변경 등 변경 등 변경 등				哲学科 日の夕称										任		科目		哲学科 日の名称										
#### ### ### ### ### ### ### ### ### #	Σ	≅分		投条符目 00 名称	年次					教						区分	•	技条件日の石桥	年 次					教				
「					3後		100	Щ	IX		ılıd	ŦX		12					3後		1/	Щ	IX		hid	¥X	Ī	12
## 1	P	1	語		3後	1					1			1		門	~語		3後	1					1			1
변경 : 변경 : 1	郭	深 学	覚		4前	1				1				1		幹	^猴 覚		4前	1				1				1
	100 日	+ 1	炼	言語聴覚療法技術実習Ⅳ	4前	1				1				1			景	言語聴覚療法技術実習Ⅳ	4前	1				1				1
## 18 日本	専言		ŀ		-		0	0	0		1	0	0	3	専	一言					0	0	0	,	1	0	0	3
The field	科斯	5		言語聴覚療法	2後	1			1	2	2	1			科	聴	_	言語聴覚療法	2後	1			1		2			
Year	学	- 臨	語	言語聴覚療法	3後	3			1	2	2	1				学	臨語	言語聴覚療法	3後	3			1	2	2	1		
中国	평	習 :	覚療	言語聴覚療法	4前	16			1	2	2	1				攻)	習療	言語聴覚療法	4前	16			1	2	2	1		
Amage		,	,,,	小計(3科目)	=	20	0	0	1	2	2	1	0	0			14	小計(3科目)	-	20	0	0	1	2	2	1	0	0
要性の機能論 2前 1 日 2 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日					1後	2			1									生涯スポーツ論	1後	2			1					
### A PROPRIES		****		-													*m	-										1
 素優 企業館 2前 2 世後 2 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本			-											1						-								1
展展 データ分析論 2後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			ŧ											1					7.1									1
## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## マーケティング論 ## アーケティング論 ## アーケティング論 ## アーケティング論 ## アーケティング論 ## アーケティング論 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケティング語 ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ ## アーケーグ #		展	Ę						1								展						1					
																												1
経営管理語 3後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		目	i														目											1
中国		存于												1			矸											1
上佐地域高路橋 1歳 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1			- 1				0	0	2	0	0	0	0	9							0	0	2	0	0	0	0	9
中央					1前	-			_	Ŭ		Ŭ	Ů	-					1後	_	Ŭ		Ė	Ŭ		Ŭ	Ť	÷
株理・																												2
### 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														1														1
展開刊刊目目		療	ŧ	精神障害者の援助										1			療	精神障害者の援助										1
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	開	展	Ę	障害者の	3前	2								1	Į.	荆	展	障害者の	3前	2								1
# 特別支援教育論 3前 2		科	1	地域防災論	3前	2								1			科	地域防災論	3前	2								1
対入援助技術論 3前 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			É		3前	2								1				更生保護制度論	3前	2								1
小計(10科目)																												1
マンガ概論 1前 2 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1			- 1		3削		0	0	0	0	0	0	0						- 3削		0	0	0	0	0	0	0	
音語 であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっている であっ														1														1
語 語 活字デザイン論 1後 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1		_	_														_											1
変数			'																									1
## 2				視覚デザイン概論	2前	2								1				視覚デザイン概論	2前	2								1
根拠伝達デザイン論 2後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		療	ŧ		2前	2								1			療		2前	2								1
科 広告論 3前 2			٠ .		2後	2								1					2後	2								1
B				情報メディア学入門	2後	2								1				情報メディア学入門	2後	2								1
広告デザイン論 3前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		目	1														目											1
小計(11科目)		群															群											1
Red	L		- 1			-	0	0	0	0	0	0	0								0	0	0	0	0	0	0	
R		r.			4後	1			5	5	2	1					点		4後	1			5	5	2	1		
## 理學療法総合演習 I 4後 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		用	1			2			3	5	2	1					用		4後	2			3	5	2	1		
総合計目 理学療法総合演習Ⅱ 4後 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			Ē.				1				1						理				1							
総合 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中		療	ŧ		4後		1		2	2							療		4後		1		2	2				
科目 作業療法地域支援 実習[※] 4後 1 2 3 4 4 1 2 3 4 旧作作業療法総合演習 [作業療法総合演習 [4後]] 1 1 3 3 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 <td></td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>L</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td><u> </u></td> <td>_</td> <td>L</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>_</td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>إــا</td> <td>_</td>			5			L					_	<u> </u>	_	L					-	_			_				إــا	_
目 応 実習[※] 4後 1 2 3 4 目 応 実習[※] 4後 1 2 3 4 用 応用作業療法学演習 4後 2 1 3 3 市 市 応用作業療法学演習 4後 2 1 3 3 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 <td></td> <td>-</td> <td>_</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>0</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td><u>수</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>0</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td>		-	_				3	0	5				0	0	1	<u>수</u>					3	0	5				0	0
作業療法総合演習 I 4後 1 1 1 1 1 1 1 1 1			,	実習【※】	4後					2	3	4					-	実習【※】	4後					2	3	4		
作業療法総合演習 I 1 1 1 1 1 1 1 1 1		作	≡			2				1	3	3					作			2	١.			1	3	3		
			-							1	1	,													1	1		
		法	ξ.								1						法				1			1	1	1		
		学	- 1			3	<u> </u>	0	0				0	0			字			3		0	0				0	0

				Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	•
				修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		言語聴覚療法 地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
40	応用	応用言語聴覚学 演習	4後	2			1	2	2			
総合科	言語	言語聴覚療法 総合演習 I	4後		1			1				
目	聴覚	言語聴覚療法 総合演習 Ⅱ	4後		1							1
	学	言語聴覚療法 総合演習Ⅲ	4後		1				1			
		小計(5科目)	-	3	3	0	1	2	2	0	0	1
	合言	†(223科目)	-	293	57	0	13	9	8	6	0	118

卒業要件及び履修方法

《理学療法学専攻》

①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 双17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修9単位、「理学・療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目29単位から必修3単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

《作業療法学専攻》

② 職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床 医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単 位から必修6単位、「基礎作業療法学」の6科目6単位から必修6単位、「作業療法評価学」の4科 目5単位から必修2単位、「作業療法治療学」の18科目20単位から必修20単位、「地域作業療法 学」の8科目9単位から必修6単位を含め7単位以上、「作業療法臨床実習」の3科目24単位から 必修24単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計141単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

《言語聴覚学専攻》

『日日中紀 アイ・スパー 「基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」 の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目53単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法法療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

【令和2年度】

				Ě	单位数	<u></u>	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准数	講	助	助	
				修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		言語聴覚療法 地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
4/3	応用	応用言語聴覚学 演習	4後	2			1	2	2			
総合科	言語	言語聴覚療法 総合演習 I	4後		1			1				
目	聴覚	言語聴覚療法 総合演習 Ⅱ	4後		1							1
	学	言語聴覚療法 総合演習Ⅲ	4後		1				1			
		小計(5科目)	-	3	3	0	1	2	2	1	0	1
	合計	†(225 科目)	-	295	57	0	13	9	8	6	0	122
		卒業	美要件及び	履修力	法							

《理学療法学専攻》

【生子療法子母以別 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 末」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上、「保健医療福祉の 理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の5科目5単位から必修5単位、「理学療法管理学」の2科目2単位から必修2単位、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修8単位、「理学療法語価学」の6科目6単位から必修9単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修23単位をそれぞれ修得する。

③展盟科日では「理学療法展盟科日群」の11科日20単位から必修20単位を修得する

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計143単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

《作業療法学専攻》

**「千森ボムチ守み》」 D基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

② 職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位及び選択必修6単位を含め17単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎作業療法学」の5科目5単位から必修5単位、「作業療法評価学」の4科目5単位から必修5単位、「作業療法評価学」の4科目5単位から必修5単位、「作業療法評価学」の4科目5単位から必修5単位、「作業療法評価学」の4科目5単位から必修5単位、「作業療法治療学」の18科目20単位から必修60単位、「地域作業療法学」の8科目9単位から必修6単位を含め7単位以上、「作業療法臨床実習」の3科目24単位から必修24単位をそれぞれ終過する

③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計144単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

《言語聴覚学専攻》

『日日中のスティス』) 乃基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の 4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25 科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ 修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

【令和3年度】

					Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目区分	l •	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	E /	'		+ %	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		恢人	心理学	1前	2								2
		探問の	教育学	1前•後		2							1
		0)	生命倫理	3前	_	2			_				2
		探社探令	コミュニケーション論	1前・後	2	_			1				
		探会の	社会学 リーダーシップ論	1前 4後	1	2							1
		- 0)	国際関係論	4後	l '	2							1
		_坪 地	地域課題研究I	2後	1	_			2				Ė
基	Ŀ	探求の	地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
積	#		生物学	1前		2							1
		自然	数学	1後		1							1
禾	4	の	物理学	1後		1							1
L	1	探	統計学 情報処理演習 I	1後 1前	1	2		1		1			1
		求	情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
		探健	健康科学	1前	1			1					
		水康	健康とスポーツ【※】	1前•後	1								3
			英語 I	1前・後	2			1					
		外国語	英語Ⅱ	1前•後		1		1					
		探語	英会話	1前・後		1							1
		水	中国語	1前・後	10	17	•		•	•	•	_	1
			小計(21科目) 医学英語	2前	13	17	0	9	9	8	3	0	16
			解剖学 I	1前	1			1					1
			(総論・神経系) 解剖学Ⅱ										
			(内臓・脈管系)	1前	1			1					1
			解剖学Ⅲ(骨格系) 解剖学Ⅳ(筋系)	1後 1後		1		1					1
			生理学 I			'		·					
		基	(動物性機能) 生理学Ⅱ	1前	1								3
		礎医	(植物性機能)	1後	1								3
		学	運動生理学	1後		1		2					
			運動生理学実習【※】 基礎運動学	2前 1後		1 2		2	1		1		
			運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
			理学療法	2前		1		1			1		
職	専		運動学演習 作業療法										
業専	· 門 支		運動学演習	2前		1		1			2		
門	持		人間発達学 小計(14科目)	1後	5	10	0	6	2	0	3	0	8
科日	科日		医学概論	1後	9	1	U	٥		U	3	U	1
目	目		病理学	1後	1								1
			内科学	2後	2								4
			整形外科学	2後	_	2		1					١.
			臨床神経学 精神医学	2前·後 2前	2								2 7
			小児科学	2例	1								4
		臨	リハビリテーション 医学	2前·後	1								1
		床医	医子 臨床心理学	2前・後	2								3
		学	耳鼻咽喉科学	2前		2							1
			形成外科学	3前		1							1
			臨床歯科医学 画像診断学	3前 3前		1							1
			臨床栄養学	3前		1							1
			臨床薬理学	3前		1							1
			救急管理実習【※】	3前·後		1							1
			小計(16科目)	-	11	11	0	1	0	0	0	0	28

【令和3年度】

				I	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准 ***	講	助	助	
					修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	専	保	リハビリテーション 概論	1前·後	1			2					
	門支	の健	社会福祉概論	1前·後	2								1
	持	の理念を	地域包括ケア論	3後	2								2
	科目	心福 祉	チーム連携論	4前	1								1
	1	122	小計(4科目) 理学療法概論	- 1前	6 1	0	0	2	0	0	0	0	4
		基	理学療法概論演習	1前	1				1	1			
		礎	理学療法セミナー I (PBL)	1後	1					1	1		
		理学	理学療法セミナーⅡ	0 ***					_				
		療法	(PBL)	2前	1				2				
		学	臨床運動学	2後	1			1					
			小計(5科目)	-	5	0	0	2	3	2	1	0	0
		₩ 理	理学療法管理学	3前	1			1					
		理樂	理学療法管理実務	3後	1								1
		法法	小計(2科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	1
			理学療法評価学	1後	1				1				
		理	理学療法測定 実習 I【※】	2前	1				2				
		学	理学療法測定	2後	1				2				
		療法	実習 I【※】 理学療法検査										
		評	実習 I【※】	2前	1				1		1		
		価学	理学療法検査 実習 II【※】	2後	1				1		1		
			電気診断学	3前	1			1					
			小計(6科目) 運動療法学	-	6	0	0	1	4	0	1	0	0
	専		運動療法学	2前	2			1					
職業	門基		実習【※】	2後	1			1					
専	幹		物理療法学 物理療法学	2前	2								1
門科	科目		実習【※】	2後	1				1				1
目	理		理学療法 日常生活活動学	2前	2			1					
	学		理学療法日常生活	2後	1			1		1			
	療法		活動学実習【※】 内部障害	2100						'			
	学		理学療法実習【※】	3前	2			2	1				
	専攻		中枢神経障害 理学療法実習【※】	3前	1								1
)		脊髄障害	0 24									
			理学療法実習【※】	3前	1								1
		理	運動器障害 理学療法実習【※】	3前	1			1		1			1
		学療	発達障害 理学療法実習【※】	3後	1				1				
		法	老年期障害										
		治療	理学療法実習【※】	3後	1			1		1			
		学	義肢装具学演習	3後	1				2				
			理学療法技術実習 I (運動関節学的手技)【※】	3前		1							1
			理学療法技術実習Ⅱ (神経筋促通手技)【※】	3後		1		1					1
			理学療法技術実習Ⅲ	3前		1							1
			(生体観察手技)【※】	OFFI		'							l '
			理学療法治療学実習 I (脳障害)【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅱ (ICU)【※】	3後		1							1
			理学療法治療学実習Ⅲ	3前		1							2
			(スポーツ障害)【※】	の削り		1							
			理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)【※】	3後		1							1
1 1		l	臨床理学療法	3前	1				1	1	1		
			技法演習(PBL)	0 10:1									

【令和3年度】

		3 4- 8			į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目区分	1	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	ഥ).	,		+ 4	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	専		地域理学療法学	2後	2			1	-		221		
	門		地域理学療法学演習	3前	1								1
	基幹	理	生活環境支援 理学療法実習【※】	3前	1			1					
	科目	学療域	機能代償支援	255					,		1		
	^	法学	理学療法実習【※】	3後	1				1		'		
	理学	7	ヘルスプロ モーション演習	3後	1			1					
	療		小計(5科目)	-	6	0	0	2	1	0	1	0	1
	法学	臨理	理学療法臨床実習I【臨】	2後	1			5	6	2	1		
	専攻	床学実療	理学療法臨床実習 I【臨】 理学療法臨床実習 II【臨】	3後	4			5	6	2	1		
	- X	習法	小計(3科目)	4前	18 23	0	0	5	6	2	1	0	0
			作業療法概論	1前	1	Ť	Ť	1	Ť	Ť			
		作	生活活動と障害【※】	1前	1					3			
		業基	基礎作業学実習【※】	1前	1					2			
		療礎法	応用作業学実習【※】 作業療法セミナー	1後 1後	1				2	2	3		
		学	11 X X X Z Z Z Z	1100	ľ				_		٠		
			小計(5 科目)	-	5	0	0	1	2	3	3	0	0
		会作	作業療法管理学	3後	1					1			1
		理療	作業療法管理実務	4前	1								1
		子法	小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	1	0	0	2
			基礎作業	2前	2			1					
		評業	療法評価学 作業療法評価実習 I (身体系)【※】	2前	1					1	2		
		価療	作業療法評価実習 II (精神·認知系)【※】	2前	1				2				
職		一法	作業療法評価実習Ⅲ (発達系)【※】	2後	1					1			1
業専			小計(4科目)	-	5	0	0	1	2	2	2	0	1
門	専		作業分析学	2前	1			1					
科目	門基		作業分析演習	2後	1			1		1	1		
	幹 科		基礎作業療法 治療学 I (身体系)	2後	2			1					
	目 ()		基礎作業療法治療学 Ⅱ(精神・認知系) 作業療法	2後	2				1				
	作業		日常生活活動学日常生活支援	2前	1					1			
	療法		作業療法実習【※】	2後	1					1			
	学専		義肢·装具 作業療法実習【※】	2後	1				2				1
	攻)		身体障害作業療法 実習 I (中枢神経系)【※】	3前	1			1			2		
		作業	身体障害作業療法 実習Ⅱ(脊髄・運動器系)【※】	3前	1					1	1		1
		療法治	身体障害作業療法 実習皿(内部系)【※】	3前	1								1
		療学	精神障害 作業療法実習 I【※】 精神障害	3前	1				2				
			精神障害 作業療法実習 I【※】 老年期障害	3後	1				2				
			在年期障害 作業療法実習 I【※】 老年期障害	3前	1					1			
			在平规阵告 作業療法実習 II【※】 発達障害	3後	1				1	1			
			作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			作業療法実習【※】 臨床作業療法	3後	1				1		1		1
			技法実習 I (PBL)【※】 臨床作業療法	2前 3後	1				1	1	2		
			技法実習 II (PBL)【※】 小計(18科目)	31友	20	0	0	1	4	3	3	0	5

【令和3年度】

					í	单位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	区分	ĵ		年 次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼扣
			地域作業療法学	2後	2	101	П	IX	IX	1	狄	T	1E
			地域作業療法学	3前	1					1			
	専		演習 生活環境支援	0,00	ľ					Ċ			
	門		作業療法実習【※】	3前	1					1			1
	基幹	作	機能代償支援	3後	1						1		2
	科	業地療法	作業療法実習【※】 就労支援										
	= (療域法	作業療法演習	3後	1				1		1		
	作業	学	生活活動マネジメント	3後		1				1			
	療		地域支援 I (余暇活動)(未開講)	3後		1				2			
	法学		地域支援Ⅱ (認知症)(未開講)	3後		1			1	1			
	専		小計(8科目)	-	6	3	0	0	2	3	2	0	3
	攻)	臨作	作業療法臨床実習I【臨】	2後	2				2	3	4		
		床業	作業療法臨床実習 I【臨】	3後	6				2	3	4		
		実療	作業療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16				2	3	4		
		習法	小計(3科目)	-	24	0	0	0	2	3	4	0	0
			言語聴覚障害学 総論 I	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学	1後	2			1	1	l			
			総論 Ⅱ 失語症学	1後	2			Ι΄.	'	l			1
			聴覚系医学	1版 2 後	2								3
			音声•言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学	2後	2								1
			(聴覚心理学を含む)										
			聴覚障害学	2前	2								1
職			音声障害学実習【※】 学習·認知心理学	2後 3前	1				1				1
業		基	言語発達学	3前	1				1				'
専門		礎	高次脳機能障害学	3前	1				1		1		1
科		語	言語発達障害学	3前	1								1
目		聴	重複障害学	3後	1				1				1
	専門	覚学	学習障害・広汎性	3前	1				1				1
	基	子	発達障害学 機能性構音障害学	-133					-				
	幹科		実習【※】	3前	1			1					
	目		器質性構音障害学 実習【※】	3前	1								1
	言		運動障害性	.//	١.								
	語		構音障害学実習【※】	3後	1					l			1
	聴		吃音学	3前	1								2
	覚学		嚥下障害学実習【※】	3 後	1								2
	専		補聴器・ 人工内耳学	3前	2								1
	攻		言語聴覚療法	0,2						_			
			セミナー I	2通	1					2			
			言語聴覚療法	3通	1					2			
			セミナー II 小計(25科目)		35	0	0	1	2	2	1	0	20
		-	小計(25科日) 言語発達障害検査	-		U	0	Ë			_	U	20
			実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価	2後	1				1	1			
		言	実習【※】 聴覚検査学										
		語	概見快宜子 聴覚障害検査実習【※】	2後 2後	2								1
		聴	失語·高次脳機能障害										
		覚療	検査実習【※】	3前	1					1			1
		法	失語·高次脳機能障害 評価実習【※】	3後	1				1	l			
		評価	発声発語·嚥下障害	3前	1					1			1
		学	検査実習【※】	の削り	l '					'			l '
			発声発語·嚥下障害 評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計(9科目)	-	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【令和3年度】

					直	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	科 E 区 分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	ĽΣ.	ĵ		平 次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
	車		言語聴覚療法技術実習 I (言語発達障害)【※】	3後	1				1				
	門基	言語	言語聴覚療法技術実習Ⅱ (高次脳機能障害)【※】	3後	1					1			1
職	幹 科	療覚	言語聴覚療法技術 実習Ⅲ(失語)【※】	4前	1				1				1
業	目(^于 療 法	言語聴覚療法技術実習IV (発声発語・嚥下障害)【※】	4前	1				1				1
門	言		小計(4科目)	-	4	0	0	0	2	1	0	0	3
科目	語聴	言	言語聴覚療法	2後	1			1	2	2	1		
н	覚学	臨語	臨床実習 I【臨】 言語聴覚療法							_			
	専	床聴実覚	臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
	攻	習療法	言語聴覚療法 臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
		-	小計(3科目)	_	20	0	0	1	2	2	1	0	0
			生涯スポーツ論	1後	2			1					
		*m	スポーツ心理学	1前	2								1
		理学	学校保健論 産業保健論	2前	1								1
		療	企業論	2前 2前	2								1
		法	データ分析論	2例	2			1					'
		展	経営組織論	3前	2			١.					1
		開	マーケティング論	3前	2								1
		科目	会計学総論	3前	2								1
		群	経営管理論	3後	2								1
			起業論	3後	2								1
			小計(11科目)	-	20	0	0	2	0	0	0	0	9
			土佐地域資源論	1後	2								1
			社会的企業論	1後	2								2
		作	ロポット技術活用論	2前	2								1
		業	地域生活とサービス	2前	2								1
	_	療法	精神障害者の援助 とネットワーク	2後	2								1
	度 開 斗	展開	障害者の 社会環境と制度	3前	2								1
Î		科	地域防災論	3前	2								1
•		目群	更生保護制度論	3前	2								1
		41	特別支援教育論	3前	2								1
			対人援助技術論	3前	2								2
			小計(10科目)	-	20	0	0	0	0	0	0	0	12
1		l	地域福祉活動論	1前	1								1
		=	マンガ概論マンガ基礎実習【※】	1前	2								1
		言語	マンガ基従夫省【※】 活字デザイン論	1前 1後	1 2								1
		聴	カチアリイン調 視覚デザイン概論	2前	2								1
		覚療	カラーコミュニ	2前	2								1
		法展	ケーション概論 視覚伝達デザイン論	2後	2								1
		開	情報メディア学 入門	2後	2								1
		科目	広告論	3前	2								1
		群	企業広報活動論	3前	2								1
		l	広告デザイン論	3前	2								1
		1	小計(11科目)	-	20	0	0	0	0	0	0	0	8

【令和3年度】

				È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准数	講	助	助	•
				修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	応	理学療法地域支援 実習【※】	4後	1			5	6	2	1		
	用理	応用理学療法学演習	4後	2			3	6	2	1		
	世学	理学療法総合演習I	4後		1		1	1	1			
	療	理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2				
	法学	理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
	子	小計(5科目)	1	3	3	0	5	6	2	1	0	0
	応	作業療法地域支援 実習【※】	4後	1				2	3	4		
	用	応用作業療法学演習	4後	2				1	3	3		
445	作業	作業療法総合演習I	4後		1				1			
総合	療	作業療法総合演習Ⅱ	4後		1			1		1		
科	法学	作業療法総合演習Ⅲ	4後		1			1	1	1		
目	h	小計(5科目)	-	3	3	0	0	2	3	4	0	0
		言語聴覚療法 地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
	応用	応用言語聴覚学 演習	4後	2			1	2	2			
	言語	言語聴覚療法 総合演習 I	4後		1			1				
	聴覚	言語聴覚療法 総合演習 Ⅱ	4後		1							1
	学	言語聴覚療法 総合演習Ⅲ	4後		1				1			
		小計(5科目)	-	3	3	0	1	2	2	1	0	1
	合計	†(225 科目)	ı	295	57	0	13	10	8	6	0	123

卒業要件及び履修方法

《理学療法学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の5<mark>科目5単位から必修6単位、「理学療法管理学」の2科目29単位から必修2単位、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法語床実習」の3科目23単位から必修62単位とそれぞれ修得する。</mark>

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計143単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限・48単位/年間)

《作業療法学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

② 職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から**必修11単位及び選択必修6単位を含め17単位以上**、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎作業療法学」の5科目**5単位から必修5単位、「作業療法管理学の2科目2単位から必修2単位、「作業療法評価学」の**4科目5単位から必修**7**単位、「作業療法治療学」の18科目2単位から必修20単位、「地域作業療法学」の8科目9単位から必修20単位、「地域作業療法学」の8科目9単位から必修20単位が6必修24単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計144単位以上を修得する。

《言語聴覚学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 来」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」 の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目3単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法協床実習」の3科目20単位から必修620単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ 修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

 - - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入して

(1) - ②授業科日表に関する変更内容

【令和元年度】

【令和2年度】

- 【**P 和 2 千 2 人** 「健康科学」「理学療法概論」「運動療法学」「運動療法学実習」の科目については、専任教員 (教授)2名を配置していたが、その内の1名が病気治療中にて、 主治医より勤務負担の軽減を指示されており、負担軽減が必要な状況の為それぞれの科目に対してもう1名の教員で対応するため教授の数を1名に変更した。 ・「臨床神経学」の兼任講師1名の開講回数が3回であるので、負担の軽減とより質の高い教育効果を得るため兼任講師を2名 から3名に変更した。 ・指定規則の改正により、「理学療法管理学」及び「作業療法管理学」の区分が新設されたのに伴い、「理学療法管理学」「理学療法管理実務」「作業療法管理学」 「作業療法管理実務」を新設区分に配置した。また、「理学療法管理実務」及び「作業療法管理実務」と新設科目の為、それぞれ兼任講師を1名づつ配置した。

- 「時党系医学」の基礎的な知識である聴器の構造と機能(生理)について、専門の医師による講義が望ましいとの担当教員2名からの意見もあり、兼任講師を2名から3名に変更をした。
 「聴党系医学」承任講師1名が講義を行えるのが後期ということであり、学年が変わらない範囲であれば、実施時期が前期後期による大きな影響はないので開講時期から後期に変更した。
 「聴党系医学」兼任講師1名が講義を行えるのが後期ということであり、学年が変わらない範囲であれば、実施時期が前期後期による大きな影響はないので開講時期を前期から後期に変更した。
 「臨床心理学」について3名の兼任講師の内1名が講義を行えるのが後期ということであり、実施時期が前期後期による大きな影響はないので開講時期を前期から前期・後期に変更した。

- 办**学**当位

【今和3年度】

- 「嚥下障害学実習」について、兼任講師の本務の都合により「3前」から「3後」変更して実施する。同一学年内での変更であり、教育課程の体系性への影響は
- なし。「英会話」

- ・「心理学」について兼任講師2名で授業を行っていたが、1名辞退により1名で授業を実施する。
 ・「医学英語」について2年次前期実施の授業科目ですが、講師の決定が遅くなり、4月当初に開講するのに十分な体制が整わず、開講時期を前期から一部のクラスを 後期に移動し前期・後期の開講として授業を実施する。開講時期の変更により開講回数を4回一3回に変更した。なお、前期・後期に変更したことによるカリキュラム 上の影響はない。
- -「脊髄障害理学療法実習」について兼任講師から脊髄損傷の分野における臨床経験豊富で知識・技術を身に着けており、令和3年度 AC教員審査にて科目判定「可」 を受けた准教授に変更しより質の高い授業を実施する。 「理学療法地域支援実習」「応用理学療法実習」について、専任教員の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている為准教授を1名配置し

- ・「生学療法地域支援美智」「応用生学療法美智」について、専仕教員の健康上の問題により今後授業美施に支障がでることが危惧されている為准教授を「名配置し 共同授業で実施する。 ・「補聴器・人工内耳学」について前期の科目ではあるが、本務の関係で前期中に開講することが困難な状況となっている。学生への質の高い十分な教育を行うため に、後期の開講に変更する。なお、後期に変更したことによるカリキュラム上の影響はなく、学生の負担に対して十分な配慮を行う。 ・「ロボット技術活用論」について、兼任講師1名での開講であったが、本務の都合により全ての授業を実施することができないため、新たに兼任講師を1名配置し計 2名のオムニバス方式で実施する。
- 「英会話」については、受講者数の関係により開講回数を4回→3回へ変更した
- 「地域支援 I (余暇活動)」「地域支援 I (認知症)」については、受講者がいないため開講しない。
- (注) •
- 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

Ī			i	设置時	の計画								変更	状》	兄					備考	
	必修	>	選打	択	自	由	計(人	۹)		必修	Z.	選択	5		自由	1		計		1 拥	
	175	科目	48	科目	0	科目	223	科目		77 2	科目	48 0	科目]	0 0	科目	22	25 2	科目		

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: \triangle 1)

2 授業科目の概要

<リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

			又は油口時』		j	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼			4 年 5			į	单位装	数	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・		科目区分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
			N 70024		修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担				N TID.244		修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		探問	心理学 教育学	1前 1前・後	2	2							2			探問	心理学 教育学	1前 1前・後	2	2							1
		採問求の	生命倫理	3前		2							2			球間求の	生命倫理	3前		2							2
		4.1	コミュニケーション論	1前・後	2				1							41	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		探社 探会の	社会学 リーダーシップ論	1前		2							1			探社 探会の	社会学 リーダーシップ論	1前		2							1
		** の	国際関係論	4後 4後	1	2							1			** の	国際関係論	4後 4後	1	2							1
		地	地域課題研究 I	2後	1				2				_			探域	地域課題研究 I	2後	1				2				
į	į.	探域 求の	地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3			麦	į.	探域の	地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		l
Į.	楚		生物学	1前	Ė	2		_	-		-		1	稻	*	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	生物学	1前	Ė	2			,	<u> </u>	-		1
		自然	数学	1後		1							1		-	自然	数学	1後		1							1
₹	4	の	物理学 統計学	1後		1							1	乔	4	の	物理学 統計学	1後		1							1
E	∃	探求	抗計子 情報処理演習 I	1後 1前	1	2		1		1			'	E	1	探求	統計子 情報処理演習 I	1後 1前	1	2		1		1			'
			情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1						7,	情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
		探康	健康科学	1前	1			2								探康	健康科学	1前	1			1					l
		水康水の	健康とスポーツ【※】	1前•後	1								3			水康水の	健康とスポーツ【※】	1前•後	1								3
		の国	英語 I 英語 Ⅱ	1前·後 1前·後	2	1		1								の外国	英語 I 英語 II	1前・後 1前・後	2	1		1					l
		の探話	英会話	1前・後		1		'					1			の国探語	英会話	1前・後		1		l '					1
		求罒	中国語	1前•後		1							1			採語 求	中国語	1前•後		1							1
			小計(21科目) 医学英語	 2前	13	17	0	9	9	8	3	0	16 1				小計(21科目) 医学英語	- 2前• 後	13	17	0	9	9	8	3	0	15
			解剖学 I	1前	1			1					1				解剖学 I	1前	1			1					
			(総論・神経系) 解剖学Ⅱ	נימי	ľ			'					'				(総論・神経系) 解剖学Ⅱ	1 89	'			l '					I
			(内臓・脈管系)	1前	1			1					1				(内臓・脈管系)	1前	1			1					1
			解剖学Ⅲ(骨格系)	1後		1		1					1				解剖学Ⅲ(骨格系)	1後		1		1					1
			解剖学Ⅳ(筋系)	1後		1		1					1				解剖学Ⅳ(筋系)	1後		1		1					1
			生理学 I (動物性機能)	1前	1								3				生理学 I (動物性機能)	1前	1								3
		基	生理学Ⅱ (植物性機能)	1後	1								3			基	生理学Ⅱ (植物性機能)	1後	1								3
		礎 医	運動生理学	1後		1		2								礎 医	運動生理学	1後		1		2					l
		学	運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1					学	運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		l
			基礎運動学	1後		2			1								基礎運動学	1後		2			1				l
			運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1						運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		l
			理学療法 運動学演習	2前		1		1			1						理学療法 運動学演習	2前		1		1			1		l
			作業療法	2前		1		1			2						作業療法	2前		1		1			2		l
職	専		運動学演習 人間発達学			1		ľ			-			職	専		運動学演習 人間発達学					l .			-		
業専	門支		小計(14科目)	1後	5	10	0	6	2	0	3	0	8	業専	門支		小計(14科目)	1後	5	10	0	6	2	0	3	0	8
門科	持科		医学概論	1後	Ť	1	J	Ť	_	Ť	J	_	1	門科	持科		医学概論	1後	Ť	1	Ť	Ť	Ė	Ť	j	Ť	1
目	目		病理学	1後	1								1	目	目		病理学	1後	1								1
1			内科学	2後	2								4				内科学	2後	2								4
1			整形外科学	2後		2		1									整形外科学	2後		2		1					l
1			臨床神経学	2前・後	2								2				臨床神経学	2前・後									2
1			精神医学 小児科学	2前 2後	2								1				精神医学 小児科学	2前 2後	2								7 4
1		臨	リハビリテーション													臨	小元代子 リハビリテーション										
1		床	医学	2前·後	1								1			床	医学	2前·後	1								1
1		医学	臨床心理学 耳鼻咽喉科学	2前	2	_							1			医学	臨床心理学 耳鼻咽喉科学	2前・後	2	_							3
		-	耳鼻咽喉科字 形成外科学	2前 3前		2							1			-	耳鼻咽喉科字 形成外科学	2前 3前		2							1
			臨床歯科医学	3前		1							1				臨床歯科医学	3前		1							1
			画像診断学	3前		1							1				画像診断学	3前		1							1
			臨床栄養学	3前		1							1				臨床栄養学	3前		1							1
			臨床薬理学	3前		1							1				臨床薬理学	3前		1							1
1			救急管理実習【※】	3前·後		1				_			1				救急管理実習【※】	3前·後		1							1
			小計(16科目)	-	11	11	0	1	0	0	0	0	20	Ш			小計(16科目)	-	11	11	0	1	0	0	0	0	20

		W-3 -4	「又は油口呀」		,	W 1.L. 1	kt.	-	- t 41				兼	È	I) TH	4 年 8				14 t.L. 16	4-	-	- 1-r +/L				兼
	科目		極業利日の夕弥	配当		単位数				員等		_	任・		科目	ı	極業利日の夕新	配当		单位数					の配		任・
	区分	1	授業科目の名称	年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		区分	}	授業科目の名称	年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
-			リハビリテーション		修	択	由	授	授	師	教	手	担	F	1		リハビリテーション		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	専門	保健	概論	1前·後	1			2							専門	保健	概論	1前·後	1			2				ı	
	支	の理念	社会福祉概論	1前・後	2								1		支持	頭医	社会福祉概論	1前・後	2							1	1
	科	^垤 療 念福	地域包括ケア論チーム連携論	3後 4前	2								2		科	念福	地域包括ケア論 チーム連携論	3後 4前	2							1	2
	目	祉	小計(4科目)	-	6	0	0	2	0	0	0	0	4		目	祉	小計(4科目)	-	6	0	0	2	0	0	0	0	4
			理学療法概論	1前	1			2									理学療法概論	1前	1			1					
		基	理学療法概論演習	1前	1				1	1						基	理学療法概論演習	1前	1				1	1		1	
		礎理	理学療法セミナー I (PBL)	1後	1					1	1					礎理	理学療法セミナー I (PBL)	1後	1					1	1	ı	
		学療	理学療法セミナーⅡ (PBL)	2前	1				2							学療	理学療法セミナー II (PBL)	2前	1				2			ı	
		法学	臨床運動学	2後	1			1								法学	臨床運動学	2後	1			1				ı	
		7	理学療法管理学	3後	1			1								7										Ш	
			小計(6科目)	-	6	0	0	4	3	2	1	0	0			111	小計(5科目) 理学療法管理学	3110	5	0	0	1	3	2	1	0	0
																管学业	理学療法管理実務	3後	1			l					1
																学法	小計(2科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	1
			理学療法評価学	1後	1				1								理学療法評価学	1後	1				1				
		理	理学療法測定 実習 I【※】	2前	1				2							理	理学療法測定 実習 I【※】	2前	1				2			ı	
		学療	理学療法測定 実習 I【※】	2後	1				2							学療	理学療法測定 実習Ⅱ【※】	2後	1				2			1 1	
		法	理学療法検査	2前	1				1		1					法	理学療法検査	2前	1				1		1	1 1	
		評 価	実習 I【※】 理学療法検査													評価	実習 I【※】 理学療法検査						١.			1 1	
		学	実習Ⅱ【※】	2後	1			L	1		1					学	実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1	ı	
			電気診断学 小計(6科目)	3前	6	0	0	1	4	0	1	0	0				電気診断学 小計(6科目)	3前	6	0	0	1	4	0	1	0	0
	_		運動療法学	2前	2		Ī	2							_		運動療法学	2前	2			1				Ħ	
職業	専門		運動療法学 実習【※】	2後	1			2						職業	専門		運動療法学 実習【※】	2後	1			1				ı	
専	基幹		物理療法学	2前	2								1	専	基幹		物理療法学	2前	2							1	1
門科	科目		物理療法学 実習【※】	2後	1				1				1	門 科	科目		物理療法学 実習【※】	2後	1				1			1 1	1
目	一(理		理学療法	2前	2			1						目	(理		理学療法	2前	2			1				1 1	
	学		日常生活活動学 理学療法日常生活							١.					学		日常生活活動学 理学療法日常生活									ı	
	療法		活動学実習【※】	2後	1			1		1					療法		活動学実習【※】	2後	1			1		1		ı	
	学専		内部障害 理学療法実習【※】	3前	2			2	1						学専		内部障害 理学療法実習【※】	3前	2			2	1			ı	
	攻)		中枢神経障害 理学療法実習【※】	3前	1								1		攻		中枢神経障害 理学療法実習【※】	3前	1							1 1	1
			脊髄障害 理学療法実習【※】	3前	1								1				脊髄障害 理学療法実習【※】	3前	1				1			1 1	
			運動器障害	3前	1					1			1				運動器障害	3前	1					1		1 1	1
		理学	理学療法実習【※】 発達障害		l					'			'			理学	理学療法実習【※】 発達障害		'					'		1 1	
		療法	理学療法実習【※】	3後	1				1							療法	理学療法実習【※】	3後	1				1			ı	
		治療	老年期障害 理学療法実習【※】	3後	1			1		1						治療	老年期障害 理学療法実習【※】	3後	1			1		1		ı	
		学	義肢装具学演習	3後	1				1							学	義肢装具学演習	3後	1				2			ı	
			理学療法技術実習 I (運動関節学的手技)【※】	3前		1							1				理学療法技術実習 I (運動関節学的手技)【※】	3前		1						1 1	1
			理学療法技術実習 Ⅱ	3後		1		1					1				理学療法技術実習Ⅱ	3後		1		1				1 1	1
			(神経筋促通手技)【※】 理学療法技術実習Ⅲ					l									(神経筋促通手技)【※】 理学療法技術実習Ⅲ					Ċ				1 1	-
			(生体観察手技)【※】	3前		1							1				(生体観察手技)【※】	3前		1						ı	1
1			理学療法治療学実習 I (脳障害)【※】	3前		1							1				理学療法治療学実習 I (脳障害)【※】	3前		1							1
1			理学療法治療学実習Ⅱ (ICU)【※】	3後		1							1				理学療法治療学実習Ⅱ (ICU)【※】	3後		1							1
			理学療法治療学実習Ⅲ	3前		1							2				理学療法治療学実習Ⅲ	3前		1							2
			(スポーツ障害)【※】 理学療法治療学実習IV														(スポーツ障害)【※】 理学療法治療学実習Ⅳ										
1			(障害者スポーツ)【※】	3後		1							1				(障害者スポーツ)【※】	3後		1							1
1			臨床理学療法 技法演習(PBL)	3前	1				1	1	1						臨床理学療法 技法演習(PBL)	3前	1				1	1	1		
			小計(21科目)	-	18	7	0	5	4	2	1	0	11				小計(21科目)	1	18	7	0	4	5	2	1	0	10

			人16個四時1		È	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任	
	科目区分] }	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助		
					修	択	曲	授	教授	師	教	手	兼担	
	車		地域理学療法学	2後	2			1						
	門		地域理学療法学演習	3前	1								1	
	基幹	理学療	生活環境支援 理学療法実習【※】	3前	1			1						
職業	法学		機能代償支援 理学療法実習【※】	3後	1				1		1			
専門		字	ヘルスプロ モーション演習	3後	1			1						
科目	療		小計(5科目)	-	6	0	0	2	1	0	1	0	1	
		臨理	理学療法臨床実習 [【臨】	2後	1			5	5	2	1			
	事	床学	理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	5	2	1			
	攻	実療習法	理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	5	2	1			
		首法	小計(3科目)	-	23	0	0	5	5	2	1	0	0	
			生涯スポーツ論	1後	2			1						
			スポーツ心理学	1後	2								1	
		700	学校保健論	2前	1								1	
		理学	産業保健論	2前	1								1	
厘	Ē	療	企業論	2前	2								1	
厚	刷	法展	データ分析論	2後	2			1						
科		開	経営組織論	3前	2								1	
E	=	科	マーケティング論	3前	2								1	
		目群	会計学総論	3前	2								1	
		чт	経営管理論	3後	2								1	
			起業論	3後	2								1	
			小計(11科目)	1	20	0	0	2	0	0	0	0	9	
		応	理学療法地域支援 実習【※】	4後	1			5	5	2	1			
糸	公	用	応用理学療法学演習	4後	2			3	5	2	1			l
4	À	理学	理学療法総合演習I	4後		1		1	1	1				l
和		療	理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2					
E	=	法	理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1					
		学	小計(5科目)	-	3	3	0	5	5	2	1	0	0	
		合言	†(112科目)	-	117	48	0	13	9	8	6	0	65	

卒業要件及び履修方法

《理学療法学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をされぞれ修得する。「基礎理学療法学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

	_[1	和	4 年月	ŧ]										
1						Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
I		科 E 区 5	1 }	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
J						修	択	由	授	授	師	教	手	担
1				地域理学療法学	2後	2			1					
ı		専門		地域理学療法学演習	3前	1								1
		基幹	理学療域	生活環境支援 理学療法実習【※】	3前	1			1					
	職業	科目(療法学	機能代償支援 理学療法実習【※】	3後	1				1		1		
	専門科	理学	子	ヘルスプロ モーション演習	3後	1			1					
]	目	療法		小計(5科目)	-	6	0	0	2	1	0	1	0	1
1		一学	臨理	理学療法臨床実習I【臨】	2後	1			5	6	2	1		
ı		専	床学	理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	6	2	1		
ı		攻	実療習法	理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	6	2	1		
1			百法	小計(3科目)	-	23	0	0	5	6	2	1	0	0
				生涯スポーツ論	1後	2			1					
ı				スポーツ心理学	1前	2								1
ı			*m	学校保健論	2前	1								1
ı			理学	産業保健論	2前	1								1
ı	E	展	療	企業論	2前	2								1
ı	F	嗣	法展	データ分析論	2後	2			1					
ı		화 크	開	経営組織論	3前	2								1
ı		=	科	マーケティング論	3前	2								1
ı			目群	会計学総論	3前	2								1
ı			14T	経営管理論	3後	2								1
ı				起業論	3後	2								1
1				小計(11科目)	-	20	0	0	2	0	0	0	0	9
			応	理学療法地域支援 実習【※】	4後	1			5	6	2	1		
ı	4	総	用	応用理学療法学演習	4後	2			3	6	2	1		
ı		÷	理学	理学療法総合演習I	4後		1		1	1	1			
I		4	療	理学療法総合演習 Ⅱ	4後		1		2	2				
		1	法学	理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
			子	小計(5科目)	-	3	3	0	5	6	2	1	0	0
1			合計	十(113科目)	-	118	48	0	13	10	8	6	0	64
1				卒業	要件及び	履修力	法							
-	// wm 1													

《理学療法学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から<mark>必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上、</mark>「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の5科目5単位から必修5単位、「理学療法管理学」の2科目2単位から必修2単位、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目23単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目23単位から必然64では14では14である。 修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得す

⑤卒業要件単位数は合計143単位以上を修得する。

_[1	育和:	元年月	ŧ)											_[4	7和	2 年度	Ē]										
	£1 C			37. 1 /		単位数				員等			兼任		£1 E			37. 1/		单位的					の配		兼任
	科目 区分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科 E 区 分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担						修	択	由	授	授	師	教	手	担
		探品	心理学	1前	2								2			探問	心理学	1前	2								2
		探問 水 水 の	教育学	1前・後		2							1			採間求の	教育学	1前・後		2							1
			生命倫理コミュニケーション論	3前 1前·後	2	2			1				2			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	生命倫理コミュニケーション論	3前 1前·後	2	2			1		┢	H	2
		探会	社会学	1前	2	2			'				1			探社探会	社会学	1前	2	2			'				
		探会求の	リーダーシップ論	4後	1	2							1			* _	ユムチ リーダーシップ論	4後	1	2							Ľ
		の	国際関係論	4後	l '	2							1			~ の	国際関係論	4後	l '	2							1
		ti b	地域課題研究 I	2後	1				2				-			11 b	地域課題研究 I	2後	1				2		 	\vdash	Ë
		探 ^地 求 の			Ľ					_	_					探域 求 の						١.		_			i
į	į.	0)	地域課題研究Ⅱ	3通	1	<u> </u>		7	9	7	3			1	į.	0)	地域課題研究Ⅱ	3通	1	_	<u> </u>	7	9	7	3	H	L .
E	楚	_	生物学	1前		2							1	,	楚	_	生物学	1前		2							1
14	Æ	自然	数学	1後		1							1	14	Æ	自然	数学	1後		1							Ľ
Ŧ	4	の	物理学	1後		1								₹	4	の	物理学	1後		1							Ľ
F	1	探求	統計学	1後		2							'		3	探求	統計学	1後		2		١,					l '
ĺ	_	~	情報処理演習I	1前	l ¦			1		1				'		~	情報処理演習I	1前	1			' 1		1			i
		Įz#	情報処理演習Ⅱ	1後	1			_		1						Įzb	情報処理演習Ⅱ	1後	1					Ľ	┢	H	<u> </u>
		探求の	健康科学	1前	1			2								探求の	健康科学	1前	1			1					i
		″ ທ	健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3			″	健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
		*	英語I	1前・後	2	١.		1								M	英語 I	1前・後	2			1					i
		の 外 塚国	英語Ⅱ	1前・後		1		1								外国語	英語Ⅱ	1前・後		1		1					١.
		探語	英会話	1前・後		1							1			探語求		1前・後		1							
			中国語	1前・後	40	1	_	_	_	_	_	_	1				中国語	1前・後	40	1		_	_	_	_		1
	1		小計(21科目) 医学英語	2前	13	17	0	9	9	8	3	0	16	-			小計(21科目) 医学英語	2前	13	17	0	9	9	8	3	0	16 1
			解剖学 I														解剖学 I										l '
			(総論・神経系)	1前	1			1					1				(総論・神経系)	1前	1			1					1
			解剖学Ⅱ	1前	1			1					1				解剖学Ⅱ	1前	1			1					1
			(内臓・脈管系) 解剖学Ⅲ(骨格系)	1後		1		1					1				(内臓・脈管系) 解剖学Ⅲ(骨格系)	1後		1		1					
			解剖学Ⅳ(筋系)	1後		1		'					1				解剖学Ⅳ(筋系)	1後		'							
			生理学 I			l '		'									生理学 I			ļ '		Ι'					
		#	(動物性機能)	1前	1								3			#	(動物性機能)	1前	1								3
		基礎	生理学Ⅱ (植物性機能)	1後	1								3			基礎	生理学Ⅱ (植物性機能)	1後	1								3
		医	運動生理学	1後		1		2								医学	運動生理学	1後		1		2					i
		学	運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1					了	運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		i
			基礎運動学	1後		2			1								基礎運動学	1後		2			1				i
			運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1						運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		i
			理学療法 運動学演習	2前		1		1			1						理学療法 運動学演習	2前		1		1			1		i
			作業療法	0 ***							,						作業療法	0 = 4				١,					i
職	専		運動学演習	2前		1		1			2			職	専		運動学演習	2前		1		1			2		i
業	門		人間発達学	1後		1							1	業	門		人間発達学	1後		1						Щ	1
専門	支持		小計(14科目)	-	5	10	0	6	2	0	3	0	8	専門	支持		小計(14科目)	-	5	10	0	6	2	0	3	0	8
科	科		医学概論	1後		1							1	科	科		医学概論	1後		1							1
目	目		病理学	1後	1								1	目	目		病理学	1後	1								1
			内科学	2後	2								4				内科学	2後	2	_		L,					4
			整形外科学 臨床神経学	2後 2前·後	2	2		1					2				整形外科学 臨床神経学	2後	2	2		1					١.
			精神医学	2前 2前	2								1				精神医学	2前·後 2前	2								3
			小児科学	2後	1								4				小児科学	2後	1								4
		m/-	リハビリテーション											I		m/-	リハビリテーション										
		臨床	医学	2前・後	1								1	I		臨床	医学	2前·後	1								1
		医	臨床心理学	2前	2								1	I		医	臨床心理学	2前・後	2								1
		学	耳鼻咽喉科学	2前		2							1			学	耳鼻咽喉科学	2前		2							1
			形成外科学	3前		1							1	I			形成外科学	3前		1	1	Ĭ	1				1
			臨床歯科医学	3前		1							1	I			臨床歯科医学	3前		1	1	Ĭ	1				1
			画像診断学	3前		1							1	1			画像診断学	3前		1							1
			臨床栄養学	3前		1							1	1			臨床栄養学	3前		1							1
			臨床薬理学	3前		1							1				臨床薬理学	3前		1							1
			救急管理実習【※】	3前·後		1							1	1			救急管理実習【※】	3前·後		1	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	\vdash	Ш	1
	l		小計(16科目)	-	11	11	0	1	0	0	0	0	20	L			小計(16科目)	-	11	11	0	1	0	0	0	0	21

	令和:	元年度	ŧ)											[1	令和	2年月	ŧ]				選 自 教 権 講 助 助 ^仕 兼担 2							
						単位数				員等			兼任							单位数								
	科 E 区 分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	*		科 E 区 5		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教		講	助	助		
					修	択	由	授	授	師	教	手	担						修	択	由	授		師	教	手		
	専	保	リハビリテーション 概論	1前·後	1			2							専	保	リハビリテーション 概論	1前·後	1			2						
	門	の健	社会福祉概論	1前·後	2								1		門	_ 健	社会福祉概論	1前·後	2								1	
		の理念	地域包括ケア論	3後	2								2		支持	の理念福	地域包括ケア論	3後	2								2	
	科目	心福 祉	チーム連携論	4前	1								1		科目	心福 祉	チーム連携論	4前	1								1	
	н	1111	小計(4科目)	ı	6	0	0	2	0	0	0	0	4			1111	小計(4科目)	1	6	0	0	2	0	0	0	0	4	
			理学療法概論	1前	1			2									理学療法概論	1前	1			1						
		基	理学療法概論演習	1後	1				1	1						基	理学療法概論演習	1前	1				1	1				
		礎理	理学療法セミナー I (PBL)	1後	1					1	1					礎理	理学療法セミナー I (PBL)	1後	1					1	1			
		学療	理学療法セミナー II (PBL)	2前	1				2							学療	理学療法セミナー II (PBL)	2前	1				2					
		法	臨床運動学	2後	1			1								法	臨床運動学	2後	1			1						
		学	理学療法管理学	3後	1			1								学												
			小計(6科目)	-	6	0	0	4	3	2	1	0	0				小計(5科目)	-	5	0	0	2	3	2	1	0	0	
																普里	理学療法管理学	3前	1			1						
																管理療	理学療法管理実務	3後	1								1	
																士法	小計(2科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	1	
			理学療法評価学 理学療法測定	1後	1				1								理学療法評価学 理学療法測定	1後	1				1		1 1	İ		
		理	実習 [【※】	2前	1				2							理	実習 [【※】	2前	1				2					
		学	理学療法測定 実習 I【※】	2後	1				2							学	理学療法測定 実習 II【※】	2後	1				2					
		療法	理学療法検査	2前	1				1		1					療法	理学療法検査	2前	1				1		1			
		評価	実習 I【※】 理学療法検査		ľ				ľ		ľ					評価	実習 I【※】 理学療法検査		·									
			実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1					学	実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1			
			電気診断学	3前	1			1									電気診断学	3前	1			i i						
	専		小計(6科目)	-	6	0	0	1	4	0	1	0	0		専		小計(6科目)	-	6	0	0	+	4	0	1	0	0	
職業	門		運動療法学 運動療法学	2前	2			2						職業	門		運動療法学 運動療法学	2前	2			Ľ			1 1	İ		
専門	基幹		実習【※】	2後	1			2						専門	基幹		実習【※】	2後	1			1						
科	科目		物理療法学 物理療法学	2前	2								1	科	科目		物理療法学物理療法学	2前	2								1	
目	~		実習【※】	2後	1				1				1	目	_		実習【※】	2後	1				1				1	
	理学		理学療法 日常生活活動学	2前	2			1							理学		理学療法 日常生活活動学	2前	2			1			1 1	İ		
	療法		理学療法日常生活	2後	1			1		1					療法		理学療法日常生活	2後	1			1		1	1 1	İ		
	学		活動学実習【※】 内部障害												学		活動学実習【※】 内部障害											
	専攻		理学療法実習【※】	3前	2			2	1						専攻		理学療法実習【※】	3前	2			2	1					
	$\overline{}$		中枢神経障害 理学療法実習【※】	3前	1								1		\smile		中枢神経障害 理学療法実習【※】	3前	1						1 1	İ	1	
			脊髄障害 理学療法実習【※】	3前	1								1				脊髓障害 理学療法実習【※】	3前	1								1	
		700	運動器障害	3前	1					1			1			+00	運動器障害	3前	1					1			1	
		学	理学療法実習【※】 発達障害		ľ					l '			'			理学	理学療法実習【※】 発達障害		'					l '			' '	
			理学療法実習【※】	3後	1				1							療法	理学療法実習【※】	3後	1				1					
		治	老年期障害 理学療法実習【※】	3後	1			1		1						治	老年期障害 理学療法実習【※】	3後	1			1		1				
		療学	義肢装具学演習	3後	1				1							療学	義肢装具学演習	3後	1				1					
			理学療法技術実習 I (運動関節学的手技)【※】	3前		1							1				理学療法技術実習 I (運動関節学的手技)【※】	3前		1							1	
			理学療法技術実習Ⅱ	05%		1							4				理学療法技術実習Ⅱ	044									4	
			(神経筋促通手技)【※】 理学療法技術実習Ⅲ	3後		'		1					1				(神経筋促通手技)【※】	3後		1		1			1 1	İ	1	
			理字療法技術美賀皿 (生体観察手技)【※】	3前		1							1				理学療法技術実習Ⅲ (生体観察手技)【※】	3前		1					1 1	İ	1	
			理学療法治療学実習 I (脳障害)【※】	3前		1							1				理学療法治療学実習 I (脳障害)【※】	3前		1							1	
			理学療法治療学実習 Ⅱ	3後		1							1				理学療法治療学実習Ⅱ	3後		1							1	
			(ICU)【※】 理学療法治療学実習Ⅲ														(ICU)【※】 理学療法治療学実習Ⅲ											
1			(スポーツ障害)【※】	3前		1							2				(スポーツ障害)【※】	3前		1							2	
1			理学療法治療学実習Ⅳ (障害者スポーツ)【※】	3後		1							1				理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)【※】	3後		1							1	
1			臨床理学療法 技法変習(PRI)	3前	1				1	1	1						臨床理学療法 株法演習(PRI)	3前	1			Ī	1	1	1			
1			技法演習(PBL) 小計(21科目)	-	18	7	0	5	4	2	1	0	11				技法演習(PBL) 小計(21科目)	-	18	7	0	4	4	2	1	0	11	
			7 HT (4117 HZ)		.0	,	Š	Š			_ '	ď			1		2 H1 (5 117 E1)		٠٠		Ů	ت	_		لئ	ٽ		

【今和元年度】

	D TH.	元年月	£.1		í	单位数	\$t	毐	任数	員等	の配	置	兼
	科目		授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	讃	助	助	任・
	区分	}	技术行口の右が	年 次	修	択	曲	授	教授	師	教	手	兼扣
			地域理学療法学	2後	2	,,		1		нг	3/		
	専		地域理学療法学演習	3前	1								1
	門基幹	理学地	生活環境支援 理学療法実習【※】	3前	1			1					
職業	科目	^療 域 法	機能代償支援 理学療法実習【※】	3後	1				1		1		
専門	理学	学	ヘルスプロ モーション演習	3後	1			1					
科目	療		小計(5科目)	-	6	0	0	2	1	0	1	0	1
	法学	臨理	理学療法臨床実習I【臨】	2後	1			5	5	2	1		
	専攻	床学	理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	5	2	1		
	-X	実療 習法	理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	5	2	1		
		首法	小計(3科目)	-	23	0	0	5	5	2	1	0	0
			生涯スポーツ論	1後	2			1					
			スポーツ心理学	1前	2								1
		理	学校保健論	2前	1								1
		学	産業保健論	2前	1								1
	民	療法	企業論	2前	2								1
	開 斗	展	データ分析論	2後	2			1					
T E		開	経営組織論	3前	2								1
		科目	マーケティング論	3前	2								1
		群	会計学総論	3前	2								1
			経営管理論 起業論	3後	2								1
			小計(11科目)	3後	20	0	0	2	0	0	0	0	9
			理学療法地域支援	.//		0	U				_	U	9
		応	実習【※】	4後	1			5	5	2	1		
糸	総	用理	応用理学療法学演習	4後	2			3	5	2	1		
£	} \$	学	理学療法総合演習 I	4後		1		1	1	1			
↑ E		療	理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2				
		法学	理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
			小計(5科目)	_	3	3	0	5	5	2	1	0	0

卒業要件及び履修方法

117 48 0 13 9 8 6 0 65

合計(112科目)

《理学療法学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位を全れぞれ修得する。「基礎理学療法学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

					Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	•
	E /			7 %	修	択	ф	授	教授	師	教	手	兼担
	_		地域理学療法学	2後	2			1					
	専門		地域理学療法学演習	3前	1								1
	基幹	理学物	生活環境支援 理学療法実習【※】	3前	1			1					
職業専門科目	科目	法域	機能代償支援 理学療法実習【※】	3後	1				1		1		
	理学	学	ヘルスプロ モーション演習	3後	1			1					
	療		小計(5科目)	-	6	0	0	2	1	0	1	0	1
	法	r⊬ rm	理学療法臨床実習I【臨】	2後	1			5	5	2	1		
	学専	臨理 床学	理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	5	2	1		
	攻	実療	理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	5	2	1		
)	習法	小計(3科目)	-	23	0	0	5	5	2	1	0	0
			生涯スポーツ論	1後	2			1					
			スポーツ心理学	1 🎁	2								1
		理	学校保健論	2前	1								1
		学	産業保健論	2	1								1
圧	Ę	療法	企業論	2前	2								1
厚		展	データ分析論	2後	2			1					
利 F		開	経営組織論	3前	2								1
=	1	科	マーケティング論	3前	2								1
		目群	会計学総論	3前	2								1
		仲	経営管理論	3後	2								1
			起業論	3後	2								1
			小計(11科目)	-	20	0	0	2	0	0	0	0	9
		応	理学療法地域支援 実習【※】	4後	1			5	5	2	1		
彩	i i	用	応用理学療法学演習	4後	2			3	5	2	1		
4	<u>, </u>	理学	理学療法総合演習 I	4後		1		1	1	1			
利 F		療	理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2				
F	1	法学	理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
		4	小計(5科目)	-	3	3	0	5	5	2	1	0	0
		Δ÷.	†(113科目)	118	48	0	13	9	8	6	0	67	

【令和2年度】

《理学療法学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の5科目5単位から必修5単位、「理学療法管理学」の2科目2単位から必修2単位、「理学療法評価学」の6科目生位から必修6単位、「理学療法評価学」の6科目と単位から必修6単位(理学療法部)の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法協床実習」の3科目23単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必 修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計143単位以上を修得する。

【令和3年度】

					È	单位数	牧	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目区分	1	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	止力	r		+ 4	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		人	心理学	1前	2	υC	щ	JX	100	Huly	70		2
		採間	教育学	1前・後		2							1
		~ັ ທ	生命倫理	3前		2							2
		ż+	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		探社 探会	社会学	1前		2							1
		求会	リーダーシップ論	4後	1								1
		l de	国際関係論	4後		2							1
身	ŧ	探域	地域課題研究 I	2後	1				2				
4	E .	求域	地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
榒	#E	自	生物学	1前 1後		2							1
乘	4	然	数学 物理学	1後		1							1
		を探	統計学	1後		2							1
E		求	情報処理演習 I	1前	1			1		1			
			情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
		探康	健康科学	1前	1			1					
		探康の	健康とスポーツ【※】	1前•後	1								3
		_ 外	英語 I	1前・後	2			1					
		の知	英語Ⅱ	1前・後 1前・後		1		1					
		採語	英会話 中国語	1前・後		1							1
			小計(21科目)	- Lini 100	13	17	0	9	9	8	3	0	16
			医学英語	2前	1								1
			解剖学I	1前	1			1					1
			(総論・神経系) 解剖学Ⅱ										
			(内臓・脈管系)	1前	1			1					1
			解剖学Ⅲ(骨格系)	1後		1		1					1
			解剖学Ⅳ(筋系)	1後		1		1					1
			生理学 I (動物性機能)	1前	1								3
		基	生理学Ⅱ	1後	1								3
		礎 医	(植物性機能)		l '								3
		学	運動生理学	1後		1		2	4		1		
			運動生理学実習【※】 基礎運動学	2前 1後		1 2		2	1		1		
			運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
			理学療法						<u> </u>				
	_		運動学演習	2前		1		1			1		
職業	専門		作業療法 運動学演習	2前		1		1			2		
専	支		人間発達学	1後		1							1
門科	持科		小計(14科目)	-	5	10	0	6	2	0	3	0	8
目	目		医学概論	1後		1							1
			病理学	1後	1								1
			内科学 整形外科学	2後 2後	2	2		1					4
			臨床神経学	2版 2前·後	2			Ι΄.					2
			精神医学	2前	2								1
			小児科学	2後	1								4
		臨床	リハビリテーション 医学	2前·後	1								1
		医	臨床心理学	2前・後	2								1
		学	耳鼻咽喉科学	2前		2							1
			形成外科学	3前		1							1
			臨床歯科医学 画像診断学	3前		1							1
			画像診断子 臨床栄養学	3前 3前		1							1
			臨床薬理学	3前		1							1
			救急管理実習【※】	3前·後		1							1
			小計(16科目)	-	11	11	0	1	0	0	0	0	28

【令和3年度】

						单位数		_		員等			兼任
	科 E 区 分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
			リハビリテーション		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	専門	保の健原	リハビリテーション 概論	1前·後	1			2					
	支	理도	社会福祉概論	1前·後	2								1
	持科	念福:	地域包括ケア論 チーム連携論	3後 4前	2								2
	目	祉	小計(4科目)	-	6	0	0	2	0	0	0	0	4
		١	理学療法概論 理学療法概論演習	1前 1前	1			1	1	1			
		基礎	理学療法セミナーI	1後	1				l '	' 1	1		
		理学	(PBL) 理学療法セミナー II	112	l '					l '	ı '		
		療	(PBL)	2前	1				2				
		法学	臨床運動学	2後	1			1					
			小計(5 科目)	-	5	0	0	2	3	2	1	0	0
		₩ 理	理学療法管理学	3前	1			1					
		理學	理学療法管理実務	3後	1								1
		子法	小計(2科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	1
			理学療法評価学 理学療法測定	1後	1				1				
		理	実習 I【※】	2前	1				2				
		学療	理学療法測定 実習 I【※】	2後	1				2				
		法	理学療法検査	2前	1				1		1		
		評価	実習 I【※】 理学療法検査						ľ		ľ		
		学	実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1		
			電気診断学 小計(6科目)	3前	6	0	0	1	4	0	1	0	0
	車		運動療法学	2前	2	Ŭ	Ü	1	•	Ŭ	Ė	Ů	Ů
職	門		運動療法学 実習【※】	2後	1			1					
業専	基幹		物理療法学	2前	2								1
門	科目		物理療法学 実習【※】	2後	1				1				1
科目	_		理学療法	2前	2			1					
	理学		日常生活活動学 理学療法日常生活	05%									
	療法		活動学実習【※】 内部障害	2後	1			1		1			
	学専		理学療法実習【※】	3前	2			2	1				
	攻)		中枢神経障害 理学療法実習【※】	3前	1								1
			脊髄障害 理学療法実習【※】	3前	1								1
		理	運動器障害 理学療法実習【※】	3前	1			1		1			1
		学療	発達障害 理学療法実習【※】	3後	1				1				
		法治	老年期障害	3後	1			1		1			
		療学	理学療法実習【※】 義肢装具学演習	3後	1			ľ	2	ļ .			
		子	理学療法技術実習I	3前	ľ	1			_				1
			(運動関節学的手技)【※】 理学療法技術実習Ⅱ	3後		1		1					1
			(神経筋促通手技)【※】 理学療法技術実習Ⅲ	3前		1							1
			(生体観察手技)【※】 理学療法治療学実習 I										
			(脳障害)【※】 理学療法治療学実習 II	3前		1							1
			(ICU)【※】 理学療法治療学実習Ⅲ	3後		1							1
			(スポーツ障害)【※】	3前		1							2
			理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)【※】	3後		1							1
			臨床理学療法 技法演習(PBL)	3前	1				1	1	1		
		l	小計(21科目)		18	7	0	4	5	2	1	0	11

【令和3年度】

					È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
	巨刀	r		+ 1/4	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
	専		地域理学療法学	2後	2			1					
	門		地域理学療法学演習	3前	1								1
	基幹科	理学療	生活環境支援 理学療法実習【※】	3前	1			1					
職業	目	法學	機能代償支援 理学療法実習【※】	3後	1				1		1		
専門科	理学	学	ヘルスプロ モーション演習	3後	1			1					
目	療法		小計(5科目)	-	6	0	0	2	1	0	1	0	1
	法	臨理	理学療法臨床実習 [【臨】	2後	1			5	6	2	1		
	専	床学	理学療法臨床実習 Ⅱ【臨】	3後	4			5	6	2	1		
	攻	実療	理学療法臨床実習皿【臨】	4前	18			5	6	2	1		
)	習法	小計(3科目)	1	23	0	0	5	6	2	1	0	0
			生涯スポーツ論	1後	2			1					
			スポーツ心理学	1前	2								1
		理	学校保健論	2前	1								1
		学	産業保健論	2前	1								1
圧	₹	療	企業論	2前	2								1
厚	F	法展	データ分析論	2後	2			1					
乖		開	経営組織論	3前	2								1
E	1	科	マーケティング論	3前	2								1
		目	会計学総論	3前	2								1
		群	経営管理論	3後	2								1
			起業論	3後	2								1
			小計(11科目)	-	20	0	0	2	0	0	0	0	9
		応	理学療法地域支援 実習【※】	4後	1			5	6	2	1		
彩	袋	用理	応用理学療法学演習	4後	2			3	6	2	1		
쉳	<u></u>	世学	理学療法総合演習I	4後		1		1	1	1			
利 E		療	理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2				
	1	法学	理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
		子	小計(5科目)	1	3	3	0	5	6	2	1	0	0
		合言	†(113科目)	-	118	48	0	13	10	8	6	0	66

卒業要件及び履修方法

年来委件及び履修力法 《理学療法学専攻》 ①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探 求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必 修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から<mark>必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上、</mark>「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の5<mark>科目5単位から必修5単位、「理学療法学価学」の2科目2単位から必修2単位、「理学療法評価学」の6科目単位から必修6単位、「理学療法評価学」の6科目単位から必修6単位、「理学療法法療学」の21科目23単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必</mark> 修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計143単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位/年間)

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) - ②授業科日表に関する変更内容

【令和元年度】

・ 兼任教員の本務の予定が合わない理由により、「スポーツ心理学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更した。 ・ 専任教員の体調不良の理由により、今年度に限り「理学療法概論演習」の開講時期を「1前」から「1後」に変更した。

【令和2年度】

- 77単位以上へ、「基礎型学療法学」の6科目6単位から必修6単位を5科目5単位から必修5単位へ変更し、位を140単位から143単位へ変更した。 「理学療法管理学」の2科目2単位を新たに追加し、卒業単

- 位を140単位から143単位へ変更した。 ・理学療法学専攻2年次科目「産業保健論」について、兼任講師が大阪在住であり、新型コロナウイルス感染拡大に伴い勤務先が、大阪府外への移動自粛を求めて いたこともあり開講時期を「2前」から「2後」に変更して実施した。同一学年内での変更であり、教育課程の体系性への影響はなし。 理学療法士・作業療法士指定規則の変更に伴い選択科目であった「臨床栄養学」「臨床薬理学」「画像診断学」「救急管理実習」が選択必修となり、開講回数が 「臨床業養学」「臨床薬理学」が1回→3回、「画像診断学」が2回→3回に変更となった。 ・「企業論」について、理学療法学専攻単独で同時に40名を超える授業科目として1クラスで行う授業としていたが、兼任講師より2クラスの授業が可能ということ もあり、教育効果を考えて2クラスに分けて授業を実施した。

【令和3年度】

- 【令和3年度】

 ・附帯事項における教員補充科目「運動器障害理学療法実習」について、令和2年度 A C 教員審査にて科目判定「可」受けた教授1名を新たに配置した。
 ・臨床神経学の兼任講師・名が辞退の為兼任講師の配置を3名から2名に変更した。
 ・「英会話」「統計学」については、受講者数の関係で開講回数を「英会話」4回→3回、「統計学」2回→1回にそれぞれ変更した。
 ・「英会話」「統計学」について、開学以来専任教員1名にで授業を行ってきたが健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている。
 その為令和3年度 A C 教員審査にて科目判定「可」受けた准教授1名を新たに配置し共同方式で実施した。
 ・「義肢・装具作業療法実習」について、専任教員名・兼任講師1名にて授業を行ってきたが、専任教員の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている。その為、令和3年度 A C 教員審査にて科目判定「可」受けた准教授1名を新たに配置し、再任教員の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている。その為、令和3年度 A C 教員審査にて科目判定「可」受けた准教授1名を新たに配置し、専任教員実施分を共同方式で行った。
 ・「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法臨床実習 I 」「理学療法に配置した。

【令和4年度】

- ALLU≫ではなり。 「脊髄陸等は母学療法実習」について兼任講師から脊髄損傷の分野における臨床経験豊富で知識・技術を身に着けており、令和3年度 AC教員審査にて科目判定「可」
- を受けた准教授に変更しより質の高い授業を実施する。 「理学療法地域支援実習」「応用理学療法実習」について、専任教員の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている為准教授を1名配置し 共同授業で実施する
- 英会話については、受講者数の関係により開講回数を4回→3回へ変更した。
- 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数 〈理学療法学専攻〉

	設置時	の計画			変更	状況	
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由 計	1用 行
73 科目	39 科目	0 科目	112 科目	74 科目 [1]	39 科目 [0]	0 113 科目 [0] [1	科目]

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目滅の場合: \triangle 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	基礎、展開 職業専門、総合	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	基礎、展開 職業専門、総合	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

		授業科日を未開講▽	ハナダルアー			
\cdot	,,	授業科目を未開講又		・ノくエマノハノロコ	メン・ナエ	

該当なし			

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	223	_	0 96

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内					容					備考		
(1)		区	分		専		用		共	用		キ用する(学校等の)				計		運動場用地:高知学園短 期大学 k # B		
+**	ŧ	交 舎	敷坩	b		8, 1	81.05 m ²			_	mi		_	mi		8, 181	. 05 m	- 期大学と共用 高知市福井町字宮の前 924-1他		
校		運動場	開地	ļ			— m³		2	24, 025. 00	mi		_	mi		24, 025	i. 00 m	524 170 距離:15 k m 車で約25分		
地		小	Ħ	-		8, 1	81.05 m ²		2	24, 025. 00	mi		_	mî		32, 206	6. 05 m			
ht.		 σ.) 他	ļ.		18, 1	72. 91 m ²			_	mi		_	mî		18, 172	2. 91 m	L 11 14		
等		合	計	÷		26, 3	53.96 m ²		2	24, 025. 00	mi		_	mî	50, 378. 96 m			## ED #088 - 00 /= N.I. L.		
					専		用		共 用			共用する他の 学校等の専用				計		開設年度の専共用面積		
(2) 校		舎	È	•		9, 1	68. 42 m²		— m [*]		mi		_	mî		9, 168	3. 42 m	- 変更のため(元) 校舎面積は講堂 兼		
						357. 5 199. 58		6, 672. 57 (- 5, 954. 58 m³)		(-	1, 120. 28 (-2, 014. 26 - m²)		((9, 168. 42 m²)			体育館を除く			
				講	義室		演	習室		実験実	習室	情報処	理学習	施設	語	学学習加	施設	大学全体		
(3) 教	室	等	Ē		20	室		15			21 室			1 室			一室	研究室(実専·准教授 1名)へ変更のため		
					20	至		16 室	<u> </u>		21 主	(補助職	战員 —	- 人)	(補助	職員 ·	— 人)	(4)		
(4) 専	専任教員研究室						新設学部等の名称					室			数			大学全体 (令和3年9月)実専にて		
(4)	正教員	いえき	=		リハビリ	リハビリテーション学部リハビリ				リハビリテーション学科			35 (室	准教授1名追加		
(-)	新訳	学部等	辛		図書			f雑誌				視聴覚	資料	機械・	器具	標	本			
(5)		名称	47	[5	ち外国書) m	[うち	外国書〕	種	電子ジャ- 〔うち外[点		点		点			
				01 1	20 1 775				作里	4 4		000		2, 83				4		
					00 1,775 0 0 (1,775		89 [13]		3 3		880 845		2, 80 2, 76			06 10			
		リハビリ テーション学部 30,600 1,75 -30,300 1,75 -29,600										861		2, 81						
図	1-2				テーション字部 30,300 1, 29,600			ナーション子部		90		88 _			4 4 3 3		859 839	∍	2, 80 2, 74	7
書•					00 1, 730 00 (1, 715		(87 [(11))			-}-	- 815 (805)			2,696 (2,659)		0)	械・器具購入数変更の ため(3)(4)		
設備				31 1	00 1, 775		4 4							2, 837		06				
, iii					00 (1, 775		89 [13]		3 3	_	880 845		2, 80 2, 76			10				
		計			00 1, 732							861		2, 81						
				29, 6			88 –			4 4 3		859 839	₹	2, 80 2, 74	7		06 7 8 _)			
					00 1, 730 00 (1, 715		(87 [-11))	1 (1		818 (808)		2, 69 (2, 65		(-7	,			
(6) 図		200	÷		面		積			閲覧座	席数		収	納豆	「 能	m ·	数	- 大学全体		
(0)区	晋	書館 594.35					ຳ			114 #	常			50, 0	000	m ·		ハチキ仲		
(7) 体	育	Ê	館 427.70				積				*育館以ダ	トのスポー	-ツ施設	の概要				- 大学全体		
			427.70				m ¹	<u>_</u>	左座	該当な		88 m. 44	左庄	88 an A-	· #	<u> </u>	左座			
(0)	経費					開設年度 完成年			Z □ □ □ ⇒ 8	分 # 3 #	開設前					年度	_ ・図書については設備			
(8) 経費の	発力 積り # 同 研 宏 典 第						千円		購入費 	6, 500			2,500 千円 — 千円		- 千円	購入費を第2年次まで				
積り及 維持方	経費の見 積り及び 共同研3 維持方法 共同研3							2, 000		<u> </u>	購入費 毎 4 年			-	十円	笛らち		これに合わせて第2年 次まで記載した		
	無 付 刀 次 の 概 要 学生 1 人当 り 第 1 年次 納付金 1,550 千円								第4年次 第5年次 第6年次 1,260 千円 — 千円 — 千円				・電子ジャーナルデー タベースの整備運営費							
	-				150 千円 維持方法の	<u> </u>				料収入・雑	-			— TF	1		· T	は図書費に含まない		
		一工 祁	יים ניוני	W/LON!	ᄪᄁᄀᄼᄶ	加女	貝炷理	/U4X八 •	丁蚁;	ヤイスハ・ 椎・	水八寸じ	רים, רוצו								

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	高知リ	ハビリ	テーショ	ン専門耶	哉大学		学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上 の学科等数	0	備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員		学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科 のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人		人		倍	倍	年度	年度			
<u>リハビリテーション学部</u>	4	150	_	600	-	0. 78	0. 81		平成31	高知県土佐市高岡町乙1139-3		
<u>リハビリテーション学科</u>	4	150	-	600	-	0. 78	0. 81	-	平成31	同上		
<u>理学療法学専攻</u>	4	70	-	280	理学療法 学士 (専門職)	0. 93	1. 14	-	平成31	同上		
<u>作業療法学専攻</u>	4	40	-	160	作業療法 学士 (専門職)	0. 65	0. 57	-	平成31	同上		
<u>言語聴覚学専攻</u>	4	40	-	160	言語聴覚 学士 (専門職)	0. 63	0. 47	-	平成31	同上		
大学全体	4	150	-	600	-	0. 78	0. 81	-	_	-		

大学の名称	高知	学園大学	学				学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上 の学科等数	0	備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科 のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度			
健康科学部	4	130	-	520	-	0. 79	0. 74	-	令和2	高知県高知市旭天神町292-26		
管理栄養学科	4	70	-	280	学士 (栄養学)	0. 79	0. 77	-	令和2	同上		
臨床検査学科	4	60	-	240	学士 (臨床検査 学)	0. 79	0. 71	-	令和2	同上		
大学全体	4	130	-	520	-	0. 79	0. 74	-	-	-		

大学の名称	高知	学園短期	胡大学				学生募集停止学科数	3	平均入学定員超 過率1.3倍以上 の学科等数		0	備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科 のみ)	開設 年度	所 在	地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度				
生活科学学科	2	-	-	-	短期大学士	-	-	-	平成17	高知県高知市旭天神	●町292-26	令和2年4月学生	主募集停止
幼児保育学科	2	80	-	160	短期大学士	0. 88	0. 80	-	平成17	同上			
医療衛生学科	3	-	-	-	-	-	-	-	平成18	同上		令和2年4月学	主募集停止
医療検査専攻	3	-	-	-	短期大学士 (臨床検査学)	-	-	-	平成18	同上		令和2年4月学	主募集停止
歯科衛生専攻	3	-	-	-	短期大学士 (歯科衛生学)	-	-	-	平成18	同上		令和2年4月学	主募集停止
歯科衛生学科	3	40	-	120	短期大学士 (歯科衛生学)	0. 89	0. 82	-	令和2	同上		令和2年4月学	科名称変更
看護学科	3	60	-	180	短期大学士	1. 14	1. 11	-	平成20	同上			
短期大学全体	3	180	-	460	I	1.00	0. 91	-	ı	ı			

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。

 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

 - ・本年度A C対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<リハビリテーション学部 リハビリテーション学科>

(1)一① 担当教員表

	可時又	は届出時】	_		口元年	度】	_		12年	度】	_		13年	度】		和4	年月	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	200	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	聯	战名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		小嶋 裕 (69) <平成31年4月> 博士 (介護福祉・ ケアマネジメント学)				小嶋 裕 (69) 〈平成31年4月〉 博士 (介護福祉・ ケアマネジメント学)				小嶋 裕 (70) <平成31年4月> 博士(介護福祉・ ケアマネジメント学)				小嶋 裕 (71) <平成31年4月> 博士 (介護福祉・ ケアマネジメント学)				小嶋 裕 (72) <平成31年4月> 博士 (介護福祉・ ケアマネジメント学)
専	教授	リハビリテーション概論 理学療法概論 地理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅲ		専	教授	リハビリテーション概論 理学療法概論 地域理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅲ		専	教授	リハビリテーション概論 理学療法機論 地域理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習 理学療法総合演習 理学療法総合演習エ		専	教授	リハビリテーション概論 理学療法概論 地理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法地域支援実置 理学療法総合演習Ⅲ	専	鬱		リハビリテーション概論 理学療法概論 地域理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習団 理学療法総合演習団
		大倉 三洋 (70) <平成31年4月> 博士 (学術)				大倉 三洋 (70) 《平成31年4月》 博士 (学術)				大倉 三洋 (71) <平成31年4月> 博士(学術)				大倉 三洋 (72) <平成31年4月> 博士 (学術)				大倉 三洋 (73) <平成31年4月> 博士 (学術)
専		東京 I		專	教授	地域は現代で、 健康を指す。 地域は発生等する。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		専	教授	地域接種学学 機構等学学 等型生生学学学 等型生生学学学 等型生生学学学 等型生生学学学 電気診断学 電気診断学 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子学表表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等表質 電子等 電子等 電子等 電子等 電子等 電子等 電子等 電子等		専	教授	地域事業を 地域事業を 地域事業を 地域の 地域の 地域の 地域の 地域の 地域の 地域の 地域の	專	鬱	対授	地域課題研究 I 研奏科学 研奏科学 通路技術学 通路大学 通路大学 通路大学 通路大学 電路新学 通路大学 運輸業学 運輸業学 運輸業学 運輸業学 運輸業学 運輸業学 運輸業学 運輸業学 運輸業学 運輸業学 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運輸業 運動 運動 運動 運動 運動
		高野 康夫 (69) <平成31年4月> 保健学博士				高野 康夫 (69) <平成31年4月> 保健学博士				高野 康夫 (70) <平成31年4月> 保健学博士				高野 康夫 (71) <平成31年4月> 保健学博士				高野 康夫 (72) <平成31年4月> 保健学博士
専	教授	解剖学 I(総論・神経系) 解剖学 II(内臓・脈管系) 解剖学 II(骨格系) 解剖学 II(簡系)		専	教授	解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 II (内臓・脈管系) 解剖学 II (骨格系) 解剖学 IV (筋系)		専	教授	解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 II (内臓・脈管系) 解剖学 II (骨格系) 解剖学 IV (筋系)		専	教授	解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 II (内臓・脈管系) 解剖学 II (青格系) 解剖学 IV (筋系)	専	3		解剖学Ⅰ(総論・神経系) 解剖学Ⅱ(内臓・脈管系) 解剖学Ⅲ(骨格系) 解剖学Ⅳ(筋系)
		山崎 裕司 (55) <平成31年4月> 博士(医学)				山崎 裕司 (55) <平成31年4月> 博士(医学)				山崎 裕司 (56) 《平成31年4月》 博士 (医学)				山崎 裕司 (57) 〈平成31年4月〉 博士(医学)				山崎 裕司 (58) <平成31年4月> 博士 (医学)
専	教授	地球球走到 地球球走到 地球球球上 地球球球上 地球球球 地球球球 地球球球 地球球球 地球球球 地球球 地		専	教授	地球球法型 理球球型等 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作		専	教授	地球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球球		専	教授	地球球球型	專	影	対授	地球學院上 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京
		辻 博明 (71) <平成31年4月> 博士(工学)				辻 博明 (71) 《平成31年4月》 博士 (工学)				辻 博明 (71) <平成31年4月> 博士 (工学)				辻 博明 (73) <平成31年4月> 博士(工学)				辻 博明 (74) <平成31年4月> 博士 (工学)
専	教授	地域課題研究 I 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 生涯スポーツ論		専	教授	地域課題研究 II 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 生涯スポーツ論		専	教授	地域課題研究 II 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 生涯スポーツ論		専	教授	地域課題研究 I 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 生涯スポーツ論	専	35		地域課題研究 II 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 生涯スポーツ論
専	教授	竹島 卓 (71) <平成31年4月> 博士 (学術)		専	教授	竹島 卓 (71) <平成31年4月> 博士 (学術)		専	教授	竹島 卓 (72) <平成31年4月> 博士 (学術)		専	教授	竹島 卓 (73) <平成31年4月> 博士 (学術)	専	#	対授	竹島 卓 (74) <平成31年4月> 博士 (学術)
		情報処理演習 I 情報処理演習 I データ分析論				情報処理演習 I 情報処理演習 I データ分析論				情報処理演習 I 情報処理演習 I データ分析論				情報処理演習 I 情報処理演習 I データ分析論				情報処理演習 I 情報処理演習Ⅱ データ分析論
		武内 和弘 (72) 〈平成31年4月〉 歯学博士				武内 和弘 (72) <平成31年4月> 歯学博士				武内 和弘 (73) <平成31年4月> 歯学博士				武内 和弘 (74) <平成31年4月> 歯学博士				武内 和弘 (75) 《平成31年4月》 歯学博士
専	教授	地域課題研究工 質話經費的書字総論1※ 實話經費會等學報論1※ 環話經費會等學業習 實話經費會等學業習 實話經費會主義底束署目 實話經費會主義底束署目 實話經費會主義底束署目 實話經費會主義底束署 足用		専	教授	地域課題研究 I 常言語經濟學學報論 I ※ 言語經濟學學學報論 I ※ 言語經濟學學學與 環語經濟學學與 言語經濟學學與 言語經濟學經過底與需 I 言語經濟學經過底與需 I 言語經濟學經過底與需 言語經濟學經過度與 可 言語經濟學經過		専	教授	地域課題研究 II 當話較賣客学說論 1 ※ 當話較賣客学說論 1 ※ 當話秘賣賣客学說論 2 ※ 標繳性情事實客学學習 當話較賣 療法職 庆晉 I 當話較賣 療法職 庆晉 I 富語較賣 療法職 庆晉 I 富語較賣 療法職 庆晉 I 富語較賣 療法 申		専	教授	地域課題研究 I 常言語使资格学 Y 総論 I ※ 言語經濟學等 Y 総論 I ※ 言語經濟學等 Y 総論 I ※ 言語經濟學等學 字言言語經濟學等學 字言言語經濟學法經床來署 I 言言語經濟學法經床來署 I 言言語經濟學法經床來署 I 言言語經濟學法經末來署 I 言言語經濟學法學 I ※ 可以	専	鬱	対授	地域疑點研究 II 富語被資富学說論 1 ※ 富語被資富等學說

]時又	は届出時】		和元年	度】		12年	度】		【令和	3年	度】		和4年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ あ別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	莱莱	担・任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	玉井 健 (65) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)	専	教授	五井 健 (65) <平成31年4月> 博士 (学術)	専	教授	玉井 健 (66) 《平成31年4月》 博士(学術)		専	教授	玉井 健 (67) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)	専	教授	五井 健 (68) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)
		英語 I 英語 I			英語 I 英語 I			英語 I 英語 I				英語 I 英語 I			英語 I 英語 I
		清水 — (71) <平成31年4月> Master of Science (米国)			清水 — (71) <平成31年4月> Master of Science (米国)			清水 — (72) <平成31年4月> Master of Science (米国)				清水 — (73) <平成31年4月> Master of Science (米国)			清水 — (74) <平成31年4月> Master of Science (米国)
專	教授	作業療法運動学演習 作業療法概論 基礎作業成法評価学 作業分析学 作業分析学 話磁性療療法治療学 I (身体系) 身体障害作業療法治療学 I (身体系) 身体障害作業療法接署 I	専	教授	作業療法運動学演習 作業療法環施 基礎作業療法評価学 作業分析学 作業分析学 基礎作業療法治療学 I (身体系) 身体障害作業療法治療学 I (身体系) 身体障害作業療法治療学 I (身体系)	専	教授	作業療法運動學演習 作業療法概論 結礎作業成法評価學 作業分析学 作業分析学 活磁性作業療法治療学 I (身体系) 身体障害作業療法治療學 I (身体系) 自体障害作業療法		專	教授	作業療法運動学演習 作業療法規論 基礎作業使法評価学 作業分析学 作業分析学 香磁性業療法治療学 I (身体系) 身体障害作業療法治療 I (身体系) 中極神経系)	専	教授	作業療法運動学演習 作業療法機 基礎作業表法評価学 作業分析学 作業分析資 基礎作業療法治療学 I (身体系) 身体障器件業療法治療学 I (身体系) 身体障器件業療法
申	教授	相遷 撤 (56) 〈平成32年4月〉 博士 (医学)	專	教授	相遷 徹 (56) <平成32年4月> 博士 (医学)	専	教授	相澤 徹 (56) 《平成32年4月》 博士 (医学)		専	教授	相遷 徹 (57) 〈平成32年4月〉 博士 (医学)	專	教授	相澤 徹 (58) <平成32年4月> 博士 (医学)
		運動機能学実習 整形外科学			運動機能学実習 整形外科学			運動機能学実習 整形外科学				運動機能学実習 整形外科学			運動機能学実習 整形外科学
		柳澤 健 (711) <平成32年4月> 博士 (医学)			柳澤 健 (71) <平成32年4月> 博士 (医学)			柳澤 健 (71) (平成32年4月) 博士 (医学)			_	- 柳澤 健 (72) <平成32年4月> 博士 (医学)			柳澤 健 (73) <平成32年4月> 博士 (医学)
専	教授	地域課題研究 I 運動檢法学 運動檢法法学 理學檢法技術実習 I (神経筋促過手 理學檢法結構実習 I 理學檢法臨床実習 I 理學檢法臨床実習 I 理學檢法臨床実習 I	専	教授	地域課題研究 I 運動療法学 実習 運動療法学 実習 運動療法学 実習 工学療法技術 実習 I (神経筋促通 手技) ※ 理学療法臨床 実習 I 理学療法臨床 実習 I 理学療法臨床 美習 I	専	教授	地域課題研究 I 運動療法学 運動療法学東電理學療法技術東電 I (神経筋促通手 理学療法技術東電 I (神経筋促通手 理学療法臨床東電 I 理學療法臨床東雷 I 理學療法臨床東雷 I		専	教授	地域課題研究 II	専	教授	地域課題研究 II 運動療法學 II 運動療法學 II 運動療法學 II 運動療法學 II 運動療法學 II II II II II II II II II II II II II
		宮川 哲夫 (65) <平成33年4月> 博士 (医学)			宮川 哲夫 (65) 〈平成33年4月〉 博士(医学)			宮川 哲夫 (65) <平成33年4月> 博士 (医学)				宮川 哲夫 (65) <平成33年4月> 博士 (医学)			宮川 哲夫 (66) 〈平成33年4月〉 博士 (医学)
専	教授	地域課售電子工作 中部標準等理学療法 中部標準等等 中語標準等等 中語 中語 中語 中語 中語 中語 中語 中語 中語 中語	専	教授	地域課題研究 I 内部被害理学療法案習※ 理学療法協議英書 I 理学療法協議英書 I 理学療法協議英書 I 理学療法協議英書 I 理学療法協議英書 I 同學學療法學習 同用理学療法學演習	専	教授	地域課題研究 II 内部牌書理学療法案習※ 理理學療法臨床業習 II 理學學療法臨床業習 II 理學學療法臨床業習 II 理學學療法 國際學 原子療法 國際學 原子療法 學 原子療法 學 原子療法 學 原子療法 學 原子療法 學 原子療法 學 原子療法 學 原子療法 學 原子療法 學 原子療法 學 原子療法 國際		専	教授	地域課題研究 II 内部障害理学療法案習 ※ 理学療法態床疾来習 II 理学療法協床疾来 習 II 理学療法協議床 來來 達 療法 理 原子療法 理 原子療法 理 原子療法 理 原子療法 原本 原本 原本 原本 原本 原本 原本 原本 原本 原本	専	教授	地域課題研究工 内部認書理学療法案習※ 理学療法施尿疾来習工 理学療法施尿疾来等習工 理學療法施尿疾 理學療法施尿 理學療法施尿 工 理學療法施尿 工 理學療法 工 工 理 子 療法 工 工 理 子 療 工 工 理 子 療 工 工 理 子 療 工 工 工 理 子 療 工 工 展 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工
		石川 裕治 (57) 〈平成31年4月〉 社会学士			石川 裕治 (57) 〈平成31年4月〉 社会学士			石川 裕治 (58) 《平成31年4月》 社会学士				石川 裕治 (59) 〈平成31年4月〉 社会学士			石川 裕治 (60) 《平成31年4月》 社会学士
専	准教授	地域国際研究 ロコミーケーション像 宮廷地受貨等学校論 ※ 宮廷地受貨等学校論 ※ 宮廷地受貨等学校論 ※ 宮廷地受貨等学校論 ※ 高大地模地投資等等 高大地模地投資等等 高計能受費が提供 ※ (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (金子) (専	准教授	地域接越守文1 フミュケーション論 言語秘密連手を論 1 ※ 言語秘密連書等を論 1 ※ 言語秘密連書等を論 1 ※ 言語秘密連書等を論 2 ※	市サ	准教授	地域提展等了 I フミューターション論 言語秘密 声字光論 1 ※ 言語秘密 声音字松論 1 ※ 言語秘密 声音字松論 2 ※ 言語秘密 声音 2 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※		專力	生教授	地域理器研究 I コン論 コミュニケーション論 言語を変態を発験 I ※ 言語を変態を完整を 高大脳機能が表彰 I (大き) ※ (人事を) ※ (人事を) ※ (人事を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本を) ※ (日本	專	准教	地域短期研究 I 1 2 2 4 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
		稲田 勤 (56) 〈平成31年4月〉 修士(数育学) ※			稲田 動 (56) <平成31年4月> 修士(教育学) ※			稲田 動 (57) < 平成31年4月> 修士(教育学) ※				稲田 勤 (58) 〈平成31年4月〉 修士(数育学) ※			稲田 動 (59) <平成31年4月> 修士(教育学) ※
唐宁	准教授	地域描述字字 是模型字子 是模型字子 是模型字子 是模型字子 写话经验之序 写话经验之序 写话经验之序 是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	專	准教授	地域接越研究 I	市サ	准教授	地域接越守平 至		專力	生教授	地議院建學 學等 學等 學等 學等 是中等 是中等 是中等 是中等 是中等 是中等 是中等 是中	專	准教持	地域提進等 2 至

	可時又	は届出時】		和元年	度】		112年	度】			13年	度】		和4年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	莱莱	担・任例	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		片山 訓博 (47) 〈平成31年4月〉 博士(学術)			片山 訓博 (47) <平成31年4月> 博士 (学術)			片山 訓博 (48) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)				片山 訓博 (49) <平成31年4月> 博士(学術)			片山 訓博 (50) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)
専	准教技	地域課題研究 I 地域課題研究 E I I 地域課題研究 E I I I I I I I I I I I I I I I I I I	専	准教授	地域課務研究 I 地域課務研究 I 地域課務研究 I 理學企業核查表章 I 理學企業核查表章 I 理學企業核查表章 I 理學查達 基本 選集 工 理學 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工	專	准教授	地域採掘銀行工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工		専	准教授	地域課題研究 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	専	准教授	地域課題研究 [地域課題研究 [
		明崎 禎輝 (39) 〈平成31年4月〉 博士(学術)			明崎 禎輝 (39) (平成31年4月> 博士(学術)			明崎 禎輝 (40) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)				明崎 禎輝 (41) <平成31年4月> 博士 (学術)			明崎 禎輝 (42) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)
野	准教技	地域課題研究 II 哲学成法社主 于一 II (PBL) 理学成法规定来曾 I 理学成法规定来曾 II 理学成法规定来曾 II 理学成法规定来曾 II 理学成法规定来曾 II 理学成法规定来曾 II 理学成法规定来曾 II 理学成法规定来曾 II 理学成法规定来曾 II 理学成法规定来曾 II 理学成法规定	専	准教授	地域課題研究 II 期学後法決定署 I 期学後法決定署 I 期学後法決定署 I 期学後法決定署 I 期学後法決定案署 I 明学後法决定案署 I 明学後法决定 展 学療法 東 雷 ※	専	准教授	地域課題研究 I I (PDL) 理学療法 技 で ま ナ I (PDL) 理学療法 法 定 実 習 I 理学療法 過度 定 要 I 理学療法 過度 で 要 I		専	准教授	地域課題研究 I I (PDL) 理学療法地でミナー I (PDL) 理学療法地定実習 I 環学療法地定実習 I 環學療法地定実習 I 環本性・環本性・デモ I 理学療法性・デモ I 理学療法性疾来習 I 理学療法性疾来習 I 理学療法性疾来 I 原子療法	専	准教授	地域課題研究日 期学療法共生大一日 (PBL) 間学療法表示書 I 期学療法測定実書 I 制理療法測定実書 I 物理療法学表書 I 機能代徵及提問学療法表書 ※ 機能代徵及提問学療法表書 ※ 理学療法施工業書 I 理学療法施工業書 I 理学療法施工業書 I 同理学療法施工業書 I 同理学療法施工業書 I 同理学療法施工業書 I 同理学療法學漢書
		足立 — (50) <平成33年4月> 修士 (学術) ※			足立 — (50) <平成33年4月> 修士 (学術) ※			足立 — (50) <平成33年4月> 修士 (学術) ※				足立 — (50) <平成33年4月> 修士 (学術) ※			足立 — (51) <平成33年4月> 修士 (学術) ※
専	准教技	地域課題研究 I 作業能法性 2 于 I (精神・認知 精神等電光等型 I 精神等電作業能法等 I 助分支配作素能法等 I 助分支配作素能法演習 (作素能法能域表更 I 作素能法能域是 I 作素能法能域是 I 作素能法能域是 I 作素能法能域是 I 作素能法能域是 I 作素能法能域是 I 作素能法能域是 I 作素能法能域是 I 作素能法能域是 I 中素能法能域是 I 中素能法能域是 I 中素能法能域是 I 中素能法能域是 I 中素能法能域是 I 中素能法能域是 I 中素能法能域是 I 中素能法能域是 I 中	専	准教授	地域課題研究 I 作業療法 セミナー (精神・認知 情報・認知 情報・認知 情報・認知 情報・認知 情報・認知 精神・認知 精神・認知 情報・報告・表示 I 財 対 の 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代 表示 1 世 代	事等	准教授	地域課題法等 I (精神・認知 作業後、法等 I (精神・認知 報報 I (精神・認知 報報 I (精神・認知		専	准教授	地域課題法等 I (精神・認知 作業便法計算 産 法 実習 I (精神・認知 報報	専	准教授	地域課題研究 II (精神· 認知 作業能法社主 2十二 年業能法計算 安置 II (精神· 認知 對神師書作業療法來置 I 朝神師書作業療法來置 I 報行業療法施法來置 I 作業療法施法來受冒 I 作業療法施法與不受冒 I 作業療法施法與不受冒 I 作業療法施養學習 I 作業療法施養學習 I 作業療法施養學習 I 作業療法施養學習 I 作業療法施養學習 I 中業療法施養學習 I 中業療法施養學習 I 中業療法施養學習 I 中業療法施養學
		平松 真奈美 (56) 《平成31年4月》 修士(社会福祉学)			平松 真奈美 (56) 《平成31年4月》 修士(社会福祉学)			平松 真奈美 (57) (平成31年4月> 修士(社会福祉学)				平松 真奈美 (658) (平成31年4月> 修士(社会福祉学)			平松 真奈美 (59) 《平成31年4月》 修士 (社会福祉学)
専	講師	地域課題が定日 生活活動と健康 中華産法と管理学業 作業を法と管理学業 企業の 中華を開酵離析を 事業を 生活が支援 が 生活が支援 が はな支援 はな支援 はな支援 はな支援 はな支援 はな支援 はな支援 ははな支援 はな支援 ははな支援 はな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 ははな支援 はな支援 ははな支援 はな支援 はな支援 はな支援 はな支援 はな支援 はなな を が を を を が を を を を を を を を を を を を を	専	講師	地域系統 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	專	請節	地域活動を発展します。 地域活動を発展します。 地域活動を表現します。 地域活動を表現の表現である。 地域活動を表現の表現である。 地域活動を表現の表現である。 地域活動を表現である。 地域活動を表現である。 地域活動を表現である。 地域には、 地域には、 地域には、 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 を表現である。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をまれてる。 をま		專	講師	地域元素を 地域元素を 地域元素を 地域元素を は は は は は は は は は は は は は	専	講師	地域部の (1 年 日 年 日 年 日 年 日 年 日 年 日 日 年 日 日 日 日 日
		大塚 貴英 (51) 〈平成31年4月〉 修士(社会福祉学)			大塚 貴英 (51) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)			大塚 貴英 (52) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)				大塚 貴英 (53) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)			大塚 貴英 (54) 〈平成31年4月〉 修士 (社会福祉学)
專子	講師	地域課題研究 II 生活活動 L 物等 II 电 生活活動 L 物等 II 电 基础作業 学来曾 II (専	講師	地域接插长序 東京 生活性 中央 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	市	講師	地域課題的學院 生活作學學來習 中等 中等 中等 中等 中等 中等 中等 中等 中等 中等		専	講師	地域課題的學院 生活化學學學習 中等 中等 中等 中等 中等 中等 中等 中等 中等 中等	専	講師	地域提起任实 I 生活化学 I 是 I 是 I 是 I 是 I 是 I 是 I 是 I 是 I 是 I

【認可	丁時又	は届出時】			元年	度】		02年	度】		13年	度】		【令和	14年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	3	任・ 担・ 任 別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		篠田 かおり (43) <平成31年4月> 修士 (教育学)				篠田 かおり (43) <平成31年4月> 修士 (教育学)			篠田 かおり (44) <平成31年4月> 修士 (教育学)			集田 かおり (45) <平成31年4月> 修士 (教育学)				篠田 かおり (46) <平成31年4月> 修士 (教育学)
専	講師	地域課題研究 II 生活活使 / 中 / 中 / 中 / 中 / 中 / 中 / 中 / 中 / 中 /	**************************************	<u> </u>	講師	地域問題研究 I 生活溶胶 / 持衛 / 持衛 / 持衛 / 持衛 / 持衛 / 持衛 / 持衛 / 持	專	講師	地域課題研究II 生活活停凍	専	講師	地域課題時突 II 生活花作業學 E		専	講師	地域語音等 (日本)
		光内 製佐 (39) <平成31年4月> 修士(医科学)				光内 製佐 (39) <平成31年4月> 修士(医科学)			光内 製佐 (40) 〈平成31年4月〉 修士(医科学)			光内 製佐 (41) 〈平成31年4月〉 修士(医科学)				光内 製佐 (42) 〈平成31年4月〉 修士(医科学)
市平	講師	地域課題使用 超高語號等更多 並言語號等更多 並言語號等更多 並言語號等更多 並言語號等更多 並言語號等更多 並言語。 並言語號等更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 並言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言語語影響更多 正言言語語 正言言語語 正言言語語 正言言語語 正言言語語 正言言語語 正言言語語 正言言語語 正言言語語 正言言語語 正言言語語 正言言言語 正言言言語 正言言言語 正言言言語 正言言言語 正言言言語 正言言言言言言言言言言	N.	·	講師	地域経過機能止化ミナー I 言語接受療法セミナー I 言語接受療法・ビミナー I 言語接受療法・ビミナー I 言語接受療法・ビミナー I 表示 I 表示 I 表示 I 表示 I 表示 I 表示 I 表示 I 表	專	講師	地域課題研究上 2 ナー 1 宮語聴等 皮皮皮皮 2 ナー 1 宮語聴等 皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮皮	専	講師	地震語味を表生を表する。 (金 1 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年		専	講師	地域回程的会社セミナーI 富裕を受容法とミナーI 富裕を受容法とミナーI 大語・高文が信仰的音符を表音 大語・高文が信仰的音符を表音 分子を持ち、一直 高級を使用を指数を表音 会認は使用を表示。 電影を受容法とは称字を 電影を受容法とは称字を 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 電影を表示。 表示。 表示。 表示。 表示。 表示。 表示。 表示。 表示。 表示。
専	講師	高地 正音 (48) (平成31年4月> 修士 (工学)	4	ÿ.	講師	高地 正音 (48) <平成31年4月> 修士 (工学)	専	講師	高地 正音 (49) 〈平成31年4月〉 修士 (工学)	特	講師	高地 正音 (50) <平成31年4月> 修士 (工学)		専	講師	高地 正音 (51) <平成31年4月> 修士 (工学)
		情報処理演習 I 情報処理演習 I				情報処理演習 I 情報処理演習 I			情報処理演習 I 情報処理演習 I			情報処理演習 I 情報処理演習 I				情報処理演習 I 情報処理演習 I
		石元 美知子 (63) 〈平成31年4月〉 修士(文学)				石元 美知子 (63) 〈平成31年4月〉 修士 (文学)			石元 美知子 (64) 〈平成31年4月〉 修士(文学)			石元 美知子 (65) 〈平成31年4月〉 修士(文学)				石元 美知子 (66) 〈平成31年4月〉 修士(文学)
市で	助教	地域區抵抗學工工 作業能法與主义 作學的 作業的 作業的 作業的 作業的 作業的 作業的 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所	N.	9	助教	地域問題運動完富 作業務是運動完富 作業務是運動完富 作業務是運動完富 作業的應等學表決美習 (中央的應等學表決美習 (中央的應等學表別 (中央) (中級) (中級) (中級) (中級) (中級) (中級) (中級) (中級	專	助教	地域語話音音 I 作業確定	専	助教	地域認法是整字工 作業能法是整字工 作集成法主工 作作集成法主工 作作人 作成 作成 作成 作成 作成 作成 作成 作成 作成 的 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行		専	助教	地域器器運動學工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工
		有光 一樹 (44) 〈平成31年4月〉 修士(医科学)				有光 一樹 (44) 《平成31年4月》 修士(医科学)			有光 一樹 (45) <平成31年4月> 修士(医科学)			有光 一樹 (46) 〈平成31年4月〉 修士(医科学)				有光 一樹 (47) 〈平成31年4月〉 修士(医科学)
専	助教	地域器整理学文字 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	#5	9	助教	地域距離等於 I 建設	專	助教	地域語語等交互 運動地理等交響 運動地理等交響 有素能力速度等等 作業能力速度等等 作業能力速度等等 作業能力速度等等 作業能力速度等 作業能力速度 一度。 但果特達是大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	専	助教	地域語生物學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學		専	助教	地域和

【認可 専任・]時又	は届出時】	【令:	和元年		 【令和	12年			【令和	□3年		[·		14年	
来担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	幸担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	3	提担・ 提任 O別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任 の別	•	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	╽╽			担当授業科目名				担当授業科目名
		濱田 和範 (62) <平成31年4月> 各種学校卒			濱田 和範 (62) <平成31年4月> 各種学校卒			濱田 和範 (63) <平成31年4月> 各種学校卒				濱田 和範 (64) <平成31年4月> 各種学校卒				濱田 和範 (65) <平成31年4月> 各種学校卒
実専	准教授	地域課題或所 地域課題 地域 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	実専	准教授	地球球点大型 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	実専	准教授	地球连续 在		実専	准教授	地球 建建筑 医二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	実	專	准教授	地域課題新年 一 地域課題 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
		稲岡 忠勝 (48) 《平成31年4月》 社会学士			稲岡 忠勝 (48) 《平成31年4月》 社会学士			稲岡 忠勝 (49) <平成31年4月> 社会学士				稲岡 忠勝 (50) <平成31年4月> 社会学士				稲岡 忠勝 (51) <平成31年4月> 社会学士
実専	准教授	地域疑點學來目 運動生態學來更 理學來說法 理學來說法 理學來說法 理學來 理學來 理學來 理學來	実専	准教授	地域課題研究 II 理學年表 II (PBL) 理學集社 之 十一 II (PBL) 理學療法 之 十一 II (PBL) 理學療法 法 治定 美索留 II 理學學療法 法 治定 美索留 II 理學學療法 海洋美索留 II 理學學療法 海洋美洲 II 理學學療法 地名 沒 授 美 II 医 II	実専	准教授	地域課題等实工 運動生理字表之一 I (PBL) 理学施及上表了 I 理学施及上表了 理学施及上表了来看 I 理学等及法确定来来看 I 理學等發表 理学等發表 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等数据 工程等 工程等 工程等 工程等 工程等 工程等 工程等 工程等 工程等 工程等		実専	准教授	地域課題研究 I 理動作理法 2 十一 II (PBL) 理學學提出法 2 十一 II (PBL) 理學學提出法 2 決 実 管 II 理學學提出 2 上 第 管 II 理學學提出 2 上 第 管 II 理學學提出 2 上	実	專	准教授	地域課題研究 II 理學失謂 II (PBL) 超學學療法也 1-十一 II (PBL) 超學學療法之前失來留 II 理學學療法過失來留 II 理學學療法過失來留 II 理學學療法過減失藥 II II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) II (PBL) III
												岩崎 洋 (84) <令和3年9月> 経営学士				岩崎 洋 (65) <令和3年9月> 餐営学士
										実事	准备接	総敗鉄具学演習 理学療法施床実習 I 理学療法施床実習 I 理学療法施床実習 I 理学療法施床実習 I 理学療法施尿実習 I 和野療法・該具作業療法実習 ※ 理学療法地支援実習 I 応用理学療法学演習 I	*	•	准象授	能於華見学演習 I 理學或法國求表習 I 理學或法國求表習 I 理學或法國求決管 I 理學或法國求決管 I 可以 就具作享受法表習 ※ 學國非常學可必然決管 I 所用學學就決學 I 所用學學就決學 I
		宮崎 登美子 (45) 〈平成31年4月〉 学士(社会学)			宮崎 登美子 (45) 〈平成31年4月〉 学士(社会学)			宮崎 登美子 (46) 〈平成31年4月〉 学士(社会学)				宮崎 登美子 (47) <平成31年4月> 学士 (社会学)				宮崎 登美子 (48) 《平成31年4月》 学士(社会学)
実専	講師	地域課題研究 I 程学療法セミナー I (PDL) 理学療法セミナー I (PDL) 理学療法日 東子活高助学実習 協定理学療法技法清資 (PDL) 理学療法協定來習 I 理学療法協定來習 I 理学療法協定來要冒 I 理学療法地域來更買 I 理学療法地域來更買 I 理学療法地域來更要 G R 用理学療法学演習	実専	講師	地域課題研究 II (PRL) 理学療法法 セミナー I (PRL) 理学療法 民 生活活動学素 留 版字學法法演習 (PRL) 理学療法施定來習 I 理学療法施定來習 I 理学療法施定來習 I 理學療法施定來 II 理學療法施定來 II 理學療法 ERL	実専	講師	地域課題研究 II (PDL) 理学療法 レミナー I (PDL) 理学療法 日東子店活的学実習協床理学療法 技法演習 (PDL) 理学療法協床来習 II 理学療法協床来習 II 理学療法協床来習 II 理学療法協床来 国 II 理学療法 協定 東 国 II 理学療法 協議 東 国 II 原子療法 協議 東 国 II 原子療法 協議 東 国 II 原子療法 協議 東 国 II 原子療法 協議 東 国 II 原子療法 地域支援 東 II 原子療法 地域支援 東 II 原子療法 学演習		実専	講師	地域課題研究1 理学療法とミナー I (PBL) 理学療法をミナー I (PBL) 理学療法保護 I (PBL) 理学療法施度 X (PBL) 理学療法施度 X (PBL) 理学療法施度 X (PBL) 理学療法施度 X (PBL) 理学療法施域 X (PBL) 理学療法 X (PBL) 理学療法 X (PBL)	実	専	講師	地域課題研究 I I (PRL) 理学療法社 2 于 I (PRL) 理学療法 E 生活活動学 英習 國來理学療法技法演習 [PRL) 理学療法施探 天習 I 理學療法施探 天習 I 理學療法施來 天涯 東習 I 理學療法 地域 天涯 医肾 I 原理学療法 地域 天涯 東習 I 原理学療法 地域 天涯 東習 I 原理学療法 地域 天涯 東習 I 区 用 理学療法 地域 天涯 東習 I 区 用 理学療法 中 I 下 I 下 I 下 I 下 I 下 I 下 I 下 I 下 I 下 I
実専	助教	西野 曼 (41) 《平成33年4月》 - 専修学校卒 作業療法臨床東習 I 作業療法臨床東署 I	実専	助教	西野 愛 (41) 《平成33年4月》 - 専修学校卒 作業療法臨床東習 I 作業療法臨床東習 I	実専	助教	西野 愛 (41) 《平成33年4月> 修士 (医食福祉教育・管理学) 作業療法臨床楽習 I 作業療法臨床楽習 I		実専	助教	西野 愛 (41) (平成33年4月> 停士 (医余福祉豪育·管理學) 作業療法臨床來習 I 作業療法臨床來習 I	実	専	助教	西野 愛 (42) 《平成33年4月》 參士 (医療福祉条育・管理学) 作業療法施床実習 I 作業療法施床実習 I
		作業療法施政英智並 作業療法地域支援実習 西野 愛 (40) <平成32年4月>			作業療法施床業習面 作業療法地域支援実習 西野 愛 (40) <平成32年4月>			作業療法地域主要習面 作業療法地域支援美習 西野 受 (40) 〈平成32年4月〉 修士(原療指按數章・管理学)				作業療法地域支援実習 作業療法地域支援実習				作業療法地域支援実習 作業療法地域支援実習
兼任	講師	専修学校卒	兼任	講師	専修学校卒 精神医学	兼任	講師	修士 (医療福祉教育·管理学) 精神医学								
実専	助教	機木 理恵 (41) <平成33年4月> 専修学校卒	実専	助教	模木 理恵 (41) <平成33年4月> 修士(医療福祉教育・管理学)	実専	助教	模木 理恵 (41) ⟨平成33年4月⟩ 修士(医療福祉教育・管理学)		実専	助教	櫻木 理恵 (41) <平成33年4月> 修士(医療福祉教育・管理学)	実	*	助教	 楔木 理恵 (42) <平成33年4月> 修士(医療福祉教育・管理学)
**	19/19X	言語聴覚療法臨床実習 I 言語聴覚療法臨床実習 I 言語聴覚療法臨床実習 I 言語聴覚療法端床実習 言語聴覚療法地域支援実習	**	19/19X	言語聴覚療法臨床実習 I 言語聴覚療法臨床実習 I 言語聴覚療法臨床実習 II 言語聴覚療法地域支援実習	**	10/190	言語聴覚療法臨床東習 I 言語聴覚療法臨床東習 I 言語聴覚療法臨床東習皿 言語聴覚療法地域支援実習		**	19/19X	言語聴覚療法臨床東習 I 言語聴覚療法臨床東習 I 言語聴覚療法臨床東習 I 言語聴覚療法地域支援実習	*	7	19/J-9X	富語聴覚療法臨床実習 I 言語聴覚療法臨床実習 I 言語聴覚療法臨床実習 II 言語聴覚療法地域支援実習
		田頭 勝之 (59) 〈平成32年4月〉 博士(医療福祉学)			田頭 勝之 (58) 〈平成31年4月〉 博士(医療福祉学)			田頭 勝之 (59) 〈平成31年4月〉 博士(医療福祉学)				田頭 勝之 (60) 〈平成 31 年4月〉 博士 (医療福祉学)				田頭 勝之 (61) 《平成31年4月》 博士 (医療福祉学)
実 (研)	教授	地域課題/管理学 福学教法學 在 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	実 (研)	教授	地球探送研究 I 理学療法美容 智子療法美容 智子療法美容 智子療法美容 智子療法 医子宫 I 理学療法 医克里克 I 理學療法 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤	実 (研)	教授	地域課題等可 理学在決策 程学在決策 生活環境學療法來實 生活環境學療法來實 理学療法協議床來表習 理学療法協議床來表習 理學療法協議床來表 理學等 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	3	(研)	教授	地球球上等 理学在法文管 理学在法文管 等理学生产。 生活球球球球球球球球 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作等。 工作。 工作。 工作。 工作。 工作。 工作。 工作。 工作	* (()	教授	地球探热等空 工程学 保持 化
		重島 晃史 (42) <平成31年4月> 博士(学術)			重島 晃史 (42) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)			重島 晃史 (43) 《平成31年4月》 博士 (学術)				重島 晃史 (44) <平成31年4月> 博士 (学術)				重島 晃史 (45) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)
実 (研)	准教授	地域課題經研究 I 地域課題經研究 I 地域課題學	実 (研)	准教授	地域器顯靜來 I 地域器顯靜來 I 地域器顯靜來 I 基準時間子 I 基準時間子 學是這一個一個一個一個一個 學學是這一個一個 理學學是這一個 理學學是這一個 理學學是這一個 理學學是這一個 理學學是這一個 更一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一	実 (研)	准教授	地域經過報等克 I 基础	3	♥ (研)	准教授	地域課題研究 I 地域課題研究 I 地域課題研究 I 地域课题研究 I 地域课题物学 = 習	実()	哥)	准教授	地域發展研究 I 地域發展研究 I 地域發展研究 I 地域發展研究 I 基準執機學亦是 經過數學亦是 學是這學學是法學學是 E 是 E 是 E 是 E 是 E 是 E 是 E 是 E E E E

【認可	丁時又	は届出時】	_	【令和	1元年	度】	【令和	02年	度】		【令和	3年	度】	[-	令和	14年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	 専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	任・ 担・ 任 別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	:	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名	L			担当授業科目名				担当授業科目名
		辻 美和 (43) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)				辻 美和 (43) <平成31年4月> 博士 (学術)			辻 美和 (44) 《平成31年4月》 博士 (学術)				辻 美和 (45) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)				辻 美和 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)
実 (研)	准教授	地域課題研究 II 作業確決 12 十一 作業確決 12 十一 作業確決 12 十一 作業確決 12 元 1	***	実 (研)	准教授	地域器超符页 I 作業療法セミナー 作業療法所需習 I (精神・認知 系) 基礎件業療法治療学 I (精神・認 知為) 等等等。 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析等 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析的 基础分析 基础分析的 基础分析的 基础分析 基础分析 基础分析 基础分析 基础分析 基础分析 基础分析 基础分析	実 (研)	准教授	地域課題研究 II 作業確定社 15十一 作業確定社 15十一 作業確定性 25十一 作業確定性 張寶 II (精神 · 認知 系) 前導性 26 年 26 年 26 年 26 年 26 年 26 年 26 年 26	*	: (等) ;	准教授	地域課題研究 II 作業確決セミナー 「作業確決性表音」 (精神・認知 系) 機構神能等 (精神・認知 系) (精神・認知 系) (精神・認知 系) (精神・認知 系) (特神・認知 系) (特神・認知 系) (特神・認知 系) (特神・認知 表) (特神・認知 表) (特神・意识 表字 20 国 本 (本	実((准教授	地域距離研究 I 作業所法 P = 1 作業所法 P = 2 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 所 = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n = 1 n =
		清岡 学 (58) 〈平成31年4月〉 修士 (心身健康科学)				清岡 学 (58) <平成31年4月> 修士(心身健康科学)			清岡 学 (59) 〈平成31年4月〉 修士(心身健康科学)				清岡 学 (60) 〈平成31年4月〉 修士(心身健康科学)				清岡 学 (61) <平成31年4月> 修士 (心身健康科学)
実 (研)	講師	地域課題研究 I 理学療法報論 漢音 安徽 经 I 理学療法報論 漢音 老年期 經濟學學療法 医 I 理学療法 医埃莱普 I 理学療法 医埃莱普 I 理学療法 医埃莱子 医 I 理学療法 医埃莱子 医 I 用理学療法 医埃莱子 医 I 理学療法 医埃莱子 医 I 现得产 療法 电点		実 (研)	講師	地域課班銀研究 II 理学晚法表演習 理学晚法表演習 理学晚法表演習 理学晚法表看 理学療法施底未完習 II 理学療法施底未完習 II 理學療法施底未完習 II 理學療法施成表達習 II 理學療法施地東支漢, 富 C 現學傳達學療法學習 I	実 (研)	講師	地域課題研究 II 理学療法機論演習 老年期經算學療法委習 老年期經濟理学療法委習 理学療法協床來要冒 I 理学療法協床來要冒 I 理学療法協成來來習 II 理学療法協域支援探索 II 用理學療法學習 I 理學療法學習 I 環境學療法學習 I 環境學習	×	(朝)	講師	地域課題研究 II 理学能法報 海軍 电影響	実(研)	講師	地域課題研究 I 理学療法無差演習 運等應法無差演習 運等應法無差演習 老年期經常理学療法 美習 理学療法施 底 未完置 I 理学療法施 底 東美習 I 理學療法施 底 東美習 I 理學療法 版 电 東支援 漢 雷 C 用理學療法 医 中東 译 表 医 正 用理學療法 医 中東 不 医 正 可 理 子 原 法 医 中
		吉村 知佐子 (40) <平成31年4月> 修士(医科学)				吉村 知佐子 (41) 《平成31年4月》 修士(医科学)			吉村 知佐子 (42) <平成31年4月> 修士(医科学)				吉村 知佐子 (43) <平成31年4月> 修士(医科学)				吉村 知佐子 (44) 〈平成31年4月〉 修士 (医科学)
実(研)	講師	地域課題保存として、ナーロコ語等を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	1	実 (研)	講師	地域語彙が発生しています。 国語総数を経済を持たしています。 国語総数を経済を持たしています。 国語総数を経済を持た。 国言語と対象をは存在を表示。 国言語と対象をはない。 国語・記述を対象をはない。 国語・記述を対象をはない。 国語・記述を対象をはない。 国語・記述を対象をはない。 国語・記述を対象をはない。 国語・記述を対象をはない。 国語・記述を対象をはない。 国語・記述を対象をはない。 国語・記述を対象をはない。 国語・記述を対象をはない。 国語・記述を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	実 (研)	講師	地域課題研究エ 言語物理機法セミナー 言語物理機法セミナー 言語物理機法セミナー 言語物理機法・セミナー 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理機能 言語物理 言語物理機能	*	(朝)	講師	地域課題研究エミナーロ言語地域課題研究エミナーロ言語地域連絡地域課題ではまたといた一口言語地域地域を開始を開始を表現を開始していません。 「一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、	実(研)	講師	地方国際の大きな大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大
		笹村 聡 (39) 〈平成31年4月〉 修士(社会福祉学)				笹村 歌 (39) <平成31年4月> 修士 (社会福祉学)			世村 彫 (40) 〈平成31年4月> 修士 (社会福祉学)				世村 聡 (41) 〈平成31年4月> 修士 (社会福祉学)				世村 戦 (42) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)
実 (研)	助教	作業療法セミナー 作業療法接続実施 作業療法技法決害 I (身体系) 協議疾作業療法技法決害 I (PNL) 情業療法機能失管 I (PNL) 作業療法機能失管 I 1 作業療法機能失業 I I 1 作業療法機能失業 I I 1 作業療法機能失業 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		実 (研)	助教	作業療法セミナー 作業療法評価実習 I (身体系) 簡単原務法技法実習 I (PPL) 簡単原本機法技法 2 I (PPL) 作業療法施法実習 I 作業療法施法 2 E I 作業療法施設 2 E I 作業療法施設 2 E I 作業療法地質 2 E I 作業療法地質 2 E I	実 (研)	助教	作業療法セミナー 作業療法師海家習 (身体系) 協議体務機法技法法案習 (PRL) 情報機法技法法案習 (PRL) 作業療法協議体 等額 情報機能 情報機能 情報機能 所 等	*	: (朝)	助教	作業療法セミナー 作業療法師無実習 [角体系) 協議集務法技法実習 [内性) 協議集務法技法支資 [(P性) 作業療法施設実習 I 作業療法施設実習 I 作業療法施設実習 I 作業療法施設実習 I 作業療法施設支援 資 区 尼 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	*(研)	助教	作業療法セミナー 作業療法評価実習 I (身体系) 指導療法課法要習 I (身体系) 指導療法提法支容 I (POL) 情業療法施設支容 II (POL) 作業療法施設支容 II 作業療法施設支容 II 作業療法施設支容 II 作業療法施設支 資富 II 作業療法學支濟 II 尼斯·學療法學支濟 II 尼斯·學療法學支濟 II 尼斯·學療法學支濟 II 尼斯·學療法學
		柏 智之 (40) <平成31年4月> 修士 (学術) ※				柏 智之 (40) <平成31年4月> 修士 (学術) ※			柏 智之 (41) <平成31年4月> 修士 (学術) ※				柏 智之 (42) <平成31年4月> 修士 (学術) ※				柏 智之 (43) <平成31年4月> 修士 (学術) ※
実 (研)	助教	地域課題研究 I 海宇療法企業 I 理学療法企 5 十 一 I 阿里尔康法 6 5 十 三 I 阿里尔康法 6 5 7 三 I 阿里尔康法 6 5 7 三 I 阿里尔康法 6 5 7 三 I 阿里尔康法 6 7 三 I 阿里尔康法 6 7 三 I 阿里尔康法 6 7 三 I 阿里尔康法 6 7 三 I 阿里尔康法 6 7 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I 阿里尔康法 6 1 三 I I I I I I I I I I I I I I I I I I		実 (研)	助教	地域課話運動學完 I 理学療法也 5 十二 I (PBL) 理学療法也 5 十二 I (PBL) 理学療法检查 美麗 理学療法检查 美麗 理学療法检查 5 十三 I 理学療法检查 5 十三 I 理学療法检查 5 1 理学療法检查 5 1 理學療法检查 5 1 理學療法检查 5 1 理學療法检查 5 2 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 正 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 证 I 正	実 (研)	助教	地域課題研究I 理学療法達動学演習 理学療法性ます一 I (PBL) 理学療法性素美質I 理学療法性素美質I 理学療法機業美質I 理学療法機体素美質I 理学療法機体素質I 理学療法機体未養習I 理学療法機体未養習I 理学療法機体表質I 理學療法機体表質I 用理學療法地域表質I 石用理學療法學表質I	*	(研)	助教	地域課題研究 I 海宇療法走廊時子濟習 阿甲季療法生まナー I 阿里季療法生まナー I 阿里季療法生まナー I 阿里季療法 医美霉目 理学療法 接触 英语 I 阿里季療法 地名美国 I 阿里季療法 地名英国 I 阿里季療法 地名英国 I 阿里季療法 地名英国 I 阿里季療法 地名英国 I 阿里季康 法 经 英国 I 阿里季康 法 经 I 阿里季康 法 经 I 阿里季康 I I 阿里季康 I I 阿里季康 I I 阿里季康 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	実(ज)	助教	地域課題研究工 理学療法也ます。 理学療法也ます。 理学療法也ます。 理学療法检查表表 理学療法检查表表 理学療法检查表 理学療法检查表 理学療法检查表 理学療法检查表 理学療法检查 學療法检查 理学療法检查 理學療法检查 理學療法检查 展習 理學療法检查 展習 理學療法检查 展習 原理學療法學 展習 原理學療法學 展習 原理學療法學 展習 原理學療法學 展習
兼任	講師	中野 良恭 (46) 《甲茲31年4月》 《甲茲31年4月》 修士 (人間環境学・学校教育学) 心理学 人間発達・学校教育学 人間発達学 美達心理学 美達心理学 心理学 大連次理学		兼任	講師	中野 良巷 (46) 《甲戌31年4月》 移士 (人間環境学・学校教育学) 心理学 人間発達学 協議・心理学 発達心理学 の理解定法を習	兼任	講師	中野 良哉 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)	3	兼任	講師	中野 良裁 (48) 《甲茲1年4月》 《甲茲1年4月》 修士 (人間環境学・学校教育学) 心理学 人間発達学 美達心理学 光達の選挙	*	任	講師	中野 良哉 (49) 《平成31年4月》 《平成31年4月》 修士 (人間環境学・学校教育学) 心理学 人間発達学 能承心理学 免達心理学 企理解注及安置
兼任	講師	宮地 由美子 (66) 〈平成31年4月〉 社会学士		兼任	講師	宮地 由美子 (66) 〈平成31年4月〉 社会学士	兼任	講師	宮地 由美子 (67) 〈平成31年4月〉 社会学士	3	兼任	講師	宮地 由美子 (68) 〈平成31年4月〉 社会学士				

	可時又	は届出時】	【 令: 専任・	和元年	度】	【 令 表	和2年	度】	[1	令和3年	度】	【 令 和	114年	度】
専 様 任 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専仕 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
												兼任	鉄師	中野 良像 (49) 《令和4年4月》 修士 (人間環境学・学校教育学)
兼任	講師	松原 和廣 (72) <平成31年4月> 法学士												心理学
		教育学	兼任	請師	会員 博志 (62) <平成31年4月> 文学士	兼任	計師	谷岡 博志 (83) 〈平成31年4月〉 文学士	*	注 跳師	参問 博志 (84) <平成31年4月> 文学士	兼任	納師	谷間 博志 (65) 〈平成31年4月〉 文学士
兼任	講師	五里 恵美子 (53) (平成31年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	本育学 王里 恵美子 (53) < 平成31年4月 > 博士 (社会学) 社会学	兼任	講師	★育学 五里 恵美子 (54) <平成31年4月> 博士 (社会学) 社会学	兼	圧 講師	★育学 五里 恵美子 (55) 〈平成31年月> 博士 (社会学) 社会学	兼任	講師	★育学 五里 恵美子 (56) < 平成31年4月 > 博士 (社会学) 社会学
兼任	講師	世 正幸 (66) 《平成31年4月》 農学士 生物学 物理学	兼任	講師	世	兼任	講師	間林 正幸 (68) 《平成31年4月》 農学士 生物学 物理学	兼	圧 講師	世 正幸 (69) 《平成31年4月》 農学士 生物学 物理学	兼任	講師	Tax+
兼任	講師	神家 一成 (66) <平成31年4月> 体育学士 健康とスポーツ	兼任	講師	神家 一成 (66) (7成31年4月) (4高学士	兼任	講師	神家 一成 (67) <平成31年4月> 体育学士 健康とスポーツ	兼	圧 講師	神家 一成 (68) <平成31年4月> 体育学士 健康とスポーツ	兼任	講師	神家 一成 (69) <平成31年4月> 体育学士 健康とスポーツ
兼任	講師	矢野 宏光 (51) <平成31年4月> 博士 (心理学) 健康とスポーツ	兼任	講師	矢野 宏光 (51) <平成31年4月> 博士(心理学) 健康とスポーツ	兼任	講師	矢野 宏光 (52) <平成31年4月> 博士 (心理学) 健康とスポーツ	兼	圧 講師	矢野 宏光 (53) <平成31年4月> 博士(心理学) 健康とスポーツ	兼任	講師	矢野 宏光 (54) 〈平成31年4月〉 博士(心理学) 健康とスポーツ
兼任	講師	スポーツ心理学 ショーン・バーゴイン Sean Burgoine (51) <平成31年4月> 修士(書語学)	兼任	講師	スポーツ心理学 ショーン・バーゴイン Sean Burgoine (51) 〈平成31年4月〉 修士(宮語学) 英会話	兼任	講師	スポーツ心理学 ショーン・バーゴイン Sean Burgoine (52) 〈平成31年4月〉 修士(音語学)	兼任	圧 講師	スポーツ心理学 ショーン・パーゴイン Sean Burgo ine (53) 〈平原31年4月〉 修士(宮語学) 英会話	兼任	講師	スポーツ心理学 ショーン・パーゴイン Sean Burgoine (54) <平成31年4月> 修士 (言語学) 英会話
兼任	講師	前田 正也 (61) (平成31年4月> 法学士	兼任	講師	前田 正也 (61) 《平成31年4月》 法学士	兼任	講師	前田 正也 (62) (70) (62) (62) (70) (62) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70	兼	圧 講師	前田 正也 (63) 《平成31年4月》 法学士	兼任	講師	前田 正也 (64) 《平成31年4月》 法学士
兼任	講師	田口 尚弘 (66) <平成31年4月> 理学博士 解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 I (均議・脈管系)	兼任	講師	田口 尚弘 (66) <平成31年4月> 理学博士 解剖学 I (投論・神経系) 解剖学 I (内臓・脈管系)	兼任	講師	田口 尚弘 (67) <平成31年4月> 理学博士 解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 I (内臓・脈管系)	兼	圧 講師	田口 尚弘 (68) <平成31年4月> 理学博士 解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 I (内論・脈管系)	兼任	講師	田口 尚弘 (69) <平成31年4月> 理学博士 解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 I (内臓・脈管系)
兼任	講師	解剖学皿 (青格系) 解剖学N (筋系) 大追 洋治 (46) <平成31年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	解剖学四 (骨格系) 解剖学IV (筋系) 大迫 洋治 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (獣医学)	兼任	講師	解剖学Ⅲ (骨格系) 解剖学Ⅳ (筋系) 大迫 洋治 (47) 《平成31年4月》 博士(數医学) 生理学Ⅰ (動物性機能)	兼	圧 講師	解剖学Ⅲ (骨格系) 解剖学Ⅳ (筋系) 大迫 洋治 (48) (平服31年4月> 博士 (徹底学) 生理学Ⅰ (敵物性機能)	兼任	講師	解剖学Ⅲ (骨格系) 解剖学Ⅳ (筋系) 大迫 洋治 (49) 〈平成31年4月〉 博士 (數医学) 生理学Ⅰ (動物性機能)
兼任	講師	生理学 I (動物性機能)	兼任	講師	生理学 I (動物性機能)	兼任	講師	本価子1 (副物)は(MR) 様 秀人 (69) (年成31年4月 > 保健学博士、医学博士 展学博士 生理学 I (動物性機能)	兼	圧 講師	本理子 (取物に依頼) 株 秀人 (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70)	兼任	講師	- 年年 1 (取)が11(00 RD) - 校
兼任	講師	生理学 I (植物性機能) 奥谷 文乃 (59) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)	兼任	講師	生理学 I (植物性機能)	兼任	講師	生理学 I (植物性機能) 集理学 I (植物性機能) 東谷 文乃 (60) 《平成31年4月> 博士 (医学)	兼	圧 講師	生理学I(植物性機能) 奥谷 文乃 (61) <平成31年4月> (44+ (医学)	兼任	講師	生理学 I (植物性機能)
		生理学 I (動物性機能) 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※			生理学 I (動物性機能) 耳鼻咽喉科学 音声·言語系医学※			生理学 I (動物性機能) 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※			生理学 I (動物性機能) 耳鼻咽喉科学 音声·言語系医学※			生理学 I (動物性機能) 耳鼻咽喉科学 音声·言語系医学※
兼任	講師	矢吹 了一 (70) <平成31年4月> 社会学士 社会福祉概論	兼任	講師	矢吹 了一 (71) <平成31年4月> 社会学士 社会福祉概論	兼任	講師	矢吹 了一 (72) <平成31年4月> 社会学士 社会搭社概論	兼	圧 講師	矢吹 了一 (73) <平成31年4月> 社会学士 社会福祉概論	兼任	講師	矢吹 了一 (7/4) <平成31年4月> 社会学士 社会福祉概論
兼任	講師	字都宮 千穂 (46) 〈平成31年4月〉 博士(経済学) 土佐地域資源論	兼任	講師	宇都宮 千穂 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (経済学) 土佐地域資源論	兼任	講師	宇都宮 千穂 (47) (平成31年4月> 博士(経済学) 土佐地域資源論	兼	圧 講師	宇都宮 千穂 (48) 〈平成31年4月〉 博士 (経済学) 土佐地域資源論	兼任	講師	宇都宮 千穂 (49) 〈平成31年4月〉 博士(経済学) 土佐地域資源論
兼任	講師	江渕 W (47) <平成31年4月> 学士(社会学) 地域福祉活動論	兼任	講師	江渕 聡 (47) <平成31年4月> 学士(社会学) 地域福祉活動論	兼任	講師	江渕 W (48) 《平成31年4月》 学士(社会学) 地域福祉活動論	兼	圧 講師	江渕 聡 (49) 《平成31年4月》 学士(社会学) 地域福祉活動論	兼任	講師	江渕 聡 (50) 《平成31年4月》 学士 (社会学) 地域福祉活動論
兼任	講師	村岡 正浩 (42) <平成31年4月> 専修学校卒 マンガ概論	兼任	講師	村岡 正浩 (43) (平成31年4月) 専修学校卒	兼任	講師	村岡 正浩 (44) (平成31年4月> 専修学校卒 マンガ概論	兼	圧 講師	村岡 正浩 (45) (平成31年4月> 専修学校卒 マンガ概論	兼任	講師	村岡 正浩 (46) 〈平成31年4月〉 専修学校卒

【認可]時又	は届出時】	【令	和元年	度】	【令	和2年	度】	【令	和3年	度】	【令和	04年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	関 和也 (40) <平成31年4月> 専修学校卒	兼任	講師	関 和也 (40) 《平成31年4月》 専修学校卒	兼任	講師	関 和也 (41) (平成31年4月> 専修学校卒	兼任	講師	导修学校华	兼任	講師	関 和也 (43) <平成31年4月> 専修学校卒
		マンガ基礎実習			マンガ基礎実習			マンガ基礎実習		<u> </u>	マンガ基礎実習			マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉 史高 (666) 《平成31年9月》 工学士 数学	兼任	講師	三吉 史高 (66) 《平成31年9月》 工学士 数学	兼任	講師	三吉 史高 (67) 〈平成31年9月〉 工学士 数学	兼任	講師	三吉 史高 (68) (平成31年9月> 工学士 数学	兼任	講師	三吉 史高 (69) 〈平成31年9月〉 工学士
兼任	講師	藤原 憲一郎 (69) 《平成31年9月》 博士 (工学)	兼任	講師	藤原 憲一郎 (69) 《平成31年9月》 博士(工学)	兼任	講師	藤原 憲一郎 (70) <平成31年9月> 博士 (工学)	兼任	講師	藤原 憲一郎 (71)	兼任	講師	藤原 憲一郎 (72) (平成31年9月> 博士(工学)
		統計学			統計学			統計学			統計学			統計学
兼任	講師	甲藤 彰男 (69) <平成31年9月> 体育学士	兼任	講師	甲藤 彰男 (69) <平成31年9月> 体育学士	兼任	講師	甲藤 彰男 (70) <平成31年9月> 体育学士	兼任	講師	甲藤 彰男 (71) <平成31年9月> 体育学士	兼任	講師	甲藤 彰男 (72) <平成31年9月> 体育学士
		健康とスポーツ			健康とスポーツ			健康とスポーツ			健康とスポーツ			健康とスポーツ
兼任	講師	大塚 智子 (46) 《平成31年9月》 博士(獣医学)	兼任	講師	大塚 智子 (46) 《平成31年9月》 博士(獣医学)	兼任	講師	大塚 智子 (47) 〈平成31年9月〉 博士(獣医学)	兼任	講師	博士(獣医学)	兼任	講師	大塚 智子 (49) 〈平成31年9月〉 博士(獣医学)
		生理学 I (植物性機能) 田中 健二朗			生理学Ⅱ (植物性機能) 田中 健二朗	l	-	生理学I (植物性機能) 田中 健二朗	l	+-	生理学II (植物性機能) 田中 健二朗	\vdash		生理学I (植物性機能) 田中 健二朗
兼任	講師	(37) <平成31年9月> 博士(医学)	兼任	講師	(37) <平成31年9月> 博士(医学)	兼任	講師	(38) <平成31年9月> 博士(医学)	兼任	講師	田中 唯一明 (39) 《平成31年9月》 博士 (医学) 生理学Ⅱ (植物性機能)	兼任	講師	(40) <平成31年9月> 博士(医学)
		生理学Ⅱ (植物性機能) 吾妻 差子	-		生理学I (植物性機能) 吾妻 差子			生理学Ⅱ (植物性機能) 吾妻 差子	l		生理子 I (植物性候能) 吾妻 美子			生理学Ⅱ (植物性機能) 吾妻 差子
兼任	講師	吾妻 美子 (70) <平成31年9月> 医学博士	兼任	講師	吾妻 美子 (70) 〈平成31年9月〉 医学博士	兼任	講師	吾妻 美子 (71) <平成31年9月> 医学博士	兼任	講師	(72) <平成31年9月> 医学博士	兼任	講師	吾妻 美子 (73) <平成31年9月> 医学博士
		医学概論 病理学			医学根論 病理学			医学概論 病理学			医学板論 病理学			医学概論 病理学
		池 聡 (31) 《平成31年9月》 学士(人間科学)			池 聡 (31) 〈平成31年9月〉 学士(人間科学)			池 聡 (32) <平成31年9月> 修士(医科学)			池 聡 (33) 〈平成31年9月〉 修士 (医科学)			池 聡 (34) 〈平成31年9月〉 修士(医科学)
兼任	講師	失語在学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 免声発語・端下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習 II	兼任	講師	失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習 I	兼任	講師	失語症学 高次脳機能障害学※ 失語。高次脳機能障害検査実習 発声発語。嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習 I	兼任	講師	失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 旁声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習 I	兼任	講師	失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	中野 良治 (43) 《平成31年9月》 修士 (農学)	兼任	講師	中野 良治 (43) 《平成31年9月》 修士 (農学)	兼任	講師	中野 良治 (44) 〈平成31年9月〉 修士 (農学)	兼任	講師	中野 良治 (45) <平成31年9月> 修士 (農学)	兼任	講師	中野 良治 (46) <平成31年9月> 修士(農学)
		社会的企業論※	-		社会的企業論※	-		社会的企業論※	l	-	社会的企業論※			社会的企業論※
兼任	講師	田上 純一 (35) 《平成31年9月》 学士 (作業療法学) 社会的企業論※	兼任	講師	田上 純一 (35) < 平成31年9月> 学士 (作業療法学) 社会的企業論※	兼任	講師	田上 純一 (36) <平成31年9月> 学士(作業療法学) 社会的企業論※	兼任	講師	田上 純一 (37) <平成31年9月> 学士(作業療法学) 社会的企業論※	兼任	講師	田上 純一 (38) (平成31年9月> 学士(作業療法学) 社会的企業論※
兼任	講師	松井 大洲 (72) 《平成31年9月》 短期大学卒	兼任	講師	私井 大洲 (72) (平成31年9月> 短期大学卒	兼任	講師	松井 大洲 (73) 《平成31年9月》 短期大学卒	兼任	講師	松井 大洲 (74)	兼任	講師	松井 大洲 (75) (平成31年9月> 短期大学卒
		活字デザイン論			活字デザイン論		1	活字デザイン論	l I	1	活字デザイン論			活字デザイン論
兼任	講師	鈴木 琴栄 (42) <平成32年4月> 修士(音楽療法)	兼任	講師	鈴木 琴栄 (42) 〈平成32年4月〉 修士(音楽療法)	兼任	講師	鈴木 琴栄 (42) <平成32年4月> 修士(音楽療法)	兼任	講師	鈴木 琴栄 (43) <平成32年4月> 修士(音楽療法)			
		医学英語	1		医学英語		 	医学英語	l I	1-	医学英語	-		
												兼任	計算	上羽 由書 (46) <令和4年月> 博士(人間健康科学) 医学英語
兼任	講師	倉田 浩充 (61) 〈平成32年4月〉 医学博士	兼任	講師	倉田 浩充 (61) <平成32年4月> 医学博士 臨床神経学	兼任	講師	倉田 浩充 (61) <平成32年4月> 医学博士	兼任	講師	倉田 浩充 (62) 〈平成32年4月〉 医学博士 臨床神経学	兼任	講師	倉田 浩充 (63) <平成32年4月> 医学博士 臨床神経学
兼任	講師	脳床神経学 田邊 裕久 (62) 〈平成32年9月〉 医学士	兼任	講師	照床神経学 田邊 裕久 (62) 〈平成32年9月〉 医学士			協体押程于			100环伴粒于			始 体件校子
		路床神経学			路床神経学			小笠原 道 (68) <令和2年4月>						
						兼任	請師	<令和2年4月> 医学士 臨床神経学						
				-		. —			. —	-				1

【認可	可時又	は届出時】	【令	和元年	度】	【令和	112年	度】	【令	和3年	度】	【令和	04年	
p性· 模担· 模任 O別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専担 兼任 の別	職名	氏 名 (年齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	等担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) 《就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専仕・ 兼担・ 兼の別	職名	氏 名 (年 齡) 《就任 (予定) 年月〉 保有学位等 担当授業科目名	等担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
						兼任	鉄師	金子 恵子 (41) (令和2年4月> 医学士 臨床神経学	兼任	186	金子 惠子 (42) <令和2年4月> 医学士	兼任	計算	金子 京子 (43) 《令和2年4月》 医学士 臨床神経学
兼任	講師	加賀野井 聖二 (52) 〈平成32年4月〉 修士(学術) 精神医学	兼任	講師	加賀野井 聖二 (52) 〈平成32年4月〉 修士 (学術) 精神医学	兼任	講師	加賀野井 聖二 (52) (52) (70) (52) (70) (52) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70	兼任	講師	臨床神極学 加賀野井 聖二 (533) 《平成32年4月》 修士 (学術) 精神医学	兼任	講師	加賀野井 聖二 〈平成32年4月〉 〈平成32年4月〉 修士 (学術)
兼任	講師	竹田 伸也 (46) <平成32年4月> 博士(医学) 精神医学	兼任	講師	竹田 伸也 (46) 〈平成32年4月〉 博士(医学) 精神医学	兼任	講師	竹田 伸也 (46) <平成32年4月> 博士 (医学) 精神医学	兼任	講師	竹田 伸也 (47) <平成32年4月> 博士(医学) 精神医学	兼任	講師	竹田 伸也 (48) <平成32年4月> 博士(医学) 精神医学
									兼任	* 跳師	大原 仲聯 (31) 〈中和3年4月〉 学士(医学) 精神医学※	兼任	鉄師	大原 仲職 (32) <令和3年4月> 学士 (医学) 精神医学※
									兼任	1804	上村 直人 (52) (令和3年4月) 医学博士 精神医学※	兼任	計師	上村 宣人 (53) (令和3年4月) 医学博士
									兼任	動師	前限 陽子 (48) (今和3年4月> 学士 (医学) 精神医学※	兼任	計師	
									兼任	1807	大石 りさ (37) (令和3年4月> 学士(医学) 精神医学※	兼任	計師	大石 りさ (38) <令和3年4月> 学士(医学) 精神医学※
									兼任	* **	長野 被索 (50) <令和3年4月> 医学士 精神医学※	兼任	跳師	長野 飯宏 (51) <令和3年4月> 医学士 精神医学※
兼任	講師	宮本 寛 (57) 〈平成32年4月〉 医学士 リハビリテーション医学	兼任	講師	宮本 寛 (57) <平成32年4月> 医学士 リハビリテーション医学	兼任	講師	宮本 寛 (57) 〈平成32年4月〉 医学士 リハビリテーション医学	兼任	講師	宮本 寛 (58) 〈平成32年4月〉 医学士 リハビリテーション医学	兼任	講師	宮本 寛 (59) <平成32年4月> 医学士 リハビリテーション医学
兼任	講師	竹村 朝海 (45) 〈平成32年4月〉 修士(教育学) 臨床心理学	兼任	講師	竹村 朝海 (45) <平成32年4月> 修士(教育学) 臨床心理学	兼任	講師	竹村 朝海 (45) 〈平成32年4月〉 修士(教育学) 臨床心理学	兼任	講師	竹村 朝海 (46) <平成32年4月> 修士(教育学) 臨床心理学	兼任	講師	竹村 朝海 (47) (平成32年4月> 修士(教育学) 臨床心理学
兼任	講師	吉岡 孝紘 (31) 〈平成32年4月〉 修士 (臨床心理) 臨床心理学	兼任	講師	吉岡 李紘 (31) 〈平成32年4月〉 修士 (臨床心理) 臨床心理学	兼任	講師	吉岡 李紘 (32) 〈平成32年4月〉 修士 (臨床心理) 臨床心理学						
									兼任	R #	西間 歌 (31) 〈令和3年4月〉 修士 (心理学) 臨床心理学	兼任	除師	西開 験 (32) 〈令和3年4月〉 修士(心理学) 臨床心理学
兼任	講師	山本 双一 (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70)	兼任	講師	山本 双一 (70) 《平成22年4月> 修士(心身健康学) 物理療法学 物理療法学表習 運動器等主学療法表習 リップ論	兼任	講師	山本 双一 (70) 《平成32年4月> 修士 (心身健康学) 物理療法学 物理療法学実習 運動器除害理学療法実習 リーダーシップ論	兼任	講師	山本 双一 (717) 《平成22年4月> 修士 (心身健康学) 物理療法学 物理療法学実習 選勤器障害理学療法実習 リーダーシップ論	兼任	講師	山本 双一 (72) <平成32年4月> 修士 (心身健康学) 物理療法学奏習 運動総修書理学療法奏習 リーダーシップ論
兼任	講師	小林 泰輔 (58) <平成32年4月> 博士(医学) 聴覚系医学※	兼任	講師	小林 泰輔 (58) <平成32年4月> 博士 (医学) 聴覚系医学※	兼任	講師	小林 泰輔 (59) 令和2年9月 > 博士 (医学) 陸雙系医学※	兼任	講師	小林 泰輔 (59) 〈令和2年9月〉 博士 (医学) 聴覚系医学※	兼任	講師	小林 泰輔 (60) (令和2年9月) 博士 (医学) 聴覚系医学※
兼任	講師	伊藤 広明 (35) <平成32年4月> 学士(医学) 聴覚系医学※	兼任	講師	伊藤 広明 (35) <平成32年4月> 学士(医学) 聴覚系医学※	兼任	講師	伊藤 広明 (36) 〈令和2年9月〉 学士 (医学) 聴覚系医学※	兼任	講師	伊藤 広明 (36) 〈令和2年9月〉 学士 (医学) 聴覚系医学※	兼任	講師	伊藤 広明 (37) 〈令和2年9月〉 学士 (医学) 聴覚系医学※
						兼任	計算	臭告 文乃 (60) 〈令和2年9月〉 博士 (医学) 建党系医学※	兼任		臭谷 文乃 (61) 《令和2年9月》 博士 (医学) 建党系医学※	兼任	計解	臭谷 文乃 (62) <令和2年9月> 博士 (医学) 職党系医学※
兼任	講師	奥村 訓代 (66) 〈平成32年4月〉 文学修士 言語学 音声学	兼任	講師	奥村 訓代 (66) 《平成32年4月》 文学修士 富語学 音声学	兼任	講師	奥村 訓代 (66) <甲成32年4月> 文学修士						
		9 / 平			自 严 于			音声学	兼任	M	公文 集子 (41) (全和3年4月> 文学修士	兼任	請師	公文 素子 (42) 〈令和3年4月〉 文学修士
						兼任	計解	公文 秦子 (40) 〈令和2年9月〉 文学修士	兼任	R #	公文 集子 (41) (令和2年9月> 文学修士	兼任	除師	公文 表子 (42) (令和2年9月> 文学修士

【認可	丁時又	は届出時】	【令	和元年	度】		12年	度】		【令和	3年	度】	【令和	04年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	!			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	井上 真理子 (36) <平成32年4月> 専修学校卒	兼任	講師	井上 真理子 (36) <平成32年4月> 専修学校卒	兼任	講師	井上 真理子 (36) <平成32年4月> 専修学校卒		装任	講師	井上 真理子 (37) <平成32年4月> 専修学校卒	兼任	講師	井上 真理子 (38) <平成32年4月> 専修学校卒
		聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習			聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習		2727	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習				聴覚除害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習			聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	山本 和代 (69) (平成32年4月> 修士 (教育学) 学校保健論	兼任	講師	山本 和代 (69) <平成32年4月> 修士(教育学) 学校保健論	兼任	講師	山本 和代 (69) <平成32年4月> 修士(教育学) 学校保健論	*	兼任	講師	山本 和代 (70) 《平成32年4月》 修士(教育学) 学校保健論	兼任	講師	山本 和代 (71) <平成32年4月> 修士(教育学) 学校保健論
兼任	講師	野村 卓生 (43) <平成32年4月> 博士 (学術) 產業保健論	兼任	講師	野村 卓生 (43) <平成32年4月> 博士 (学術) 產業保健論	兼任	講師	野村 卓生 (43) <平成32年4月> 博士(学術) 産業保健論	ŧ	兼任	講師	野村 卓生 (44) <平成32年4月> 博士 (学術) 產業保健論	兼任	講師	野村 卓生 (45) 〈平成32年4月〉 博士 (学術) 產業保健論
兼任	講師	島村 和典 (71) 《平成32年4月》 工学博士	兼任	講師	島村 和典 (71) <平成32年4月> 工学博士	兼任	講師	島村 和典 (71) <平成32年4月> 工学博士							
		企業論			企業論			企業論		終任	論師	渡田 美晴 (51) 〈令和3年月〉 修士 (理学)	兼任	鉄師	渡田 美職 (52) <令和3年4月> 修士 (選挙)
兼任	講師	坊岡 正之 (67) 〈平成32年4月〉 博士 (医療工学) 福祉工学基礎論	兼任	講師	坊岡 正之 (67) 〈平成32年4月〉 博士 (医療工学)	兼任	講師	坊岡 正之 (67) <平成32年4月> 博士 (医療工学) □ポット技術活用論	Ħ	兼任	講師	が岡 正之 (68) <平成32年4月> 博士 (医療工学) ロポット技術活用論	兼任	講師	坊岡 正之 (69) 〈平成32年4月〉 博士 (医療工学) ロポット技術活用論※
													兼任	難	12里口 優 (39) (令和4年4月> 修士 (工学) ロポット技術活用論※
兼任	講師	中本 雅彦 (53) 〈平成22年4月〉 社会学士	兼任	講師	中本 雅彦 (53) <平成32年4月> 社会学士 地球生活とサービス	兼任	講師	中本 雅彦 (53) <平成32年4月> 社会学士 地球生活とサービス	ŧ	兼任	講師	中本 雅彦 (54) <平成22年4月> 社会学士	兼任	講師	中本 雅彦 (55) 《平成32年4月》 社会学士 地域生活とサービス
兼任	講師	大倉 美知子 (58) 《平成32年4月> 短期大学卒 「視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論	兼任	講師	大倉 美知子 (58) 《平成32年4月> 短期大学卒 視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論	兼任	講師	大倉 美知子 (58) 《平原32年4月> 短期大学卒 模覧デザイン概論 カラーコミュニケーション概論	ž	兼任	講師	大倉 美知子 (59) (〒成32年4月> 短期大学卒 接覧デザイン概論	兼任	講師	大倉 美知子 (60) 〈平成22年4月〉 短期大学卒 視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論
兼任	講師	視覚伝達デザイン論 石元 第雄 (59) 《平成32年9月> 医学士	兼任	講師	視覚伝達デザイン論 石元 篤雄 (59) <平成32年9月> 医学士	兼任	講師	視覚伝達デザイン論 石元 篤雄 (59) 〈平成32年9月〉 医学士	*		講師	視覚伝達デザイン論 石元 第雄 (60) (平成32年9月> 医学士	兼任	講師	視覚伝達デザイン論 石元 篤雄 (61) <平成32年9月> 医学士
兼任	講師	内科学	兼任	講師	内科学 小野 歩 (63) <平成32年9月>	兼任	講師	内科学 小野 歩 (63) 《平成32年9月>		兼任	講師	内科学 小野 歩 (64) <平成32年9月>	兼任	講師	内科学 小野 歩 (65) 《平成32年9月>
		内科学			医学博士			医学博士 内科学	$\left\{ \ \right\}$			医学博士			内科学
兼任	講師	田中 肇 (56) 〈平成32年9月〉 医学博士	兼任	講師	田中 肇 (56) 〈平成32年9月〉 医学博士	兼任	講師	田中 肇 (56) 〈平成32年9月〉 医学博士	#	兼任	講師	田中 肇 (57) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	田中 肇 (58) <平成32年9月> 医学博士
兼任	講師	竹中 奈奈 (41) 〈平成32年9月〉 学士(医学)	兼任	講師	内科学 竹中 奈奈 (41) 〈平成32年9月〉 学士(医学)	兼任	講師	内科学	*	兼任	講師	内科学 竹中 奈奈 (42) <平成32年9月> 学士(医学)	兼任	講師	内科学
兼任	講師	内科学	兼任	講師	内科学 武市 知己 (56) 《平成22年9月》 医学博士	兼任	講師	内科学	*	兼任	講師	内科学	兼任	講師	内科学 (58) (782) (782) (782) (782) (782) (784) (784)
兼任	講師	倉繁 迪 (76) 〈平成32年9月〉 医学博士	兼任	講師	倉繁 迪 (76) 《平成32年9月》 医学博士	兼任	講師	倉繁 適 (76) (76) 《平成32年9月》 医学博士							
										版任	跳師	三宅 典子 (56) 〈令和3年0月〉 学士 (医学)	兼任	計師	三宅 典子 (57) (67) (6和3年9月) 李士 (医学)
兼任	講師	小倉 英郎 (74) 〈平成32年9月〉 医学博士	兼任	講師	小倉 英郎 (74) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	小倉 英郎 (74) <平成32年9月> 医学博士	*	兼任	講師	小倉 英郎 (75) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	小倉 英郎 (76) 《平成22年3月》 医学博士

【認可]時又	は届出時】	【 令 ?	和元年	度】	【令 ^{要任・}	和2年	度】	【令 事任·	和3年	度】	【令 東任・	和4年	度】
9任· 東担· 東任 D別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	乗任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	小谷 治子 (57) <平成32年9月> 医学士	兼任	講師	小谷 治子 (57) <平成32年9月> 医学士	兼任	講師	小谷 治子 (57) <平成32年9月> 医学士	兼任	講師	小谷 治子 (58) <平成32年9月> 医学士	兼任	講師	小谷 治子 (59) <平成32年9月> 医学士
		小児科学			小児科学			小児科学			小児科学			小児科学
兼任	講師	吉岡 和哉 (38) 〈平成32年9月〉 修士 (作業療法学)	兼任	講師	吉岡 和載 (38) 〈平成32年9月〉 修士(作業療法学)	兼任	講師	吉岡 和哉 (38) 〈平成32年9月〉 修士(作業療法学)	兼任	講師	吉岡 和哉 (39) <平成22年9月> 修士(作業療法学)	兼任	講師	吉岡 和哉 (40) 〈平成32年9月〉 修士(作業療法学)
		作業療法評価実習Ⅲ (発達系) ※ 発達障害作業療法実習※			作業療法評価実習Ⅲ(発達系)※ 発達障害作業療法実習※			作業療法評価実習亚(発達系)※ 発達障害作業療法実習※			作業療法評価実習亚(発達系)※ 発達障害作業療法実習※			作業療法評価実習Ⅲ (発達系) > 発達障害作業療法実習※
兼任	講師	仲木 右京 (59) <平成32年9月> 専修学校卒	兼任	講師	仲木 右京 (59) <平成32年9月> 専修学校卒	兼任	講師	仲木 右京 (59) <平成32年9月> 専修学校卒	兼任	講師	仲木 右京 (60) <平成32年9月> 専修学校卒	兼任	講師	仲木 右京 (61) <平成32年9月> 専修学校卒
		義肢・装具作業療法実習※			義肢・装具作業療法実習※			義肢・装具作業療法実習※			義肢・装具作業療法実習※			義肢・装具作業療法実習※
兼任	講師	兵頭 政光 (61) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	兵頭 政光 (61) 《平成32年9月》 医学博士	兼任	講師	兵頭 政光 (61) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	兵頭 政光 (62) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	兵順 政光 (63) 〈平成32年9月〉 医学博士
		音声・言語系医学※			音声・言語系医学※			音声・言語系医学※			音声・言語系医学※			音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 (34) <平成32年9月> 学士 (医学)	兼任	講師	長尾 明日香 (34) <平成32年9月> 学士 (医学)	兼任	講師	長尾 明日香 (34) <平成32年9月> 学士 (医学)	兼任	講師	長尾 明日香 (35) 〈平成32年9月〉 学士(医学)	兼任	講師	長尾 明日香 (36) <平成32年9月> 学士(医学)
		音声・言語系医学※			音声・言語系医学※			音声・言語系医学※			音声・言語系医学※			音声・言語系医学※
東任	講師	世木 秀明 (64) 〈平成32年9月〉 工学修士	兼任	講師	世木 秀明 (64) <平成32年9月> 工学修士	兼任	講師	世末 秀明 (64) 《平成32年9月》 工学修士	兼任	講師	世末 秀明 (65) <平成32年9月> 工学修士	兼任	講師	世木 秀明 (66) 〈平成32年9月〉 工学修士
		音響学 (聴覚心理学を含む)			音響学(聴覚心理学を含む)			音響学(聴覚心理学を含む)			音響学(聴覚心理学を含む)			音響学 (聴覚心理学を含む)
兼任	講師	鈴木 李典 (45) 〈平成32年9月〉 博士(人間学)	兼任	講師	鈴木 李典 (45) <平成32年9月> 博士 (人間学)	兼任	講師	鈴木 李典 (45) <平成32年9月> 博士 (人間学)	兼任	講師	鈴木 李典 (46) 〈平成32年9月〉 博士(人間学)	兼任	講師	鈴木 孝典 (47) 〈平成32年9月〉 博士(人間学)
		精神障害福祉論			精神障害者の援助とネットワーク			精神障害者の援助とネットワーク			精神障害者の援助とネットワーク			精神障害者の援助とネットワー
東任	講師	竹下 誠一 (65) <平成32年9月> 法学士	兼任	講師	竹下 誠一 (65) <平成32年9月> 法学士	兼任	講師	竹下 誠一 (65) <平成32年9月> 法学士	兼任	講師	竹下 誠一 (66) 《平成32年9月》 法学士	兼任	講師	竹下 誠一 (67) 〈平成32年9月〉 法学士
		情報メディア学入門			情報メディア学入門			情報メディア学入門			情報メディア学入門			情報メディア学入門
東任	講師	竹崎 久美子 (60) 〈平成33年4月〉 博士 (看護学)	兼任	講師	竹崎 久美子 (60) 《平成33年4月》 博士(看護学)	兼任	講師	竹崎 久美子 (60) <平成33年4月> 博士 (看護学)	兼任	講師	竹崎 久美子 (60) <平成33年4月> 博士 (看護学)	兼任	講師	竹崎 久美子 (61) 〈平成33年4月〉 博士(看護学)
		生命倫理※			生命倫理※			生命倫理※			生命倫理※			生命倫理※
泰任	講師	渡邊 聡子 (54) 〈平成33年4月〉 博士(看護学)	兼任	講師	渡邊 聡子 (54) <平成33年4月> 博士(看護学)	兼任	講師	渡邊 聡子 (54) 〈平成33年4月〉 博士(看護学)	兼任	講師	渡邊 聡子 (54) 〈平成33年4月〉 博士(看護学)	兼任	講師	渡邊 聡子 (55) 〈平成33年4月〉 博士(看護学)
		生命倫理※			生命倫理※			生命倫理※			生命倫理※			生命倫理※
東任	講師	秋山 謙三 (72) 《平成33年4月》 歯学士	兼任	講師	秋山 謙三 (72) <平成33年4月> 歯学士	兼任	講師	秋山 謙三 (72) 《平成33年4月》 歯学士	兼任	講師	校山 謙三 (72)(72)(平成33年4月> 歯学士	兼任	講師	秋山 謙三 (73) 〈平成33年4月〉 苗学士
		形成外科学 臨床歯科医学			形成外科学 臨床歯科医学			形成外科学 臨床歯科医学			形成外科学 臨床歯科医学			形成外科学 臨床歯科医学
泰任	講師	宮川 和之 (56) 〈平成33年4月〉 学士(保健衛生学)	兼任	講師	宮川 和之 (56) <平成33年4月> 学士 (保健衛生学)									
		画像診断学			画像診断学		L							
						兼任	鉄師	森田 尚字 (63) 〈令和3年4月〉 修士 (理学)	兼任	納師	森田 尚字 (63) <令和3年4月> 修士 (理学)			
								阿像沙斯学			画像梦新学			
												兼任	納師	伊東 賈二 (60) 〈令和4年4月〉 修士 (医判学)
														国像診断学

	可時又	は届出時】		和元年	度】		和2年	度】			13年	度】		和4年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼祖 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専兼兼の	担・ 任	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ を を 別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	渡邊 慶子 (65) 〈平成33年4月〉 博士 (生活科学) 臨床栄養学	兼任	講師	渡邊 慶子 (65) 〈平成33年4月〉 博士 (生活科学) 臨床栄養学	兼任	講師	渡邊 慶子 (65) 〈平成33年4月〉 博士 (生活科学) 臨床栄養学	3	兼任	講師	渡邊 慶子 (65) 〈平成33年4月〉 博士 (生活科学) 臨床栄養学	兼任	講師	渡邊 慶子 (66) 《平成33年4月》 博士(生活科学) 臨床栄養学
兼任	講師	田所 茂彦 (68) 〈平成33年4月〉 秦学士	兼任	講師	田所 茂彦 (68) 〈平成33年4月〉 薬学士	兼任	講師	田所 茂彦 (68) 〈平成33年4月〉 薬学士							
		臨床養理学			臨床業理学			臨床薬理学	,	使任	銀師	第ロ 英宝 (43) 〈令和3年月> 学士 (薬学)			
			-						-			臨床業理学	兼任	鉄師	小野川 雅美 (52) <全和4年4月> 博士 (医学)
兼任	講師	権村 譲 (65) <平成33年4月> 体育学士	兼任	講師	柚村 誠 (65) <平成33年4月> 体育学士	兼任	講師	柚村 誠 (65) <平成33年4月> 体育学士							臨床厳理学
		教急管理実習			教急管理実習	_		教急管理実習				市岡			吉岡 邦展 (54)
									3	使任	新師	(53) 《令和3年4月》 学士 (文学) 教皇管理実習	兼任	納何	《令和3年4月》 学士(文学) 歌念管理典響
兼任	講師	小笠原 正 (61) 《平成33年4月》 学士(社会学)	兼任	講師	小笠原 正 (61) <平成33年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	小笠原 正 (61) 〈平成33年4月〉 学士(社会学)	3	兼任	講師	小笠原 正 (61) 《平成33年4月》 学士(社会学)	兼任	講師	小笠原 正 (62) <平成33年4月> 学士(社会学)
兼任	講師	中極神経障害理学療法実習 佐々木 貴之 (40) 〈平成33年4月〉 学士(社会学)	兼任	講師	中枢神経障害理学療法実習 佐々木 貴之 (40) <平成33年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	中枢神経障害理学療法実習 佐々木 貴之 (40) <平成33年4月> 学士(社会学)	ŧ	兼任	講師	中枢神経障害理学療法実習 佐々木 貴之 (40) 〈平成33年4月〉 学士(社会学)			中枢神経障害理学療法実習
		脊髓障害理学療法実習			脊髓障害理学療法実習			脊髓障害理学療法実習				脊髓障害理学療法実習			
兼任	講師	板場 英行 (770) <平成33年4月> 学士(教養)	兼任	講師	板場 英行 (70) <平成33年4月> 学士(教養)	兼任	講師	板場 英行 (70) <平成33年4月> 学士(教養)	#	兼任	講師	板場 英行 (70) <平成33年4月> 学士(教養)	兼任	講師	板場 英行 (71) 《平成33年4月》 学士(教養)
		理学療法技術実習 I (運動関節学的 手技)			理学療法技術実習 I (運動関節学 的手技)			理学療法技術実習 I (運動関節学的 手技)				理学療法技術実習 I (運動関節学的 手技)			理学療法技術実習 I (運動関節学的 手技)
兼任	講師	西村 教司 (50) 《平成33年4月》 専修学校卒	兼任	講師	西村 敦司 (50) <平成33年4月> 専修学校卒	兼任	講師	西村 敦司 (50) 〈平成33年4月〉 専修学校卒	3	兼任	講師	西村 敦司 (50) 《平成33年4月》 専修学校卒	兼任	講師	西村 敦司 (51) 《平成33年4月》 専修学校卒
		理学療法技術実習Ⅲ(生体観察手 技)			理学療法技術実習皿(生体観察手 技)			理学療法技術実習皿 (生体観察手 技)				理学療法技術実習Ⅲ(生体観察手 技)			理学療法技術実習皿 (生体観察手 技)
兼任	講師	岩崎 史明 (37) 《平成33年4月》 修士(医科学)	兼任	講師	岩崎 史明 (37) <平成33年4月> 修士(医科学)	兼任	講師	岩崎 史明 (37) 〈平成33年4月〉 修士(医科学)	3	兼任	講師	岩崎 史明 (37) 《平成33年4月》 修士(医科学)	兼任	講師	岩崎 史明 (38) <平成33年4月> 修士(医科学)
** **	Z#AT	理学療法治療学実習 I (脳障害) 森本 首郎 (74) 《平成33年4月》 医学士	***	-mar	理学療法治療学実習 I (脳障害) 森本 哲郎 (74) <平成33年4月> 医学士	** 100	-mar	理学療法治療学実習 I (脳障害) 森本 哲郎 (74) 《平成33年4月》 医学士	-	* 15	in at	理学療法治療学実習 I (鰯障害) 森本 首郎 (74) <平成33年4月> 医学士		-mar	理学療法治療学実習 I (脳障害) 森本 哲郎 (75) <平成33年4月> 医学士
兼任	講師	理学療法治療学実習Ⅲ(スポーツ障	兼任	講師	理学療法治療学実習Ⅲ(スポーツ	兼任	講師	理学療法治療学実習Ⅲ(スポーツ障	, x	兼任	講師	理学療法治療学実習Ⅲ(スポーツ障	来往	講師	理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ障
兼任	講師	書) ※ 山田 義久 (62) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70)	兼任	講師	障害) ※ 山田 義久 (62) <平成33年4月> 専修学校卒	兼任	講師	書)※山田 義久 (62) <平成33年4月> 専修学校卒	-	兼任	講師	書) ※ 山田 義久 (62) (7) (62) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (兼任	講師	書)※ 山田 義久 (63) <平成33年4月> 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ障害) ※			理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ 障害) ※			理学療法治療学実習皿 (スポーツ障害) ※				理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ障害) ※			理学療法治療学実習Ⅲ(スポーツ障害)※
兼任	講師	川渕 正敬 (48) <平成33年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	川渕 正敬 (48) <平成33年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	川渕 正敬 (48) <平成33年4月> 学士(社会学)	3	兼任	講師	川渕 正敬 (48) <平成33年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	川渕 正敬 (49) <平成33年4月> 学士(社会学)
兼任	講師	地域理学療法学演習 佐藤 信治 (48) 〈平成33年4月〉 専修学校卒	兼任	講師	地域理学療法学演習 佐藤 信治 (48) <平成33年4月> 専修学校卒	兼任	講師	地域理学療法学演習 佐藤 信治 (48) 《平成33年4月》 専修学校卒	3	兼任	講師	地域理学療法学演習 佐藤 信治 (48) 〈平成33年4月〉 専修学校卒	兼任	講師	地域理学療法学演習 佐藤 信治 (49) 《平成33年4月》 専修学校卒
		身体障害作業療法実習Ⅱ (脊髄・運動器系)※			身体障害作業療法実習 II (脊髄・運動器系) ※			身体障害作業療法実習Ⅱ (脊髄・運動器系)※				身体障害作業療法実習Ⅱ (脊髄・運動器系)※			身体障害作業療法実習Ⅱ (脊髄・運動器系)※
兼任	講師	金久 雅史 (39) 《平成33年4月》 専修学校卒	兼任	講師	金久 雅史 (39) 〈平成33年4月〉 専修学校卒	兼任	講師	金久 雅史 (39) 〈平成33年4月〉 修士(社会福任学)	3	兼任	講師	金久、雅史 (39) 《平成33年4月》 俸士(社会福祉学)	兼任	講師	金久 雅史 (40) 〈平成33年4月〉 修士(社会福祉学)
		身体障害作業療法実習Ⅲ(内部系)	1		身体障害作業療法実習Ⅲ(内部 系)			身体障害作業療法実習皿 (内部系)				身体障害作業療法実習Ⅲ(内部系)			身体障害作業療法実習皿 (内部系)

]時又	は届出時】		和元年	度】		和2年	度】		↑和34	度】		04年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	笹岡 和泉 (49) <平成33年4月> 学士(芸術学)	兼任	講師	笹岡 和泉 (49) <平成33年4月> 学士(芸術学)	兼任	講師	笹岡 和泉 (49) <平成33年4月> 学士(芸術学)	兼	圧 講館	ナエ (云南ナ)	兼任	講師	笹岡 和泉 (50) <平成33年4月> 学士(芸術学)
		生活環境支援作業療法実習※			生活環境支援作業療法実習※			生活環境支援作業療法実習※	-		生活環境支援作業療法実習※			生活環境支援作業療法実習※
兼任	講師	津江 美和 (566) 《平成33年4月》 修士(教育学)	兼任	講師	津江 美和 (56) 《平成33年4月》 修士(教育学)	兼任	講師	津江 美和 (56) 《平成33年4月》 (修士(教育学)	兼	圧 講師	ラエ (女月子)	兼任	講師	津江 美和 (57) <平成33年4月> 修士(教育学)
		学習・認知心理学 大崎 聡			学習・認知心理学 大崎 聡			学習・認知心理学 大崎 聡			学習・認知心理学 大崎 聡			学習・認知心理学 大崎 聡
兼任	講師	(61) <平成33年4月> 経済学士	兼任	講師	(61) <平成33年4月> 経済学士	兼任	講師	(61) <平成33年4月> 経済学士	兼	圧 講館	(61) <平成33年4月> 経済学士	兼任	講師	(62) <平成33年4月> 経済学士
		言語免達障害学			言語免達障害学			言語発達障害学	H		言語免達障害学			言語免達障害学
兼任	講師	渡崎 佳瑞子 (49) <平成33年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	渡崎 佳瑞子 (49) 《平成33年4月》 修士(教育学)	兼任	講師	渡崎 佳瑞子 (49) 〈平成33年4月〉 修士 (教育学)	兼	圧 講師	P1 (MHT)	兼任	講師	渡崎 佳瑞子 (50) 《平成33年4月》 修士(教育学)
		学習障害・広汎性発達障害学※ 藤原 百合			学習障害・広汎性発達障害学※ 藤原 百合			学習障害·広汎性発達障害学※ 藤原 百合			学習障害・広汎性発達障害学※ 藤原 百合			学習障害・広汎性発達障害学※ 藤原 百合
兼任	講師	(71) <平成33年4月> 博士(学術)	兼任	講師	(71) <平成33年4月> 博士 (学術)	兼任	講師	(71) <平成33年4月> 博士(学術)	兼	圧 講館	(71) <平成33年4月> 博士(学術)	兼任	講師	(72) <平成33年4月> 博士 (学術)
		器質性構音障害学実習			器質性構音障害学実習			器質性構音障害学実習	H		器質性構音障害学実習			器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見 将志 (49) <平成33年4月> 博士(医学)	兼任	講師	塩見 将志 (49) <平成33年4月> 博士 (医学)	兼任	講師	塩見 将志 (49) <平成33年4月> 博士 (医学)	兼	圧 講館	将工 (医子)	兼任	講師	塩見 将志 (50) <平成33年4月> 博士 (医学)
		吃音学	_		吃音学			吃音学	-		吃音学 <mark>業</mark>			吃音学業
兼任	講師	土居 奈央 (33) 《平成33年4月》 学士(人間科学)	兼任	講師	土居 奈央 (33) <平成33年4月> 学士(人間科学)	兼任	講師	土居 奈央 (33) <平成33年4月> 学士(人間科学)						
		嚥下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習IV (発声発語・嚥下障害)※			嚥下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習IV (発声発語・嚥下障害)※			嚥下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習IV (発声発語・嚥下障害)※						
											上松 智幸 (33) <令和3年4月>			上校 智幸 (34) <令和3年4月> 修士(医科学)
										注 調節	<令和3年4月> 享修学校卒	兼任	計算	
											吃音學※ 唯「陳春學與曹※ 吳声與語·韓下陳書評個奧曹※ 言語雜党療法技術與智刀 (吳声樂語·曠下降書)※	****		吃音学※ 職下除害学実習※ 発声発語・職下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習以 (発声発語・職下障害)※
兼任	講師	益田 慎 (57) <平成33年4月> 博士 (医学)	兼任	講師	益田 慎 (57) 〈平成33年4月〉 博士(医学)	兼任	講師	益田 慎 (57) 〈平成33年4月〉 博士(医学)	兼	圧 講館	益田 慎 (57) 〈令和3年9月 > 博士 (医学)	兼任	講師	益田 (58) < 令和3年9月 > 博士(医学)
		嚥下障害学実習※			嚥下障害学実習※			嚥下障害学実習※			嚥下障害学実習※			嚥下障害学実習※
兼任	講師	秋朝 幸二 (56) 《平成33年4月》 短期大学卒	兼任	講師	秋朝 幸二 (56) 《平成33年4月》 短期大学卒	兼任	講師	秋朝 幸二 (56) 〈平成33年4月〉 短期大学卒	兼	圧 講館	秋朝 幸二 (56) 〈平成33年4月〉 短期大学卒	兼任	講師	秋朝 幸二 (57) 《平成33年4月》 短期大学卒
		補聴器・人工内耳学			補聴器・人工内耳学			補助器・人工内耳学			補聴器・人工内耳学			補貼器・人工内耳学
兼任	講師	坂本 泰祥 (60) <平成33年4月> 博士(学術)	兼任	講師	坂本 泰祥 (60) <平成33年4月> 博士 (学術)	兼任	講師	坂本 泰祥 (60) 〈平成33年4月〉 博士 (学術)	兼	圧 講師	坂本 泰祥 (60) <平成33年4月> 博士(学術)	兼任	講師	坂本 泰祥 (61) 《平成33年4月》 博士 (学術)
		経営組織論			経営組織論			経営組織論			経営組織論			経営組織論
兼任	講師	前田 和範 (35) <平成33年4月> 修士 (スポーツ科学)	兼任	講師	前田 和範 (35) 〈平成33年4月〉 修士 (スポーツ科学)	兼任	講師	前田 和範 (35) <平成33年4月> 修士 (スポーツ科学)	兼	圧 講師	修工(スポーツ科子)	兼任	講師	前田 和範 (36) <平成33年4月> 修士 (スポーツ科学)
		マーケティング論			マーケティング論	l		マーケティング論	l		マーケティング論			マーケティング論
兼任	講師	西岡 啓二郎 (72) <平成33年4月> 商学士	兼任	講師	西岡 啓二郎 (72) 《平成33年4月》 商学士	兼任	講師	西岡 啓二郎 (72) 〈平成33年4月〉 商学士						
		会計学総論			会計学総論	l 		会計学総論	l	+				
									*	注 課館	411784	兼任	跳師	宮崎 康平 (48) (今和3年4月) 事門学校卒
		遠山 真世			遠山 真世			遠山 真世	╽┢		会計学報告 遠山 真世			金計学報酬 遠山 真世
兼任	講師	(46) <平成33年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	講師	(46) <平成33年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	講師	(46) 〈平成33年4月〉 博士(社会福祉学)	兼	任 講館	(46) <平成33年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	講師	(47) 〈平成33年4月〉 博士(社会福祉学)
		障害者福祉論		-	障害者の社会環境と制度	l		昨宵者の社会環境と制度			障害者の社会環境と制度			障害者の社会環境と制度
兼任	講師	大村 號 (62) <平成33年4月> 博士 (理学)	兼任	講師	大村 誠 (62) <平成33年4月> 博士(理学)	兼任	講師	大村 誠 (62) <平成33年4月> 博士 (理学)	兼	圧 講館	得工(理子)	兼任	講師	大村 誠 (63) 《平成33年4月》 博士 (理学)
		地域防災論	-	-	地域防災論	l		地域防災論			地域防災論	-		地域防災論
兼任	講師	加藤 誠之 (52) <平成33年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	加藤 誠之 (52) 《平成33年4月》 修士(教育学)	兼任	講師	加藤 誠之 (52) <平成33年4月> 修士(教育学)	兼	圧 講師	BT (AHT)	兼任	講師	加藤 誠之 (53) 《平成33年4月》 修士 (教育学)
		更生保護制度論	oxdot		更生保護制度論	╵┕		更生保護制度論	L		更生保護制度論			更生保護制度論

【認可	可時又	は届出時】	要(元年		[4	和 2	2年			【令ā	13年		【令:	和4年	
専任・ 検担・ 使任 D別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専士 兼士 東七	Ē· Ē	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	. 職	戦名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		是永 かな子 (47)				是永 かな子 (47)				是永 かな子 (47)				是永 かな子 (47)			
兼任	講師	<平成33年4月> 博士(教育学)	兼	任	講師	<平成33年4月> 博士(教育学)	兼任	E SA	等師	<平成33年4月> 博士 (教育学)		兼任	講師	<平成33年4月> 博士(教育学)			
		特別支援教育論		-		特別支援教育論				特別支援教育論	ŀ			特別支援教育論			-1
									:						兼任	講師	石山 貴章 (55) 《令和4年4月》 博士(社会福祉学)
		西内 章		1		西内 章				西内 章				西内 章			西内 章
兼任	講師	(48) <平成33年4月> 博士(臨床福祉学)	兼	任	講師	(48) <平成33年4月> 博士(臨床福祉学)	兼任	E i#	ӭ師	(48) <平成33年4月> 博士(臨床福祉学)		兼任	講師	(48) <平成33年4月> 博士(臨床福祉学)	兼任	講師	(49) <平成33年4月> 博士(臨床福祉学)
		対人援助技術論※				対人援助技術論※				対人援助技術論※				対人援助技術論※			対人援助技術論※
		西梅 幸治 (43)				西梅 幸治 (43)				西梅 幸治 (43)				西梅 幸治 (43)			西梅 幸治 (44)
兼任	講師	<平成33年4月> 博士(福祉社会学)	兼	任	講師	<平成33年4月> 博士 (福祉社会学)	兼任	E in	ӭ師	<平成33年4月> 博士(福祉社会学)		兼任	講師	<平成33年4月> 博士(福祉社会学)	兼任	講師	<平成33年4月> 博士 (福祉社会学)
		対人援助技術論※				対人援助技術論※				対人援助技術論※				対人援助技術論※			対人援助技術論※
		森本 忠彦 (81) <平成33年4月>				森本 忠彦 (81) <平成33年4月>				森本 忠彦 (81) <平成33年4月>							
兼任	講師	教育学士	兼	任	講師	教育学士	兼任	E	等師	教育学士							
		広告論				広告論				広告論	ŀ						
												兼任	講師	田中 拓生 (43) <令和3年4月>	兼任	***	田中 拓生 (44) <令和3年4月>
												**	-	学士(経営学)	***		学士 (経営学)
		柳本 伸二				柳本 伸二				柳本 伸二	ŀ			広告論			広告論
兼任	講師	(63) <平成33年4月> 商学士	兼	任	講師	(63) <平成33年4月> 商学士	兼任	E i#	等師	(63) <平成33年4月> 商学士							
		企業広報活動論				企業広報活動論				企業広報活動論							
		ALL PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY O				200 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 100 PT 10				and provided the provided	l			竹下 第一			竹下_腕一
												兼任	跳師	(66) <令和3年4月> 法学士	兼任	納何	(67) <令和3年4月> 法学士
														企業広報活動論			企業広報活動論
		吉岡 一洋 (46)				吉岡 一洋 (46)				吉岡 一洋 (46)				吉岡 一洋 (46)			吉岡 一洋 (47)
兼任	講師	<平成33年4月> 修士(教育学)	兼	任	講師	<平成33年4月> 修士(教育学)	兼任	E BA	ӭ師	<平成33年4月> 修士(教育学)		兼任	講師	<平成33年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	<平成33年4月> 修士(教育学)
		広告デザイン論				広告デザイン論				広告デザイン論				広告デザイン論			広告デザイン論
		富田 浩 (54)				富田 浩 (54)				富田 浩 (54)				富田 浩 (54)			富田 浩 (55)
兼任	講師	<平成33年9月> 博士(理学療法学)	兼	任	講師	<平成33年9月> 博士(理学療法学)	兼任	E i#	ӭ師	<平成33年9月> 博士 (理学療法学)		兼任	講師	<平成33年9月> 博士(理学療法学)	兼任	講師	<平成33年9月> 博士 (理学療法学)
		理学療法技術実習 II (神経筋促通手 技) ※				理学療法技術実習I(神経筋促通 手技)※			İ	理学療法技術実習 II (神経筋促通手 技) ※				理学療法技術実習 I (神経筋促通手 技) ※			理学療法技術実習 II (神経筋促通手技) ※
		前田 秀博 (55)				前田 秀博 (55)				前田 秀博 (55)				前田 秀博 (55)			前田 秀博 (56)
兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼	任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼任	E BA	ӭ師	〈平成33年9月〉 専修学校卒		兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅱ(ICU)				理学療法治療学実習 Ⅱ (ICU)				理学療法治療学実習Ⅱ(ICU)				理学療法治療学実習Ⅱ(ICU)			理学療法治療学実習 II (ICU)
		小林 順一 (69)				小林 順一 (69)				小林 順一 (69)				小林 順一 (69)			小林 順一 (70)
兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼	任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼任	E	ӭ師	<平成33年9月> 専修学校卒		兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒
		理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)				理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)				理学療法治療学実習Ⅳ(障害者スポーツ)				理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)			理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)
		筒井 裕介 (41)		1		筒井 裕介 (41)				筒井 裕介 (41)				筒井 裕介 (41)			筒井 裕介 (42)
兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	#	任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼任	E BA	ӭ師	<平成33年9月> 専修学校卒		兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒
		高次脳機能障害作業療法実習※				高次脳機能障害作業療法実習※				高次脳機能障害作業療法実習※				高次脳機能障害作業療法実習※			高次脳機能障害作業療法実習※
		土居 道康 (45)	П			土居 道康 (45)				土居 道康 (45)				土居 道康 (45)			土居 道康 (46)
兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼	任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼任	E SA	ӭ師	<平成33年9月> 専修学校卒		兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒	兼任	講師	<平成33年9月> 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※		_		機能代價支援作業療法実習※				機能代償支援作業療法実習※				機能代償支援作業療法実習※			機能代償支援作業療法実習※
** **		篠森 丞 (41) <平成33年9月>				篠森 丞 (41) <平成33年9月>	***			篠森 丞 (41) <平成33年9月>		** 1-		篠森 丞 (41) <平成33年9月>	***		篠森 丞 (42) <平成33年9月>
兼任	講師	専修学校卒	ボ	任	講師	専修学校卒	兼任	E 58	飾	専修学校卒		兼任	講師	専修学校卒	兼任	講師	専修学校卒
		機能代價支援作業療法実習※				機能代價支援作業療法実習※	-			機能代償支援作業療法実習※	ŀ			機能代價支援作業療法実習※			機能代價支援作業療法実習※
兼任	講師	谷本 愛裕美 (38) <平成33年9月>	*	任	講師	谷本 愛裕美 (38) <平成33年9月>	兼任	E ää	th ém	谷本 愛裕美 (38) <平成33年9月>		兼任	講師	谷本 愛裕美 (38) <平成33年9月>	兼任	講師	谷本 愛裕美 (39) <平成33年9月> 学士(人間科学)
	111111	学士(人間科学) 重複障害学※			manı	学士 (人間科学)	,,,,,		ļ	学士 (人間科学)		707.00	0750	子工 (人間科子)	2111111	man	
		北川 純平	-	+		重複障害学※ 北川 純平		+		重複障害学※ 北川 純平				重複障害学※ 北川 純平			重複障害学※ 北川 純平
兼任	講師	(41) <平成33年9月>	#	任	講師	(41) <平成33年9月>	兼任	E i#	等師	(41) <平成33年9月>		兼任	講師	(41) <平成33年9月>	兼任	講師	(42) <平成33年9月>
		学士(社会福祉学) 運動障害性構音障害学実習				学士(社会福祉学) 運動障害性構音障害学実習			ļ	学士(社会福祉学) 運動障害性構音障害学実習				学士(社会福祉学) 運動障害性構音障害学実習			学士(社会福祉学) 運動障害性構音障害学実習
		井上 浩明	lþ	\dashv		井上 浩明	lH			井上 浩明				井上 浩明			井上 浩明
兼任	講師	(45) <平成33年9月> 専修学校卒	#	任	講師	(45) <平成33年9月> 専修学校卒	兼任	E im	ӭ師	(45) <平成33年9月> 専修学校卒		兼任	講師	(45) <平成33年9月> 専修学校卒	兼任	講師	(46) <平成33年9月> 専修学校卒
-		言語聴覚療法技術実習Ⅱ				言語聴覚療法技術実習Ⅱ		-	ļ	言語聴覚療法技術実習Ⅱ		_		言語聴覚療法技術実習Ⅱ			言語聴覚療法技術実習Ⅱ
		(高次脳機能障害) ※	ᄔ			(高次脳機能障害) ※	╵╙			(高次脳機能障害)※	ιl			(高次脳機能障害) ※			(高次脳機能障害) ※

	丁時又	は届出時】			1元年	度】		和2年	度】		和3年	度】		和4年	度】
専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	兼	担・経生・	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 あ別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	川上 理子 (54) 〈平成33年9月〉 博士 (看護学) 地域包括ケア論※	3	兼任	講師	川上 理子 (54) 〈平成33年9月〉 博士 (看護学) 地域包括ケア論※	兼任	講師	川上 理子 (54) <平成33年9月> 博士 (看護学) 地域包括ケア論※	兼任	講師	川上 理子 (54) 〈平成33年9月〉 博士 (看護学) 地域包括ケア論※	兼任	講師	川上 理子 (55) 〈平成33年9月〉 博士 (看護学) 地域包括ケア論※
兼任	講師	春年 本子 (60) マース (60) マース (60) マース (60) マース (60) ドナ (看護学) 地域包括ケア論※	3	兼任	講師	森下 幸子 (60) (マ成33年9月> 修士 (看護学) 地域包括ケア論※	兼任	講師	東京 幸子 (60) (平成33年9月> 修士(看護学) 地域包括ケア論※	兼任	講師	森下 辛子 (60) 《平成33年9月》 修士(看護学) 地域包括ケア論※	兼任	講師	市場(はなり) 調次
兼任	講師	上村 浩 (54) 〈平成33年9月〉 博士 (商学) 経営管理論	7	兼任	講師	上村 浩 (54) 〈平成33年9月〉 博士 (商学) 経営管理論	兼任	講師	上村 浩 (54) 《平成33年9月》 博士 (商学) 経営管理論	兼任	講師	上村 浩 (54) 《平成33年9月》 博士 (商学)	兼任	講師	上村 浩 (55) (55) (平成33年9月) 博士 (商学) 経営管理論
兼任	講師	水野 正展 (73) <平成33年9月> 博士 (工学) 起業論	3	兼任	講師	永野 正展 (73) <平成33年9月> 博士 (工学) 起業論	兼任	講師	永野 正展 (73) <平成33年9月> 博士 (工学) 起業論						
										兼任	銀師	物部 東一郎 (38) <令和3年9月> 参士 (経営学)	兼任	請師	物部 東一郎 (39) <令和3年9月> 修士(報首学) 和森祉
兼任	講師	鶴見 隆正 (73) 〈平成34年4月〉 博士(医学) チーム連携論	3	兼任	講師	鶴見 降正 (73) <平成34年4月> 博士 (医学) チーム連携論	兼任	講師	鶴見 隆正 (73) <平成34年4月> 博士 (医学) チーム連携論	兼任	講師	額見 隆正 (73) <平成34年4月> 博士 (医学) チーム連携論			
		, Na. 17188											兼任	計師	川村 博文 (65) <舎和4年4月> 博士(医学)
兼任	講師	矢野 勇介 (45) <平成34年4月> 専修学校卒	3	兼任	講師	矢野 勇介 (45) 〈平成34年4月〉 専修学校卒	兼任	講師	等等于 牧平	兼任	講師	矢野 勇介 (45) <平成34年4月> 専修学校卒	兼任	講師	チーム連携 矢野 勇介 (45) <平成34年4月> 専修学校卒
兼任	講師	作業療法管理学※ 西田 香利 (61) <平成34年4月> 短期大学卒	3	兼任	講師	作業療法管理学※ 西田 香利 (61) <平成34年4月> 短期大学卒	兼任	講師	作業療法管理学※ 西田 香利 (61) <平成34年4月> 短期大学卒	兼任	講師	作業療法管理学※ 西田 香利 (61) <平成34年4月> 短期大学卒	兼任	講師	作業療法管理学※ 西田 香利 (61) <平成34年4月> 短期大学卒
兼任	講師	言語聴覚療法技術奏習皿 (失語) ※	3	兼任	講師	言語聴覚療法技術実習Ⅲ (失語) ※ 先川 信一郎 (72) <平成34年9月> 学士 (エ学)	兼任	講師	言語聴覚療法技術実習皿 (失語) ※ 先川 信一郎 (72) 〈平成34年9月〉 学士 (工学)	兼任	講師	富語聴覚療法技術楽習皿 (失語) ※ 先川 信一部 (72) 〈平成34年9月〉 学士 (工学)	兼任	講師	言語聴覚療法技術実習皿 (失語) ※ 先川 信一郎 (72) <平成34年9月> 学士 (工学)
		国際関係論				国際関係論	兼任	講師	国際関係論	兼任	講師	国際関係論 松木 等行 (66) 〈中和/年9月〉 事事中校平	兼任	講師	国際関係論
							兼任	講師	理学療法管理実務 個川 章 (48) 《令和5年4月》 事事学校本 作業療法管理実務	兼任	講師	理学療法管理実務 銀川 章 (48) 《令和5年4月》 事体学校本 作業療法管理実務	兼任	講師	理学療法管理実務 組川 章 (48) 《令和5年4月》 事事学校本 作業療法管理実務
									Trouble B 40700			I remands & WIPSG			Ironach E 1970

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。) ・ 認可申請書又は設置雇出書の様式第3号(その2の1)に年じて作成してください。 ・ 「認可時又は周出時」には 設置認可時又は周出時の教員全て (兼任、兼担教員を含む。) を黒字で記入してください。 その上で、 **國面除又は周出時か上を更となっている箇所は太宇の泰士としてください。** ・ 各個の作成方法は「大学の設置等に係る提出書解作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。 ・ 毎年 (等門職大学等は専、東南、東 (研) 、東み) 、兼担、兼任の順に記入してください。 ・ 不要な年度 (令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【今和元年度】

【令和2年度】

【令和2年度】

・大倉教授が病気治療中にて、主治医より勤務負担の軽減を指示されており、負担軽減が必要な状況の為「健康科学」・「理学療法概論」・「運動療法学」・「運動療法学実習」の4科目について担当科目から削除した。
・「言語学」「音声学」を担当する兼任講師が都合により「音声学」を辞退したため、新たに兼任講師を配置した。
・兼任講師が都合により辞退したため及び開講回数回の兼任講師の負担の軽減とより質の高い教育効果を得るため「臨床神経学」の兼任講師2名を新たに配置した。
・指定規則の改正により、「理学療法管理実務」「作業療法管理実務」が新設されたので、兼任講師2名を新たに配置した。
・指定規則の改正により、「理学療法管理実務」「作業療法管理実務」が新設されたので、兼任講師2名を新たに配置した。
・ 地境系医学の基礎的な知識である聴器の構造と機能(生理)について、専門の医師による講義行うことが教育効果が高いので、兼任講師1名を新たに配置した。
・ 兼任講師が都合により辞退したため、「画像診断学」の兼任講師を新たに配置した。
・ 進程講師が都合により辞退したため、「画像診断学」の兼任講師を新たに配置した。
・ 理学療法士・作業療法土指定規則の変更に伴い選択科目であった「臨床栄養学」「臨床薬理学」「画像診断学」「救急管理実習」が選択必修となり、理学療法学専攻、作業療法学専攻の全負(100名程度)が受講する事になり、1クラス40名以下の講義にするため3クラスで行う必要があり「臨床栄養学」「臨床薬理学」を担当する兼任講師の開講回数を1回一3回、「画像診断学」を担当する兼任講師の開講回数を2回一3回にそれぞれ変更した。
・ 「作業法評価実習 I (精神・認知系)」の科目について、70名2年度の授業については准教授1名で実施する予定でしたが、より教育効果を上げるため、令和3年度就任予定の准教授を兼任講師として配置し、教員2名の共同で授業を実施した。
・ 「企業論」について、理学療法学専攻単独で同時に40名を超える授業科目として1クラスで行う授業としていたが、兼任講師より2クラスの授業が可能ということもあり、教育効果を考えて2クラスに分けて授業を実施した。

【令和3年度】

教員の補充を必要とされた授業科目「運動器障害理学療法実習」について、令和2年度のAC教員審査にて「可」の判定を受けた教授に対して同科目を 附帯事項におい 追加した。

- 追加した。
 ・作業療法学専攻では精神科領域で、より専門性の高い授業内容とするため、5名のオムニバス方式にて、各講師の専門性を踏まえて分担し、精神科作業療法の対象者に適切な対応ができる、より教育効果の高い授業を行うことができる。
 ・「臨床心理学」「言語学」「小児科学」「企業広報活動論」「救急管理実習」「嚥下障害学実習」「発声発語・嚥下障害評価実習」「言語聴覚療法技術実習Ⅳ(発声発語・嚥下障害)」「会計学総論」「広告論」において、兼任講師都合により辞退したため、新たに兼任講師を配置した。
 ・申請時は理学療法学車攻単独で同時に40名を起える授業科目として1クラスで行う授業としておりました利目である企業論を、当初兼任講師により令和2年度開港時に教育効果を考えて2クラスに分けて授業を行ったが、首都圏から往来をすることで過度の負担が生じることになったため、令和3年度より近隣在住の兼任講師と変更をした。
 ・「臨床薬理学」について、兼任講師の逝去の為新に未任講師を配置した。
 ・「起床薬理学」について、兼任講師の逝去の為新に未任講師を配置した。
 ・「起来論」について、兼任講師の北岳の為新に未任講師を配置した。
 ・「起来論」について、兼任講師の北岳の為辞との場合によりすべての授業を実施することができないため、新たに兼任講師を1名配置しオムニバス方式で授業を実施する。

- 授業を実施する

授業を実施する。 臨床神経学の表 専任教員 濱田 和範(准教授)の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている。現在、当該教員は「後縦靱帯骨化症(分節型)」により顕椎〜胸 椎〜腰椎の広範囲にわたり脊柱管が狭窄され、その結果、脊髄が圧迫され上下肢の運動や感覚に麻痺を来している。令和元年4月には顕椎固定の手術も受けているが、その 後も段階的に症状は増悪してきており物を持つことや歩行などの日常生活動作にも支障を来している。今後の授業において、学生に不利益を来さず、教育の質を担保するために令和3年6月のAC教員審査を受けた結果、令和3年9月(後期)より、専任教員 岩崎 洋(准教授)を採用し授業科目を担当させることとなった。

【令和4年度】

- 「心理学」について兼任講師2名で授業を行っていたが、1名辞退の為兼任講師1名で授業を実施した。 「医学英語」「画像診断学」「臨床薬理学」「特別支援教育論」「チーム連携論」について、兼任講師が辞退したため新たに兼任講師を配置した。 「ロボット技術活用論」について、兼任講師1名での開講であったが、本務の都合により全ての授業を実施することができないため、新たに兼任講師を1名配置した。
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。AC教員審査を受けずに事任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

5 教員組織の状況

<リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻>

(1)一① 担当教員表

【認7	可時又	は届出時】	[令	和元年	度】		【令和	02年	度】	【令和	13年	度】	【令	和4年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	3	専任・ 検担・ 使任 D別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		小嶋 裕 (69) <平成31年4月> 博士 (介護福祉・ ケアマネジメント学)			小嶋 裕 (69) <平成31年4月> 博士 (介護福祉・ ケアマネジメント学)				小嶋 裕 (70) <平成31年4月> 博士 (介護福祉・ ケアマネジメント学)			小嶋 裕 (71) 〈平成31年4月〉 博士 (介護福祉・ ケアマネジメント学)			小嶋 裕 (72) <平成31年4月> 博士 (介護福祉・ ケアマネジメント学)
専	教授	リハビリテーション概論 理学域是大概論 地域学療法学 ペルスガンモーション演習 理学療法地域支援 理学療法総合演習 理学療法総合演習回	専	教授	リハビリテーション機論 理学療法機論 地域理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援署 理学療法地域支援署 理学療法総合演署Ⅲ		専	教授	リハビリテーション概論 理学成法概論 地域理学療法学 ベルスプロモニーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法地域支援室団 理学療法総合演習団	専	教授	リハビリテーション概論 理学療法概能 地域理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法地域支援実習 理学療法地会演習耳 理学療法総合演習耳	専	教授	リハビリモーション概論 理学療法概論 地域理学療法学 ヘルスプロセモーション演習 理学療法地域方置習 理学療法地域方置習 理学療法総合演習Ⅲ
		大倉 三洋 (700) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)			大倉 三洋 (70) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)				大倉 三洋 (711) <平成31年4月> 博士 (学術)			大倉 三洋 (72) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)			大倉 三洋 (73) <平成31年4月> 博士 (学術)
専	教授	地域教育等等 日報教育 日報教育 日報教育 日報教育 日報教育 日報教育 日報教育 日報教育	専	教授	地域を設定しています。 地域を発生を対しています。 リハビのは、対しています。 リルビのは、対しています。 リルビのは、対しています。 リルビのは、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対していまする。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、対しています。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		専	教授	地域開催 (中央 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1	専	教授	地域を対しています。 地域を対しています。 地域を対しています。 地域を対しています。 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 単位のでは、 を、 単位のでは、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を	専	教授	地域到科学 學事科學學 學事科學學 學學 學學 學學 學 學 學 學 學 學 學 學
		山崎 裕司 (55) <平成31年4月> 博士(医学)			山崎 裕司 (55) <平成31年4月> 博士(医学)				山崎 裕司 (56) <平成31年4月> 博士(医学)			山崎 裕司 (57) <平成31年4月> 博士(医学)			山崎 裕司 (58) <平成31年4月> 博士(医学)
專	教授	地球连接	専	教授	地域探线上海的 理学报法通知 中 不		専	教授	地球连接 经	専	教授	地球課法通過學 環學疾運動學 東 工運動學 工運動學 工工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工	専	教授	地域提出选项。 理学能进现的学家 理学能是通知学家 国际主义 国际主义 国际主义 国际主义 国际主义 国际主义 国际主义 国际主义
		柳澤 健 (71) <平成32年4月> 博士(医学)			柳澤 健 (71) 〈平成32年4月〉 博士 (医学)				柳澤 健 (71) <平成32年4月> 博士(医学)			柳遷 健 (72) <平成32年4月> 博士 (医学)			柳澤 健 (73) <平成32年4月> 博士 (医学)
専	教授	地域課題研究 II 運動療法学 実習 理動療法学 実習 理學療法技術 実習 II (神経筋促通手技) ※ 理學療法臨床 実習 II 理學療法臨床 実習 II 理學療法臨床 実習 II 理學療法臨床 実習 II 理學療法	専	教授	地域課題研究 I 運動療法学 実習 運動療法学実習 理学療法技術荣習 II (神経筋促通 手技) ※ 課学療法協床実習 I 理学療法協床実習 I 理学療法協床実習 I		専	教授	地域課題研究 II 運動療法学 運動療法学 実習 運動療法学 実習 理学療法技術 美習 I (神経筋促通手 技) ※ 理學療法臨床 東習 I 理學療法臨床 東習 I 理學療法臨床 東習 I 理學療法臨床 東習 I	専	教授	地域陰觀研究 I 連動療法学 字 運動療法学 实習 運動療法学 实習 運動療法学 表 運動療調等理学療法表 軍学療法技術 実習 I (神経筋促通手 技) ※ 理学療法協દ 來習 I 理学療法協床 來習 II 理学療法協床 來習 II	専	教授	地域課題研究 II 理動務法學 要 運動務法學 要 運動報學 實理学 被法 東晉 理学報法技術 東晉 II (神経筋促通手 提) ※ 理学報法技術 東晉 II 理学報法協議 東晉 II 理学療法協議 東晉 II
		宮川 哲夫 (65) 《平成33年4月》 博士 (医学)			宮川 哲夫 (65) 〈平成33年4月〉 博士 (医学)				宮川 哲夫 (65) 《平成33年4月》 博士 (医学)			宮川 哲夫 (65) 〈平成33年4月〉 博士 (医学)			宮川 哲夫 (66) 〈平成33年4月〉 博士(医学)
専	教授	地的學家工 地的學療法集習》 理學來 理學來 理學學療法 理學學療法 理學學療法 與理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是理學學療法 是是理學學療法 是是理學學療法 是是理學學療法 是是理學學療法 是是是理學學 是是是是是一個學學學 是是是一個學學學 是是是一個學學學 是是是一個學學學 是是是一個學學學 是是是一個學學學 是是一個學學學 是是一個學學學 是是一個學學學 是是一個學學學 是是一個學學學 是是一個學學學 是是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學學 是一個學 是一個學 是一個學 是一個學 是一個學 是一個學 是一個學 是一個學 是一個學 是一個學 是一個學 是一個學 是一個學 是一一 是一一 是一一 是一一 是一一 是一一 是一一 是一	専	教授	地域課題研究 II 内部師書理学療法実習 ※ 理学療法施食実習 I 理学療法施食実習 I 理学療法施食業習 II 理学療法地域支援実習 II 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習		専	教授	地內部東京 II 內部學療法集實 II 理理學療法案 II 理理學學療法與 II 理理學學療法與 II 理理學學療法地域學 II 理理學學療法地域學 II II II II II II II II	專	教授	地域課書理學療法李智※ 理學療法施定來書 I 理學療法施定來書 I 理學療法施定來書 I 理學療法施定來書 I 理學療法地域來享 I 理學療法地域來支援來 反 用理學療法地域交換	専	教授	地域課題研究 II 内部部書等学教法案習※ 理学教法庭庆業習 I 理学教法庭庆業習 I 理学教法庭庆業習 II 理学教法地域支援实置 II 理学教法地域支援实置 II 尼用程学教法学演習
		片山 訓博 (47) 《平成31年4月》 博士 (学術)			片山 訓博 (47) (平成31年4月) 博士 (学術)				片山 訓博 (48) 《平成31年4月》 博士 (学術)			片山 訓博 (49) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)			片山 別博 (50) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)
専	准教授	地域與實際	専	准教授	地域經過研究 I 地域線過程的		專	准教授	地域與東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	専	准教授	地域開發形型. I 地域開發形型 I 地域開發的 I 地域開發的 I 地域開發的 I 地域開發的 I 地域中使成功 I 地域中使成功 I 地域中使成功 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域中的 I 地域 I 地域 I 地域 I 地域 I 地域 I 地域 I 地域 I 地	専	准教持	地拉提展研究 I 地名美国 I 电子电流 经股份
		明崎 禎輝 (39) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)			明崎 禎輝 (39) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)				明崎 禎輝 (40) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)			明崎 禎輝 (41) 〈平成31年4月〉 博士(学術)			明崎 禎輝 (42) 《平成31年4月》 博士 (学術)
専	准教授	地域顕極研究 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	専	准教授	地域課題研究 I 理学療法 2		專	准教授	地域課題研究I I 理学能法となるナーI (PBL) 理学能法をなるナーI (PBL) 理学格法法定来習 I 理学格法法定来習 I 理学格法法定来習 I 理学格法法定来 I 理学格法英定 I 理学格法英定 I 理学格法英定 I 理学格法英定 I 理学格法英原 I 理学格法 I I E I I I I I I I I I I I I I I I I	専	准教授	地域課題研究 I 明学確选社 2 十一 II (PBL) 理学確选 2 第 2 1 明学確选 2 第 2 1 明学 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	專	准教持	地域課題研究 I 理等應法 地 2 十一 I (PBL) 理等應法 測定來書 I 理等應法 測定來書 I 理等應法 測定來書 I 理等應法 測定來書 I 理等應法 測定來書 I 理等應法 随來來書 I 理等應法 随來來書 I 理等節法 随來來書 I 理等節法 地域文學

]時又	は届出時】		和元年	度】		1和2	2年	度】			13年	度】			04年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		戦名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	3	専任・ 検担・ 検任 D別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	任・ 担任 別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		濱田 和範 (62) 《平成31年4月》 各種学校卒			濱田 和範 (62) 〈平成31年4月〉 各種学校卒				濱田 和範 (63) 《平成31年4月》 各種学校卒				濱田 和範 (64) 〈平成31年4月〉 各種学校卒				濱田 和範 (65) 〈平成31年4月〉 各種学校卒
実専	准教授	地域接繼報等 與	実専	准教授	地域課法報告 等等 等等 等等 等等 等等 等等 等 等 等 等 等	実ュ	写 准	教授	地域課題研究 II 理學依法報演習 實際 理學學依法報演習 實習 II 理學學依法與來來習習 II 理學學依此與來來不過與來來不過 II 理理學依此與來來不過 II 理理學依此地域東文 E II 理理學依此地域東文 E II 原理學學依此地域美濟習 II 原理學學依然 II 原理學學		実専	准教授	地球提出研究 I 理學療法所謂 電報學療法所謂 電報學療法所謂 國際 国 国理学療法所謂 图 国 国理学療法所求 医 图 I 理學學療法所求 医 图 I 理學學療法 使发生 医 医 E 国 E 国 E 国 E 国 E 国 E 国 E 国 E 国 E 国	3	実専	准教授	地域提出研究 II 理學療法與治療 實際 實際 理學療法與 實際 理學療法與 理學療法與 理學療法與 理學療法與 理學療法 理學療法 與 理學療法 與 更 理 學 療 法 與 更 要 要 理 理 學 療 法 與 表 要 要 要 理 理 學 療 法
		稲岡 忠勝 (48) <平成31年4月> 社会学士			稲岡 忠勝 (48) <平成31年4月> 社会学士				稲岡 忠勝 (49) <平成31年4月> 社会学士				稲岡 忠勝 (50) <平成31年4月> 社会学士				稲岡 忠勝 (51) <平成31年4月> 社会学士
実専	准教授	地域課題學字表子面 (PBL) 理動學理學主义子面 (PBL) 理理學學法之更完美書面 I 理學學法法更完美書面 I 理學學法法與其美術學 理學學法法與其美術學 理學學法法 經域文學 原理學學 所用學會 是一個 原理學學 原理學學 原理學學 原理學 原理學 原理學 原理學 原理學 原理學	実専	准教授	地域學學與 建動生態學學 建動生態學學 建動生態是 主動生態是 主動生態是 主動生態是 主動生態是 主動生態是 主動生態是 主動生態是 主動生態。 主動生態是 主動生態。 主動生態。 主動生態。 主動生態。 主動生態。 主動生態。 主動性 主動性 主動性 主動性 主動性 主動性 主動性 主動性	実	写 准	教授	地域課題研究実習 運動生理学表大声 I (PBL) 理學學教法 理學學教法 理學學教法 理學學教法 理學學教法 理學學教 理學學教		実専	准教授	地域課題研究 I (PBL) 運動生態決定 天 I (PBL) 運動生態決定 天 I (PBL) 理學學療法也 定美 天 I I 理學學療法也 定美 天 I I 理學學療法施度 天 I I 理學學療法施度 天 I I 理學學療法施度 天 I I 理學傳述 I I 理學傳述 I I 理學傳述 I I	3	実専	准教授	地域課題研究 II (PBL) 建勤生保护 (PBL) 建勤生保护 (PBL) 国现货单 (PBL) 国现货单 (PBL) 国现货单 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国际 (PBL) 国
													岩崎 洋 (64) <令和3年9月> 経営学士				当時 洋 (65) <全和3年8月> 極営学士
											喪事	准敬授	総技能具字演習 理学療法施床実習 I 理学療法施床実習 I 理学療法施床実習 I 理学療法施床実習 I 理学療法施決受置 応用理学療法学演習 応用理学療法学演習	 	R.W.	准备报	施胶能具学读者 理学查法施定类者 I 理学查法施定类者 I 理学查法施定类者 II 等等理学查法类者 原学查法单次连接者 5月理学查法学读者 5月理学查法学读者
		宮崎 登美子 (45) <平成31年4月> 学士(社会学)			宮崎 登美子 (45) 〈平成31年4月〉 学士 (社会学)				宮崎 登美子 (46) <平成31年4月> 学士 (社会学)				宮崎 登美子 (47) <平成31年4月> 学士(社会学)				宮崎 登美子 (48) 〈平成31年4月〉 学士(社会学)
実専	anau	地域器展研究II (PBL) 理学施士セミナー I (PBL) 理学施士日東生活活命学来習 臨床理学療法技法演習 (PBL) 理学学法施床承習 I 理学学法施床来習 I 理学学法施床来習 I 理学学法施床来習 I 理学学法施床来習 I 理学学法施床来習 I 理学学法施床来習 I 理学学法施味支援来	実専	請師	地域羅蘭研究 I 用字確決地 2 大一 I (PBL) 理字確決地 2 大一 I (PBL) 理字確決 1 元 7 元 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元	実	¥ 18	900	地域課題研究II [PBL) 理字能生名于一 [PBL) 理字能生有实生活活動李書 臨床聯字能法技法漢習 (PBL) 理字能法抵床來習 II 理字能法抵床來習 II 理字能法地床來習 II 理字能法地域支援來習 配用理字能法学漢習		実専	講師	地域課題研究 II 期学施生社 下 I (例1) 期学施生 中 I (例1) 期学施生 中 在 II 而 P 本 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E T 和 E	3	実専	講師	地域課題研究 II 期学施法社会 T - I (PRL) 期学施法社会 T - I (PRL) 期学施法日本法活動学美習 臨床理学施法技法滿習 (PRL) 理学施法施定来習 II 理学施法施定来習 II 理学施法施定来留 II 理学施法施定素留 II 现字统法地域支援来留 C 用理学施法学 医 II 现实
		田頭 勝之 (59) <平成32年4月> 博士(医療福祉学)			田頭 勝之 (58) 〈平成31年4月〉 博士(医療福祉学)				田頭 勝之 (59) 〈平成31年4月〉 博士(医療福祉学)				田頭 勝之 (60) 〈平成31年4月〉 博士(医療福祉学)				田頭 勝之 (61) <平成31年4月> 博士 (医療福祉学)
実 (研)	教授	地域經歷管理学 經學推決管理学 在上海環境 生活環境 等 生活環境 等	実 (研)	教授	地域課选法管理学 程子疾期等空中依法実置 生活環境支援學等法実置 理学療法臨床支置 理學療法臨床支置 理學療法臨床支置 理學療法臨床支置 理學療法臨床支置 理學療法臨床支援 可 理學療法施成支援 可 可 理學療法施成支援 可 可 理學療法施成 更 可 理學療法施成 更 可 理 理 學 理 是 可 理 是 可 理 是 可 理 是 可 理 是 可 理 是 可 是 是 可 是 是 可 是 是 是 可 是 是 是 是	実 (社	书) 劉	交授	地域接越停完 II 理学依法恢复	FILE	実 (研)	教授	地域課起研究 I 程字在開譯等字像法 美習 生活環學子療法 美習 生活環境 接環學療法 美習 理學療法協議 英美習 I 理學療法協議 英美習 I 理學療法協議 英美習 I 理學療法協議 英美習 I 理學療法協議 英美習 I 理學療法協議 英美習 I 理學療法 提供 型 英 理學療法 是 可 理學療法 是 可 理學療法 I 工 可 理學療法 I 工 可 理學療法 I 工 可 工 可 理學療法 I 工 可 工 可 工 可 工 可 工 可 工 可 工 可 工 可 工 可 工 可	*	(概)	教授	地域探查法管理学療法,実置 程多年期牌等更學療法,実置 生活環境支援理學管工 程学療法施施疾,実置 理學學療法施施疾,要置 II 理學學療法施地域支援 理學學療法極地域支援 理學學療法學療置 II 理學學療法學療養 可理學學療法學療養 可理學學療法學療養 可理學學療法學療養 可理學學療法學療養 可理學學療法學療養
		重島 晃史 (42) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)			重島 晃史 (42) <平成31年4月> 博士 (学術)				重島 晃史 (43) 《平成31年4月》 博士 (学術)				重島 晃史 (44) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)				重島 晃史 (45) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)
実 (研)	准教授	地域課題研究 I 地域課題研究 I 基準數學 第一 基準數學 第一 基準數學 第一 基準數學 第一 基準數學 第一 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準數學 基準學 基準學 基準數學 第一 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基準學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基華學 基 基 基 基 基 基 基 基 基	実(研)	准教授	地域課題研究 I 地域課題研究 I 地域課題学	爽(转	*) 准	教授	地域整語研究 I 地域整語研究 I 地域整理教学 安留 運動學 使用于安全 運動學 使用于安全 医原理学 使出来 安全 理学學 法指决第四 理学學 法指决第四 理学學 法指决第四 理學學 法指决第四 理學學 法指决 英国 理學學 法指决 英国 理學學 法指决 英国 理學學 法指决 英国 原理學 法 建 英國 原理學 是 英國 原理學 是 新國 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一個 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一 原理學 是 一	3	実 (研)	准教授	地域建設銀行交互 基準等的 基準等 基準等 基準等 基準等 基準等 基準等 基準等 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準	*	(要)	准教授	地域程程研究 I 基準的
		清岡 学 (58) 〈平成31年4月> 修士(心身健康科学)			清岡 学 (58) <平成31年4月> 修士(心身健康科学)				清岡 学 (59) <平成31年4月> 修士(心身健康科学)				清岡 学 (60) <平成31年4月> 修士(心身健康科学)				清岡 学 (61) <平成31年4月> 修士(心身健康科学)
実 (研)		地域語籍 有效 地域語籍 有效 地域語 有效 地域學的 企作 和 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作 工作	実 (研)	講師	地域課法與 排字 排字 排字 排列 排字 排列 排列 排列 排列 排列 排列 排列 排列 排列 排列	実 (モ	F) (2)		地球逐基研究 II 理学统法根据	3	実 (研)	講師	地域課題研究 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	*	(₩)	講師	地域課題研究 II 理学療法機能

]時又	は届出時】		和元年	度】		02年	度】			日3年	度】		114年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏. 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	莱莱	p在· p担· p在 O別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	-		担当授業科目名			担当授業科目名	╽╞			担当授業科目名			担当授業科目名
		柏 智之 (40) <平成31年4月> 修士 (学術) ※			柏 智之 (40) <平成31年4月> 修士 (学術) ※			柏智之(41) <平成31年4月> 修士(学術) ※				柏 智之 (42) <平成31年4月> 修士 (学術) ※			柏 智之 (43) <平成31年4月> 修士(学術) ※
実 (研)	助教	地域疑疑研究 II 程字接及连勒学演習 理字接及性 5 ナー I (PBL) 理字接及核查 英语 II 理字接及核查 英语 II 理字接及接接 J II 理字接及抽床 英語 II 理字接及抽床 英語 II 理字接及抽床 英語 II 理字接及地域 S II II II II II II II II II II II II II	実(研)	助教	地域課題研究 II 理学療法法運動等演習 理学療法と3 十一 I (PBL) 理学療法と3 十一 I (PBL) 理学療法後養養習 I 理学療法後養養習 I 理学療法法法漢習 I 四学療法法法漢書 I 理学療法法法漢書 I 理学療法法法漢等 I 用学療法語法等養 I I 理学療法法法決養 I 医学療法法法决害 I 用学療法法法法學 I C 用理学療法法法之漢	実 (研)	助教	地域課題研究用 理学療法也ます。 理学療法也ます。 理学療法性を養実言 国際學療法性養実言 国施兵理学療法療法 選学療法療法 選学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程学療法療 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程	3	味 (研)	助教	地域課題研究工程等使法定的學演習 理学使法生之十三 (PBL) 理学使法性含美麗 理学使法性含美麗 國族理學是法性含美麗 國族理學是法院 理学使法性法演習 理学使法性法演習 理学學是法院 與學學是 理學學是 是 理學學是 是 是 理學學是 是 是 是 是 是 是 是 是	実 (研)	助教	地域課題研究工 理学療法生ま十三 [PBL) 理学療法生ま十三 [PBL) 理学療法性養美質冒 選学療法檢查美質冒 選手療法技法演習 理学療法技法演習 理学療法技法演習 理学療法技法演習 理学療法技法演習 理学療法技術英美習 理学療法技術英美習 理學療法技術英美
兼担	教授	高野 康夫 (69) <平成31年4月> 保健学博士	兼担	教授	高野 康夫 (69) <平成31年4月> 保健学博士	兼担	教授	高野 康夫 (70) <平成31年4月> 保健学博士		兼担	教授	高野 康夫 (71) 《平成31年4月》 保健学博士	兼担	教授	高野 康夫 (72) <平成31年4月> 保健学博士
		解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 II (内臓・脈管系) 解剖学 II (骨格系) 解剖学 IV (筋系)			解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 II (内臓・脈管系) 解剖学II (骨格系) 解剖学IV (筋系)			解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 II (内臓・脈管系) 解剖学 II (骨格系) 解剖学 IV (筋系)				解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 II (内臓・脈管系) 解剖学 II (骨格系) 解剖学 IV (筋系)			解剖学 I (総論・神経系) 解剖学 II (内臓・脈管系) 解剖学 II (青格系) 解剖学 IV (筋系)
兼担	教授	辻 博明 (71) <平成31年4月> 博士 (工学)	兼担	教授	辻 博明 (711) <平成31年4月> 博士 (工学)	兼担	教授	辻 博明 (72) <平成31年4月> 博士 (工学)		兼担	教授	辻 博明 (73) <平成31年4月> 博士 (工学)	兼担	教授	辻 博明 (74) <平成31年4月> 博士 (工学)
		地域課題研究Ⅱ 健康科学 生涯スポーツ論			地域課題研究Ⅱ 健康科学 生涯スポーツ論			地域課題研究 II 健康科学 生涯スポーツ論				地域課題研究Ⅱ 健康科学 生涯スポーツ論			地域課題研究 II 健康科学 生涯スポーツ論
兼担	教授	竹島 卓 (71) <平成31年4月> 博士 (学術)	兼担	教授	竹島 卓 (71) <平成31年4月> 博士(学術)	兼担	教授	竹島 卓 (72) <平成31年4月> 博士(学術)		兼担	教授	竹島 卓 (73) <平成31年4月> 博士(学術)	兼担	教授	竹島 卓 (74) <平成31年4月> 博士(学術)
		情報処理演習 I 情報処理演習 I データ分析論			情報処理演習 I 情報処理演習 I データ分析論			情報処理演習 I 情報処理演習 I データ分析論				情報処理演習 I 情報処理演習 I データ分析論			情報処理演習 I 情報処理演習 I データ分析論
兼担	教授	武内 和弘 (72) <平成31年4月> 歯学博士 地域課題研究Ⅱ	兼担	教授	飲内 和弘 (72) <平成31年4月> 歯学博士 地域課題研究Ⅱ	兼担	教授	武内 和弘 (73) <平成31年4月 > 歯学博士		兼担	教授	飲内 和弘 (74) <平成31年4月> 歯学博士 地域課題研究Ⅱ	兼担	教授	武内 和弘 (75) <平成31年4月> 歯学博士 地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	五井 健 (65) <平成31年4月> 博士 (学術) 英語 I	兼担	教授	玉井 健 (65) <平成31年4月> 博士 (学術) 英語 I 英語 I	兼担	教授	五井 健 (66) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) 英語 I		兼担	教授	玉井 健 (67) 《平成31年4月》 [博士 (学術) 英語 I	兼担	教授	五井 健 (68) <平成31年4月> 博士 (学術) 英語 I
兼担	教授	相澤 徹 (56) < 平成32年4月 > 博士 (医学) 運動機能学奏習	兼担	教授	相遷 徹 (56) <平成32年4月> 博士 (医学) 運動機能学実習	兼担	教授	相遷 撤 (56) 《平成32年4月》 博士 (医学) 運動機能学卖習		兼担	教授	相遷 徹 (57) < 平成32年4月 > 博士 (医学) 運動機能学卖習	兼担	教授	相澤 徹 (58) <平成32年4月> 博士(医学) 運動機能学表習
兼担	准教授	整形外科学 石川 裕治 (57) < 平成31年4月 > 社会学士	兼担	准教授	整形外科学 石川 裕治 (57) <平成31年4月> 社会学士	兼担	准教授	整形外科学 石川 裕治 (58) <平成31年4月> 社会学士	-	兼担	准教授	整形外科学 石川 裕治 (59) <平成31年4月> 社会学士	兼担	准教授	整形外科学 石川 裕治 (60) <平成31年4月> 社会学士
		地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論			地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論			地域課題研究 II コミュニケーション論				地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論			地域課題研究 II コミュニケーション論
兼担	准教授	稲田 動 (56) 〈平成31年4月〉 修士(教育学) ※ 地域課題研究Ⅱ	兼担	准教授	福田 勤 (56) < 平成31年4月 > 修士 (教育学) ※ 地域課題研究 II	兼担	准教授	稲田 勤 (57) <平成31年4月 > 修士(数育学) ※ 地域課題研究II		兼担	准教授	稲田 勤 (58) < 平成31年4月 > 修士(教育学) ※ 地域課題研究 I	兼担	准教授	稲田 勤 (59) <平成31年4月 > 修士 (教育学) ※ 地域課題研究 II
兼担	准教授	足立 — (50) <平成33年4月> 修士 (学術) ※ 地域課題研究Ⅱ	兼担	准教授	足立 一 (50) <平成33年4月> 修士(学術) ※ 地域課題研究Ⅱ	兼担	准教授	足立 一 (50) <平成33年4月> 修士(学術) ※ 地域課題研究II		兼担	准教授	足立 — (50) 〈平成33年4月〉 修士 (学術) ※ 地域課題研究I	兼担	准教授	足立 一 (51) 〈平成33年4月〉 修士(学術) ※ 地域課題研究II
兼担	講師	平松 真奈美 (56) 《平成31年4月》 修士(社会福祉学)	兼担	講師	平松 真奈美 (56) 〈平成31年4月〉 修士(社会福祉学)	兼担	講師	平松 真奈美 (57) 〈平成31年4月〉 修士(社会福祉学)		兼担	講師	平松 真奈美 (58) 〈平成31年4月〉 修士(社会福祉学)	兼担	講師	平松 真奈美 (59) 〈平成31年4月〉 修士(社会福祉学)
兼担	講師	地域課題研究 I 大塚 貴英 (51) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	兼担	講師	地域課題研究 II	兼担	講師	地域課題研究II 大塚 貴英 (52) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)		兼担	講師	地域課題研究II	兼担	講師	地域課題研究 II 大塚 貴英 (54) < 平成31年4月 > 修士(社会福祉学)
兼担	講師	地域課題研究 I 篠田 かおり (43) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼担	講師	地域課題研究 I	兼担	講師	地域課題研究II		兼担	講師	地域課題研究II	兼担	講師	地域課題研究 II
兼担	講師	地域課題研究 I 光内 梨佐 (39) <平成31年4月> 修士(医科学)	兼担	講師	地域課題研究 I 光内 製佐 (39) <平成31年4月> 修士(医科学)	兼担	講師	地域課題研究 II 光内 製佐 (40) <平成31年4月> 修士 (医科学)		兼担	講師	地域課題研究II 光内 梨佐 (41) <平成31年4月> 修士 (医科学)	兼担	講師	地域課題研究 II 光内 製佐 (42) <平成31年4月> 修士(医科学)
兼担	講師	地域課題研究 II 高地 正音 (48) 〈平成31年4月〉 修士 (工学)	兼担	講師	地域課題研究 II 高地 正音 (48) <平成31年4月> 修士 (工学)	兼担	講師	地域課題研究 II 高地 正音 (49) <平成31年4月 > 修士 (工学)		兼担	講師	地域課題研究II 高地 正音 (50) <平成31年4月> 修士(工学)	兼担	講師	地域課題研究 II 高地 正音 (51) 〈平成31年4月〉 修士 (工学)
		情報処理演習 I 情報処理演習 I			情報処理演習 I 情報処理演習 II			情報処理演習 I 情報処理演習 I				情報処理演習 I 情報処理演習 I			情報処理演習 I 情報処理演習 I
兼担	助教	石元 美知子 (63) 〈平成31年4月〉 修士 (文学) 地域課題研究 II	兼担	助教	石元 美知子 (63) 〈平成31年4月〉 修士 (文学) 地域課題研究 II	兼担	助教	石元 美知子 (64) 〈平成31年4月〉 修士 (文学) 地域課題研究II		兼担	助教	石元 美知子 (65) 〈平成31年4月〉 修士 (文学) 地域課題研究II	兼担	助教	石元 美知子 (66) 〈平成31年4月〉 修士 (文学) 地域課題研究 II

可時又	は届出時】		和元年	度】		02年	度】			度】		和4年	度】
職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 表任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	 		担当授業科目名
助教	<平成31年4月> 修士(医科学)	兼担	助教	<平成31年4月> 修士(医科学)	兼担	助教	有光 —樹 (45) <平成31年4月> 修士(医科学)	兼	担 助教	<平成31年4月> 修士 (医科学)	兼担	助教	有光 一樹 (47) 〈平成31年4月〉 修士(医科学)
	地域課題研究Ⅱ 機能代償支援理学療法実習※			地域課題研究Ⅱ 機能代償支援理学療法実習※			地域課題研究Ⅱ 機能代償支援理学療法実習※			地域課題研究Ⅱ 機能代償支援理学療法実習※			地域課題研究Ⅱ 機能代價支援理学療法実習※
准教授	辻 美和 (43) 《平成31年4月》 博士 (学術)	兼担	准教授	博士 (子僧)	兼担	准教授	辻 美和 (44) <平成31年4月> 博士(学術)	茶	担 准教授	辻 美和 (45) <平成31年4月> 博士(学術)	兼担	准教授	辻 美和 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)
講師	吉村 知佐子 (40) <平成31年4月> 修士(医科学)	兼担	講師	地域課題研究 II	兼担	講師	地域課題研究 II	兼	担 講師	地域課題研究 I	兼担	講師	地域課題研究 II 吉村 知佐子 〈平成31年4月〉 修士 (版料学) 地域課題研究 II
講師	中野 良哉 (46) 〈平成31年4月〉 修士 (人間環境学・学校教育学) 心理学 人間発達学 修由公理学	兼任	講師	中野 良哉 (46) (46) (平成31年4月> 修士 (人間環境学・学校教育学) 心理学 人間発達学 飲また4回学	兼任	講師	中野 良哉 (47) (平成31年4月> 修士 (人間環境学・学校教育学) 心理学 人間発達学 修士之語学	兼	王 講師	中野 良哉 (名間) (マ原成3年4月> 修士 (人間環境学・学校教育学) 心理学 人間発達学 版性な必要や	兼任	講師	中野 良哉 (49) 《平成31年4月> 修士 (人間環境学・学校教育学) 心理学 人間発達学 協床心理学
講師	宮地 由美子 (66) 〈平成31年4月〉 社会学士	兼任	講師	宮地 由美子 (66) 〈平成31年4月〉 社会学士	兼任	講師	宮地 由美子 (67) (平成31年4月) 社会学士	兼	圧 講師	宮地 由美子 (68) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78)	-		類体心理子
											兼任	講師	中野 良養 (40) 《中和4年4月》 修士 (人間環境学・学校教育学) 心理学
講師	松原 和廣 (7/2) 《平成31年4月》 法学士 教育学												
		兼任	講師	#開 博志 (62) <平成31年4月> 文学士	兼任	鉄師	谷岡 博志 (63) 〈平成31年4月〉 文学士 教育学	*	注 跳師	参問 博志 (64) 《平成31年4月》 文学士 教育学	兼任	鉄師	#
講師	五里 恵美子 (53) <平成31年4月> 博士 (社会学) 社会学	兼任	講師	玉里 恵美子 (53) <平成31年4月> 博士(社会学) 社会学	兼任	講師	五里 恵美子 (54) 《平成31年4月》 博士(社会学) 社会学	兼	任 講師	王里 恵美子 (55) 《平成31年4月》 博士 (社会学) 社会学	兼任	講師	玉里 恵美子 (56) <平成31年4月> 博士 (社会学) 社会学
講師	岡林 正幸 (66) <平成31年4月> 展学士 生物学 物理学	兼任	講師	岡林 正幸 (67) <平成31年4月> 農学士 生物学 物理学	兼任	講師	関林 正幸 (68) <平成31年4月> 農学士 生物学 物理学	兼	圧 講師	関林 正幸 (69) <平成31年4月> 農学士 生物学	兼任	講師	岡林 正幸 (70) (平成31年4月 > 農学士 生物学 物理学
講師	神家 一成 (66) 〈平成31年4月〉 体育学士 健康とスポーツ	兼任	講師	神家 一成 (66) <平成31年4月> 体育学士 健康とスポーツ	兼任	講師	神家 一成 (67) 〈平成31年4月〉 体育学士 健康とスポーツ	兼	圧 講師	神家 一成 (68) <平成31年4月> 体育学士 健康とスポーツ	兼任	講師	神家 一成 (69) <平成31年4月> 体育学士 健康とスポーツ
講師	矢野 宏光 (51) 〈平成31年4月〉 博士(心理学) 健康とスポーツ スポーツ心理学	兼任	講師	矢野 宏光 (51) <平成31年4月> 博士 (心理学) 健康とスポーツ スポーツ心理学	兼任	講師	矢野 宏光 (52) 〈平成31年4月〉 博士(心理学) 健康とスポーツ スポーツ心理学	兼	圧 講師	矢野 宏光 (53) <平成31年4月> 博士 (心理学) 健康とスポーツ スポーツ心理学	兼任	講師	矢野 宏光 (54) <平成31年4月> 博士 (心理学) 健康とスポーツ スポーツの理学
講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine (51) 〈平成31年4月〉 修士 (言語学)	兼任	講師	ショーン・パーゴイン Sean Burgoine (51) (平成31年4月> 修士 (言語学)	兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine (652) <平成31年4月> 修士 (言語学)	兼	圧 講師	ショーン・パーゴイン Sean Burgoine (653) 〈平成31年4月> 修士 (言語学) 英会話	兼任	講師	ショーン・パーゴイン Sean Burgoine (543) <平成31年4月> 修士 (言語学) 英会話
講師	前田 正也 (61) 《平成31年4月》 法学士 中国語	兼任	講師	前田 正也 (61) <平成31年4月> 法学士	兼任	講師	前田 正也 (62) <平成31年4月> 法学士 中国語	兼	圧 講師	前田 正也 (63) 〈平成31年4月〉 法学士	兼任	講師	前田 正也 (64) (平成31年4月> 法学士
講師	田口 尚弘 (66) < 平成31年4月> 理学博士 解剖学 I(総論・神経系)	兼任	講師	田口 尚弘 (66) 《平成31年4月》 理学博士 解剖学 I (由語・解析を)	兼任	講師	田口 尚弘 (67) 《平成31年4月》 理学博士 解剖学 I (始龄 - 神経系) 参創学 I (古龄 - 原統系)	兼	圧 講師	田口 尚弘 (68) 《平成31年4月》 理学博士 解剖学 I (松崎・崎崎安)	兼任	講師	田口 尚弘 (69) < 平成31年4月> 理学博士 解剖学 I (松陰・神経系) 参知学 I (杜陰・神経系)
講師	大迫 洋治 (46) <平成31年4月> 博士(歌医学)	兼任	講師	大迫 洋治 (46) <平成31年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	大迫 洋治 (47) 〈平成31年4月〉 博士(歌医学)	兼任	圧 講師	大迫 洋治 (48) <平成31年4月> 博士 (獣医学)	兼任	講師	解剖学 I (内臓・脈管系) 大迫 洋治 (49) <平成31年4月> 博士(獣医学) 生理学 I (動物性機能)
講師	椛 秀人 (68) <平成31年4月> 保健学博士、医学博士 農学博士 生理学 I (動物性機能)	兼任	講師	椛 秀人 (68) <平成31年4月> 保健学博士、医学博士 農学博士	兼任	講師	椛 秀人 (69) 〈平成31年4月〉 保健学博士 展学博士	兼	圧 講師	様 秀人 (70) <平成31年4月> 保健学博士、医学博士 農学博士	兼任	講師	椛 秀人 (71) <平成31年4月> 保健学博士、医学博士 農学博士
講師	生理学 I (植物性機能) 集谷 文乃 (59) <平成31年4月> 博士 (医学)	兼任	講師	生理学 I (植物性機能) 臭谷 文乃 (59) 《平成31年4月》 博士 (医学)	兼任	講師	生理学 I (総物性機能) 奥谷 文乃 (60) <平成31年4月> 博士 (医学)	兼	圧 講師	生理学 I (植物性機能) 奥谷 文乃 (61) <平成31年4月> 博士 (医学)	兼任	講師	生理学 I (動物性機能) 生理学 II (植物性機能) 奥谷 文乃 (62) <平成31年4月> 博士 (医学)
	生理学 I (動物性機能) 耳鼻咽喉科学			生理学 I (動物性機能) 耳鼻咽喉科学			生理学 I (動物性機能) 耳鼻咽喉科学			生理学 I (動物性機能) 耳鼻咽喉科学			生理学 I (動物性機能) 耳鼻咽喉科学
講師	矢吹 了一 (70) <平成31年4月> 社会学士 社会福祉概論	兼任	講師	矢吹 了一 (71) (平成31年4月> 社会学士 社会福祉概論	兼任	講師	矢吹 了一 (72) <平成31年4月> 社会等士	兼	圧 講師	矢吹 了一 (73) 《平成31年4月》 社会学士	兼任	講師	矢吹 了一 (74) <平成31年4月> 社会学士 社会福祉機論
	ji ji ji ji ji ji ji ji ji ji ji ji ji j	(本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	近年 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本	展		## 2	## 2	## 1	## 5 COUNTY 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per 10 Per	## 1	## 1	## 15	## 1

【認可]時又	は届出時】	【令	和元年	度】	【令和	02年	度】	[4	1和3年	度】	【令	114年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		三吉 史高 (66) <平成31年9月>			三吉 史高 (66) <平成31年9月>			三吉 史高 (67) <平成31年9月>		_	三吉 史高 (68) <平成31年9月>			三吉 史高 (69) <平成31年9月>
兼任	講師	マー成31年9月 / 工学士 数学	兼任	講師	マード 大学士 数学	兼任	講師	マー放31年9月 > 工学士 数学	兼任	王 講師	大平成31年9月> 工学士 数学	兼任	講師	マード (大学 大学 士学士 大学 士学士 大学 士学士 大学 士学士 大学 士学士 大学 本学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学
		藤原 憲一郎			蘇原 憲一郎 (69)			施原 憲一郎			数字 藤原 憲一郎 (71)			数字 藤原 憲一郎 (72)
兼任	講師	(69) <平成31年9月> 博士(工学)	兼任	講師	(69) <平成31年9月> 博士 (工学)	兼任	講師	(70) <平成31年9月> 博士(工学)	兼任	王 講師	(71) <平成31年9月> 博士(工学)	兼任	講師	(72) <平成31年9月> 博士 (工学)
		統計学			統計学			統計学			統計学			統計学
* / 7	an ar	甲藤 彰男 (69) <平成31年9月>	* /*	-mar	甲藤 彰男 (69) <平成31年9月>	#17	-mar	甲藤 彰男 (70) <平成31年9月>		T imar	甲藤 彰男 (71) <平成31年9月>	# /7	-mar	甲藤 彰男 (72) <平成31年9月>
兼任	講師	体育学士	兼任	講師	体育学士	兼任	講師	体育学士	兼任	王 講師	体育学士	兼任	講師	体育学士
		大塚 智子			大塚 智子			大塚 智子			大塚 智子			大塚 智子
兼任	講師	(46) <平成31年9月> 博士(獣医学)	兼任	講師	(46) <平成31年9月> 博士(獣医学)	兼任	講師	(47) <平成31年9月> 博士(獣医学)	兼任	王 講師	(48) <平成31年9月> 博士(獣医学)	兼任	講師	(49) <平成31年9月> 博士(獣医学)
		生理学Ⅱ (植物性機能)			生理学Ⅱ (植物性機能)			生理学Ⅱ (植物性機能)			生理学Ⅱ (植物性機能)			生理学Ⅱ (植物性機能)
** **	講師	田中 健二朗 (37) <平成31年9月>	***	-mar	田中 健二朗 (37) <平成31年9月>	***	-mar	田中 健二朗 (38) <平成31年9月>			田中 健二朗 (39) <平成31年9月>	***	SMAT	田中 健二朗 (40) <平成31年9月>
兼任		博士(医学) 生理学I(植物性機能)	兼任	講師	博士 (医学) 生理学 II (植物性機能)	兼任	講師	博士(医学) 生理学 I (植物性機能)	兼任	王 講師	博士(医学) 生理学I(植物性機能)	兼任	講師	博士 (医学) 生理学 II (植物性機能)
		吾妻 美子 (70)			吾妻 美子 (70)			吾妻 美子 (71)			吾妻 美子 (72)			吾妻 美子 (73)
兼任	講師	(70) <平成31年9月> 医学博士	兼任	講師	(70) <平成31年9月> 医学博士	兼任	講師	(71) <平成31年9月> 医学博士	兼任	王講師	(72) <平成31年9月> 医学博士	兼任	講師	(73) <平成31年9月> 医学博士
		医学概論 病理学			医学概論 病理学			医学概論 病理学			医学概論 病理学			医学概論 病理学
		新生子 鈴木 琴栄 (42)			約年 等栄 (42)			病性子 鈴木 琴栄 (42)			病性子 鈴木 琴栄 (43)			
兼任	講師	(42) <平成32年4月> 修士(音楽療法)	兼任	講師	(42) <平成32年4月> 修士(音楽療法)	兼任	講師	(42) <平成32年4月> 修士(音楽療法)	兼任	王 講師	(43) <平成32年4月> 修士(音楽療法)			
		医学英語			医学英語			医学英語			医学英語			
														上羽 由書 (48) 〈会和4年4日〉
												兼任	講師	<令和4年4月> 博士(人間健康科學) 医学英語
		倉田 浩充			倉田 浩充			倉田 浩充			倉田 浩充			倉田 浩充
兼任	講師	(61) <平成32年4月> 医学博士	兼任	講師	(61) <平成32年4月> 医学博士	兼任	講師	(61) <平成32年4月> 医学博士	兼任	王 講師	(62) <平成32年4月> 医学博士	兼任	講師	(63) <平成32年4月> 医学博士
		臨床神経学			臨床神経学			臨床神経学			臨床神経学			臨床神経学
		田邊 裕久 (62) <平成32年9月>			田邊 裕久 (62) <平成32年9月>									
兼任	講師	医学士 医床神経学	兼任	講師	医学士									
		庭床押柱子			临床 伸栓子			小笠原 菫						
						兼任	講師	(68) <令和2年4月> 医学士						
								臨床神経学						
								金子 <u>富子</u> (41) <令和2年4月>	١		金子 准子 (42) <令和2年4月> 医学士			金子 直子 (43) <令和2年4月>
						兼任	講師	医学士	兼任	壬 腕師	医学士	兼任	請師	医学士
		加賀野井 聖二			加賀野井 聖二			加賀野井 聖二			加賀野井 聖二			加賀野井 聖二
兼任	講師	(52) <平成32年4月> 修士(学術)	兼任	講師	(52) <平成32年4月> 修士 (学術)	兼任	講師	(52) <平成32年4月> 修士(学術)	兼任	王 講師	(53) <平成32年4月> 修士(学術)	兼任	講師	(54) <平成32年4月> 修士(学術)
		精神医学			精神医学			精神医学			精神医学			精神医学
36 /T	÷# AT	宮本 寛 (57) <平成32年4月>	*/-	÷# AT	宮本 寛 (57) <平成32年4月>	#17	-#AZ	宮本 寛 (57) <平成32年4月>		T -MAX	宮本 寛 (58) <平成32年4月>	# /*	-max	宮本 寛 (59) <平成32年4月>
兼任	講師	リハビリテーション医学	兼任	講師	マールのはキャカン 医学士 リハビリテーション医学	兼任	講師	リハビリテーション医学	兼任	王 講師	リハビリテーション医学	兼任	講師	リハビリテーション医学
		リハとリテーション医子 山本 双一 (70)			リバとリテージョン医子 山本 双一 (70)			リハとリテーション医子 山本 双一 (70)			リハこりテーション医子 山本 双一 (71)			リハとリテーション医子 山本 双一 (72)
***		(70) <平成32年4月> 修士(心身健康学)			(70) <平成32年4月> 修士(心身健康学)			(70) <平成32年4月> 修士(心身健康学)		_	(71) <平成32年4月> 修士(心身健康学)			(72) <平成32年4月> 修士(心身健康学)
兼任	講師	物理療法学物理療法学実習	兼任	講師	物理療法学物理療法学実習	兼任	講師	物理療法学物理療法学実習	兼任	王 講師	物理療法学 物理療法学実習	兼任	講師	物理療法学物理療法学実習
		運動器障害理学療法実習 リーダーシップ論			運動器障害理学療法実習 リーダーシップ論			運動器障害理学療法実習 リーダーシップ論			運動器障害理学療法実習 リーダーシップ論			運動器障害理学療法実習 リーダーシップ論
		山本 和代 (69) <平成32年4月>			山本 和代 (69) <平成32年4月>			山本 和代 (69) <平成32年4月>			山本 和代 (70) <平成32年4月>	[]		山本 和代 (71) <平成32年4月>
兼任	講師	修士 (教育学)	兼任	講師	<平成32年4月> 修士(教育学) 学校保健論	兼任	講師	修士 (教育学)	兼任	王 講師	修士 (教育学)	兼任	講師	修士 (教育学)
		学校保健論 野村 卓生 (43)			学校保健論 野村 卓生 (43)			学校保健論 野村 卓生 (43)	-		学校保健論 野村 卓生 (44)			学校保健論 野村 卓生 (45)
兼任	講師	(43) <平成32年4月> 博士(学術)	兼任	講師	(43) <平成32年4月> 博士 (学術)	兼任	講師	(43) <平成32年4月> 博士(学術)	兼任	王 講師	(44) <平成32年4月> 博士(学術)	兼任	講師	(45) <平成32年4月> 博士 (学術)
		産業保健論			產業保健論			産業保健論			産業保健論			産業保健論
	20.00	島村 和典 (71) <平成32年4月>	1	24.7-	島村 和典 (71) <平成32年4月>	1	- m-	島村 和典 (71) <平成32年4月>						
兼任	講師	工学博士	兼任	講師	工学博士	兼任	講師	工学博士						
		企業論			企業論			企業論			液田_美味			液田 美味
									*	主解師	(51) <令和3年4月> 修士(理学)	兼任	講師	(52) <令和3年4月> 修士 (理学)
						L			L		企業論			企業論
		石元 篤雄 (59)			石元 篤雄 (59)			石元 篤雄 (59)			石元 第雄 (60)	$\parallel \parallel -$		石元 篤雄 (61)
兼任	講師	<平成32年9月> 医学士	兼任	講師	<平成32年9月> 医学士	兼任	講師	<平成32年9月> 医学士	兼任	王 講師	<平成32年9月> 医学士	兼任	講師	<平成32年9月> 医学士
		内科学			内科学			内科学			内科学	l L		内科学
		MAT	-	-										
		小野 歩 (63)			小野 歩 (63)			小野 歩 (63)			小野 歩 (64)			小野 歩 (65)
兼任	講師	小野 歩	兼任	講師	小野 歩 (63) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	小野 歩 (63) <平成32年9月> 医学博士	兼任	王 講師	小野 歩 (64) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	小野 歩 (65) <平成22年9月> 医学博士

	可時又	は届出時】		和元年	度】		和2年	度】		和3年	度】		114年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名	┨┝		担当授業科目名	-		担当授業科目名	┨┝		担当授業科目名
兼任	講師	田中 肇 (56) 〈平成32年9月〉 医学博士	兼任	講師	田中 肇 (56) 〈平成32年9月〉 医学博士	兼任	講師	田中 肇 (56) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	田中 肇 (57) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	田中 肇 (58) 〈平成32年9月〉 医学博士
		内科学			内科学			内科学			内科学			内科学
兼任	講師	竹中 奈奈 (41) 〈平成32年9月〉 学士(医学) 内科学	兼任	講師	竹中 奈奈 (41) <平成32年9月> 学士(医学)	兼任	講師	竹中 奈奈 (41) <平成32年9月> 学士(医学) 内科学	兼任	講師	竹中 奈奈 (42) <平成32年9月> 学士(医学)	兼任	講師	竹中 奈奈 (43) <平成32年9月> 学士(医学)
兼任	講師	武市 知己 (56) 《平成32年9月》 医学博士	兼任	講師	飲市 知己 (56) 〈平成32年9月〉 医学博士	兼任	講師	武市 知己 (56) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	武市 知己 (57) 〈平成32年9月〉 医学博士	兼任	講師	飲市 知己 (58) 〈平成32年9月〉 医学博士
兼任	講師	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	兼任	講師	小児科学 倉繁 迪 (76) 《平成32年9月》 医学博士	兼任	講師	小児科学 倉繁 迪 (76) 〈平成32年9月〉 医学博士			小児科学			小児科学
		小児科学			小児科学			小児科学						
									兼任	動師	三宅 典子 (56) <令和3年9月> 学士 (医学)	兼任	鉄師	三电 桌子 (57) <令和3年9月> 学士(医学)
											小児科学			小児科学
兼任	講師	小倉 英郎 (7/4) 〈平成32年9月〉 医学博士	兼任	講師	小倉 英郎 (74) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	小倉 英郎 (74) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	小倉 英郎 (75) <平成32年9月> 医学博士	兼任	講師	小倉 英郎 (76) 〈平成32年9月〉 医学博士
		小児科学 小谷 治子			小児科学	1		小児科学 小谷 治子			小児科学	1 -		小児科学
兼任	講師	(57) 《平成32年9月》 医学士	兼任	講師	小谷 治子 (57) <平成32年9月> 医学士	兼任	講師	(57) 〈平成32年9月〉 医学士 小児科学	兼任	講師	小谷 治子 (58) <平成32年9月> 医学士	兼任	講師	小谷 治子 (59) <平成32年9月> 医学士
兼任	講師	竹崎 久美子 (60) 〈平成33年4月〉 博士 (看護学)	兼任	講師	竹崎 久美子 (60) (平成33年4月> 博士 (看護学)	兼任	講師	竹崎 久美子 (60) 〈平成33年4月〉 博士 (看護学)	兼任	講師	竹崎 久美子 (60) 《平成33年4月》 博士 (看護学)	兼任	講師	竹崎 久美子 (61) 〈平成33年4月〉 博士 (看護学)
		生命倫理※ 渡邊 聡子			生命倫理※			生命倫理※			生命倫理※ 渡邊 聡子	1 —		生命倫理※ 渡邊 聡子
兼任	講師	(54) (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54)	兼任	講師	渡邊 聡子 (54) 《平成33年4月》 博士 (看護学) 生命倫理※	兼任	講師	渡邊 股子 (54) < 平成33年4月 > 博士 (看護学) 生命倫理※	兼任	講師	(54) (54) (平成33年4月) 博士 (看護学) 生命倫理※	兼任	講師	(55) 《平成33年4月》 博士(看護学)
兼任	講師	秋山 謙三 (72) <平成33年4月> 歯学士	兼任	講師	秋山 謙三 (72) 〈平成33年4月〉 歯学士	兼任	講師	秋山 謙三 (72) <平成33年4月> 歯学士	兼任	講師	秋山 謙三 (72) 《平成33年4月》 歯学士	兼任	講師	秋山 謙三 (73) 〈平成33年4月〉 歯学士
		形成外科学 臨床歯科医学			形成外科学 臨床歯科医学			形成外科学 臨床歯科医学			形成外科学 臨床歯科医学			形成外科学 臨床歯科医学
兼任	講師	宮川 和之 (56) 〈平成33年4月〉 学士 (保健衛生学)	兼任	講師	宮川 和之 (56) 〈平成33年4月〉 学士(保健衛生学)									
		画像診断学			國像診断学	兼任	鉄師	無田 尚字 (68) <令和3年4月> 修士 (理学)	兼任	100年	機田 尚字 (63) <令和3年月> 修士 (理学)			
						11		国保护新学			国保护斯学	11		
												兼任	計算	伊京 第二 (60) 〈令和4年4月〉 修士 (医科学) 関係診断学
兼任	講師	渡邊 慶子 (65) 〈平成33年4月〉 博士 (生活科学)	兼任	講師	渡邊 慶子 (65) 〈平成33年4月〉 博士 (生活科学)	兼任	講師	渡邊 慶子 (65) 〈平成33年4月〉 博士 (生活科学)	兼任	講師	渡過 慶子 (65) 〈平成33年4月〉 博士 (生活科学)	兼任	講師	渡邊 慶子 (66) 〈平成33年4月〉 博士 (生活科学)
兼任	講師	臨床栄養学 田所 茂彦 (68) 〈平成33年4月> 薬学士	兼日	講師	臨床栄養学 田所 茂彦 (68) 《平成33年4月》 薬学士	兼任	講師	臨床栄養学 田所 茂彦 (68) <平成33年4月> 秦学士			臨床栄養学			臨床栄養学
		業子工 臨床業理学			路床業理学	11		臨床薬理学				 		
									兼任	跳師	撤口 英寛 (43) <令和3年4月> 学士 (東学)			
											直庆東電学	兼任	鉄師	小野川 雅美 (52) (专和4年4月) 博士 (医学)
兼任	講師	柚村 誠 (65) 〈平成33年4月〉 体育学士	兼任	: 講師	柚村 號 (65) <平成33年4月> 体育学士	兼任	講師	柚村 誠 (65) <平成33年4月> 体育学士						臨床兼理学
		教急管理実習			教急管理実習	J 📖		教急管理実習				┚┕		

]時又	は届出時】		令和:	元年	度】			112年	度】			13年	度】		114年	度】
E任· 使担· 使任 D別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 を の 別	i ·	能名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
												兼任	論師	吉岡 邦展 (53) 〈令和3年4月〉 学士 (文学)	兼任	鉄師	吉岡 邦展 (54) <令和3年4月> 学士 (文学)
		小笠原 正 (61)				小笠原 正 (61)				小笠原 正 (61)				★急管理実置 小笠原 正 (61)			歌島管理実習 小笠原 正 (62)
兼任	講師	<平成33年4月> 学士(社会学) 中枢神経障害理学療法実習	兼	任 i	善	<平成33年4月> 学士(社会学) 中枢神経障害理学療法実習		兼任	講師	<平成33年4月> 学士(社会学) 中枢神経障害理学療法実習		兼任	講師	<平成33年4月> 学士(社会学) 中枢神経障害理学療法実習	兼任	講師	<平成33年4月> 学士(社会学) 中枢神経障害理学療法実習
兼任	講師	佐々木 貴之 (40) <平成33年4月> 学士(社会学)	兼	任言	善師	佐々木 貴之 (40) <平成33年4月> 学士(社会学)		兼任	講師	佐々木 貴之 (40) <平成33年4月> 学士(社会学)		兼任	講師	佐々木 貴之 (40) <平成33年4月> 学士(社会学)			
		脊髓障害理学療法実習				脊髓障害理学療法実習				脊髄障害理学療法実習	ļ			脊髓障害理学療法実習			
ŧ任	講師	板場 英行 (70) <平成33年4月> 学士(教養)	兼	任言	萬師	板場 英行 (70) <平成33年4月> 学士(教養)		兼任	講師	板場 英行 (70) <平成33年4月> 学士(教養)		兼任	講師	板場 英行 (70) <平成33年4月> 学士(教養)	兼任	講師	板場 英行 (71) 〈平成33年4月〉 学士(教養)
		理学療法技術実習 I (運動関節学的 手技)				理学療法技術実習 I (運動関節学 的手技)				理学療法技術実習 I (運動関節学的 手技)				理学療法技術実習 I (運動関節学的 手技)			理学療法技術実習 I (運動関節学的 手技)
兼任	講師	西村 敦司 (50) 〈平成33年4月〉 専修学校卒 理学療法技術奏習皿(生体観察手	#	任言	萬師	西村 教司 (50) 〈平成33年4月〉 専修学校卒		兼任	講師	西村 教司 (55) 《平成33年4月> 専修学校卒 四学療法技術字学型(佐林朝賀子		兼任	講師	西村 教司 (50) 《平成33年4月》 事修学校卒	兼任	講師	西村 敦司 (51) 《平成33年4月》 専修学校卒
		程子療法技術美盲曲(生体競發子 技) 岩崎 史明 (37) 《平成33年4月》				理学療法技術実習Ⅲ(生体観察手 技) 岩崎 史明 (37) <平成33年4月>				理学療法技術実習皿(生体競察手 技) 岩崎 史明 (37) <平成33年4月>				理学療法技術実習皿 (生体観察手 技) 岩崎 史明 (37) <平成33年4月>			理学療法技術実習Ⅲ(生体観察手 技) 岩崎 史明 (38) <平成33年4月>
兼任	講師	修士 (医科学) 理学療法治療学実習 I (脳障害)	兼	任 i	善	修士 (医科学) 理学療法治療学実習 I (脳障害)		兼任	講師	修士 (医科学) 理学療法治療学実習 I (脳障害)		兼任	講師	修士 (医科学) 理学療法治療学実習 I (脳障害)	兼任	講師	修士 (医科学) 理学療法治療学実習 I (脳障害)
		森本 哲郎				森本 哲郎				森本 哲郎	ŀ			森本 哲郎			森本 哲郎
兼任	講師	(7/4) 〈平成33年4月〉 医学士 理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ障	兼	任 i	萬師	(74) <平成33年4月> 医学士 理学療法治療学実習皿 (スポーツ		兼任	講師	(74) 〈平成33年4月〉 医学士 理学療法治療学実習皿 (スポーツ障		兼任	講師	(74) 〈平成33年4月〉 医学士 理学療法治療学実習Ⅲ(スポーツ障	兼任	講師	(75) <平成33年4月> 医学士 理学療法治療学実習皿(スポーツ)
		書)※				障害) ※	┇╏			害) ※				書)※			書)※
兼任	講師	山田 義久 (62) 《平成33年4月》 専修学校卒	兼	任言	萬師	山田 義久 (62) <平成33年4月> 専修学校卒		兼任	講師	山田 義久 (62) <平成33年4月> 専修学校卒		兼任	講師	山田 義久 (62) <平成33年4月> 専修学校卒	兼任	講師	山田 義久 (63) 〈平成33年4月> 専修学校卒
		理学療法治療学実習皿 (スポーツ障害) ※				理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ 障害) ※				理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ障害) ※				理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ障害) ※			理学療法治療学実習Ⅲ (スポーツ版書) ※
兼任	講師	川渕 正敬 (48) 〈平成33年4月〉 学士(社会学)	兼	:任 i	萬師	川渕 正敬 (48) <平成33年4月> 学士(社会学)		兼任	講師	川渕 正敬 (48) 〈平成33年4月〉 学士(社会学)		兼任	講師	川渕 正敬 (48) 〈平成33年4月〉 学士(社会学)	兼任	講師	川渕 正敬 (49) <平成33年4月> 学士(社会学)
		地域理学療法学演習				地域理学療法学演習 坂本 泰祥				地域理学療法学演習	ŀ			地域理学療法学演習	-		地域理学療法学演習
兼任	講師	坂本 泰祥 (60) 《平成33年4月》 博士 (学術) 経営組織論	兼	任言	善師	ダー (60) (60) (平成33年4月> 博士 (学術)		兼任	講師	坂本 泰祥 (60) 《平成33年4月》 博士 (学術) 経営組織論		兼任	講師	坂本 泰祥 (本60) (平成33年4月> 博士(学術)	兼任	講師	坂本 泰祥 (61) 〈平成33年4月〉 博士 (学析)
兼任	講師	前田 和範 (35) <平成33年4月> 修士 (スポーツ科学)	兼	·任 i	善	前田 和範 (35) <平成33年4月> 修士 (スポーツ科学)		兼任	講師	前田 和範 (35) <平成33年4月> 修士 (スポーツ科学)		兼任	講師	前田 和範 (35) <平成33年4月> 修士 (スポーツ科学)	兼任	講師	前田 和範 (36) 〈平成33年4月〉 修士 (スポーツ科学)
兼任	講師	マーケティング論 西岡 啓二郎 (72) <平成33年4月> 高学士	*	任 証	善	マーケティング論 西岡 <u>啓</u> 二郎 (72) <平成33年4月> 商学士		兼任	講師	マーケティング論 西岡 啓二郎 (72) < 平成33年4月 > 商学士				マーケティング論			マーケティング論
		会計学総論				会計学総論				会計学総論							
												兼任		宣传 康平 (45) (45) (令和3年4月> 専門学校卒	兼任	請師	宮崎 康平 (46) 〈令和3年4月〉 専門学校本
兼任	講師	富田 浩 (54) 〈平成33年9月〉 博士(理学療法学) 理学療法技術奏習 I (神経筋促通手	兼	·任 i	萬師	富田 浩 (54) 《平成33年9月》 博士 (理学療法学) 理学療法技術奏習 I (神経筋促通		兼任	講師	富田 浩 (54) (平成33年9月 > 博士(理学療法学) 理学療法技術実習Ⅱ(神経筋促通手		兼任	講師	富田 浩 (54) 《平成33年9月》 博士 (理学療法学) 理学療法技術楽習 I (神経筋促通手	兼任	講師	金計学報酬 (富田 浩 (55) (マ成33年9月> 博士(理学療法学) 理学療法技術奏習Ⅱ(神経筋促通者
兼任	講師	技)※ 前田 秀博 (55) <平成33年9月>	#	·任 i	善	手技)※ 前田 秀博 (55) <平成33年9月>		兼任	講師	技) ※ 前田 秀博 (55) <平成33年9月>		兼任	講師	技)※ 前田 秀博 (55) <平成33年9月>	兼任	講師	技) ※ 前田 秀博 (56) <平成33年9月>
nk TI	ars Bill	専修学校卒 理学療法治療学実習 II (ICU)	求	.a i	et pill	専修学校卒 理学療法治療学実習Ⅱ(ICU)		水吐	645 EV)	専修学校卒 理学療法治療学実習Ⅱ(ICU)		жİ	645 BIV	専修学校卒 理学療法治療学実習 Ⅱ (ICU)	米 性	ars Bill	専修学校卒 理学療法治療学実習 II (ICU)
東任	講師	小林 順一 (69) 〈平成33年9月〉 専修学校卒	*	任言	萬師	小林 順一 (69) <平成33年9月> 専修学校卒		兼任	講師	小林 順一 (69) 〈平成33年9月〉 専修学校卒		兼任	講師	小林 順一 (69) 《平成33年9月》 專修学校卒	兼任	講師	小林 順一 (70) <平成33年9月> 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅳ(障害者スポーツ)				理学療法治療学実習IV(障害者スポーツ)				理学療法治療学実習Ⅳ (障害者スポーツ)				理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)			理学療法治療学実習IV (障害者スポーツ)
兼任	講師	川上 理子 (54) <平成33年9月> 博士 (看護学)	兼	任言	善	川上 理子 (54) <平成33年9月> 博士(看護学)		兼任	講師	川上 理子 (54) 〈平成33年9月〉 博士(看護学)		兼任	講師	川上 理子 (54) 〈平成33年9月〉 博士 (看護学)	兼任	講師	川上 理子 (55) <平成33年9月> 博士(看護学)
		地域包括ケア論※	L			地域包括ケア論※				地域包括ケア論※				地域包括ケア論※			地域包括ケア論※

【認定	可時又	は届出時】	【令	和元年	度】		【令和	112年	度】		【令和	113年	度】	【令	和4年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	森下 幸子 (60) 〈平成33年9月〉 修士(看護学) 地域包括ケア論※	兼任	講師	森下 幸子 (60) 〈平成33年9月〉 修士 (看護学) 地域包括ケア論※		兼任	講師	森下 幸子 (60) 〈平成33年9月〉 修士 (看護学) 地域包括ケア論※		兼任	講師	森下 幸子 (60) 〈平成33年9月〉 修士 (看護学) 地域包括ケア論※	兼任	講師	森下 幸子 (61) 〈平成33年9月〉 修士 (看護学) 地域包括ケア論※
兼任	講師	上村 浩 (54) 〈平成33年9月〉 博士 (商学) 経営管理論	兼任	講師	上村 浩 (54) 《平成33年9月》		兼任	講師	上村 浩 (54) 〈平成33年9月〉 博士(商学) 経営管理論		兼任	講師	上村 浩 (54) 〈平成33年9月〉 博士 (商学) 経営管理論	兼任	講師	上村 浩 (55) 〈平成33年9月〉 博士(商学) 経営管理論
兼任	講師	永野 正展 (73) 〈平成33年9月〉 博士 (工学) 起業論	兼任	講師	永野 正展 (73) <平成33年9月> 博士 (工学) 起業論		兼任	講師	永野 正展 (73) <平成33年9月> 博士 (工学)							
											兼任	銀師	物部 真一郎 (38) 〈中和3年9月〉 修士 (優雅学)	兼任	講師	物館 東一郎 (39) 《令和3年9月》 修士 (経費学)
兼任	講師	額見 隆正 (73) 〈平成34年4月〉 博士(医学) チーム連携論	兼任	講師	額見 隆正 (73) <平成34年4月> 博士(医学) チーム連携論		兼任	講師	創見 隆正 (73) <平成34年4月> 博士 (医学) チーム連携論		兼任	講師	額見 隆正 (73) <平成34年4月> 博士 (医学) チーム連携論			
		,												兼任	計師	川村 博文 (65) 〈令和4年4月〉 博士 (医学)
兼任	講師	先川 信一郎 (72) 〈平成34年9月〉 学士 (工学)	兼任	講師	先川 信一郎 (72) 〈平成34年9月〉 学士(工学)		兼任	講師	先川 信一郎 (72) 〈平成34年9月〉 学士(工学)		兼任	講師	先川 信一郎 (72) 〈平成34年9月〉 学士(工学)	兼任	講師	先川 信一郎 (72) 〈平成34年9月〉 学士(工学)
		国際関係論			国際関係論		兼任	講師	国際関係論 松木 秀行 (66) 《令和4年9月》 事務學校本		兼任	講師	国際関係論 松木 秀行 (66) 《令和4年9月》 事務学校本	兼任	講師	国際関係論 松木 秀行 (66) 《令和4年9月》 事体学校平
						1			理学療法管理実務	1			理学療法管理実務			理学療法管理実務

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入して行さい。(適年度については、各年度末時点の情報として記入して行さい。) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準して作成してください。 ・ 「認可時又は周出時」には 設置認可時又は周出時の教員全て (兼任、兼担教員を含む。) を黒字で記入してください。 その上で、 **國可時又は周出時か上を軍となっている箇所は太宇の泰華としてください。** ・ 各個の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の資産物**を記入してください。 ・ 専任 (専門職大学等は専、実等、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【令和元年度】

・兼任講師が都合により辞退したため、「教育学」の兼任講師を新たに配置した。

【令和2年度】

- 【令和 2 年度】

 ・大倉教授が病気治療中にて、主治医より勤務負担の軽減を指示されており、負担軽減が必要な状況の為「健康科学」・「理学療法概論」・「運動療法学」・「運動療法学 実習」の4科目について担当科目から削除した。
 ・兼任講師が都合により辞退したため及び開講回数3回の兼任講師の負担の軽減とより質の高い教育効果を得るため「臨床神経学」の兼任講師2名を新たに配置した。
 ・指定規則の改正により、「理学療法管理実務」「作業療法管理実務」が新設されたので、兼任講師2名を新たに配置した。
 ・指定規則の改正により、「理学療法管理実務」「作業療法管理実務」が新設されたので、兼任講師2名を新たに配置した。
 ・理学療法士・作業療法士指定規則の変更に伴い選択科目であった「臨床栄養学」「臨床薬理学」「画像診断学」「救急管理実習」が選択必修となり、理学療法学専攻、作業療法学専攻の全員(100名程度)が受請する事になり、1クラス40名以下の讀義にするため3クラスで行う必要があり「臨床栄養学」「臨床薬理学」を担当する兼任講師の開講自数を1回→3回、「画像診断学」「直路業学」「臨床薬理学」を担当する兼任講師の開講自数を1回→3回、「画像診断学」を担当する兼任講師の開議自数を2回→3回に本れれ変更した。
 ・「企業論」について、理学療法学専攻単独で同時に40名を超える授業科目として1クラスで行う授業としていたが、兼任講師より2クラスの授業が可能ということもあり、教育効果を考えて2クラスに分けて授業を実施した。

【令和3年度】

- 【令和3年度】

 ・附帯事項において、教員の補充を必要とされた授業科目「運動器障害理学療法実習」について、令和2年度のAC教員審査にて「可」の判定を受けた教授に対して同科目を追加した。

 ・「臨床心理学」「言語学」「小児科学」「救急管理実習」「会計学総論」において、兼任講師が都合により辞退したため、新たに兼任講師を配置した。
 ・申請時は理学療法学専攻単独で同時に40名を超える授業科目として1クラスで行う授業としておりました科目である企業論を、当初
 兼任講師により令和2年度開講時に教育効果を考えて2クラスに分けて授業を行ったが、首都圏から往来をすることで過度の負担が
 生じることになったため、令和3年度より近隣在住の兼任講師へと変更をした。
 ・「超床業理学」について、兼任講師が逝去の為新たに兼任講師を配置した。
 ・「起業演」について、兼任講師が出去の為新たに兼任講師を配置した。
 ・ 「起床業理学」はついて、兼任講師が出去の為新たに来任講師を配置した。
 ・ 追床業理学」はついて、兼任講師を記置した。
 ・ 追床業理学」はついて、兼任講師を記置した。
 ・ 追床神経学の兼任講師1名が辞退の為科目を担当する兼任講師が2名となった。
 ・ 専任教員 濱田 和範 (准教授) の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている。現在、当該教員は「後縦靱帯骨化症(分節型)」により頭椎~胸
 椎 〜 腰椎の な節囲にわたり 背柱管が狭窄され、その結果、骨髄が圧迫され上下肢の運動や感覚に麻痺を来している。令和元年4月には頸椎固定の手術も受けているが、その
 後も段階的に症状は増悪してきており物を持つことや歩行などの日常生活動作にも支障を来している。今後の授業において、学生に不利益を来さず、教育の質を担保するために令和3年6月のAC教員審査を受けた結果、令和3年9月(後期)より、専任教員 岩崎 洋 (准教授) を採用し授業科目を担当させることとなった。

【令和4年度】

- ・「心理学」について兼任講師2名で授業を行っていたが、1名辞退の為兼任講師1名で授業を実施した。・「医学英語」「画像診断学」「臨床薬理学」「チーム連携論」について、兼任講師が辞退したため新たに兼任講師を配置した。
- 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 **窓可で設置された学部等の享任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要教 授数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要な 研究業績を有する実 務家教員数
26	13	11	6
名	名	名	名

- (注)・ 専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。
 - (2) -② 専仟教員等数【専門職大学等】

	現在(報告時)の状況														
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	×	 性教 授	講(師	助教	計 (B)	助手 (B')		
13	9	8	6	36	0	13		10	8		6	37	0		
(10)	(8)	(8)	(4)	(30)	(0)										
専任教員 (専)	数 専任教 (実		専任教員数 (実(研))	みなし専	任教員数	専任教員 (専)			みなし専	し専任教員数					
24	!	5	7	()	24	6		6		6		7	0	
(20)	(;	3)	(7)	((
	現在(報告時)	の完成年度時	の状況		現在(報告時)の完成年度時の計画									
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	*		講	師	助教	計 (D)	助手 (D')		
13	10	8	6	37	0	13		10	10 8		0 8		6	37	0
[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]]	1]	[0]	[0]	[1]	[0]		
専任教員		専任教員数 専任教 (実専) (実 (みなし専任教員数		専任教員数 (専)		東任教員数 (実専)		専任教員数 (実(研))		みなし専	任教員数		
24	6		7	()	24	24		6)		7	()
[0]	[1]	[0]	[()]	[0]		[1]		[0]	[()]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

 - ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在 (報告時) の状況」には、報告年度の5月1日の教員数 (実人数) を記入してください。
 ・「現在 (報告時) の完成年度時の状況」には、銀百で設置された学部等の場合は、「現在 (報告時) の状況」に配入した数字に、教員事業を受害済みであり、完成年度までに試任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在 (報告時) の状況」に配入した数字に、完成年度までに試任することが決定している教員数を加えた数を配入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
 ・「現在 (報告時) の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
 ・「実専」は実務家教員、「実 (研)」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
 なお、みなし専任教員 (実み) がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
 ・「みなし専任教員の教員数には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

 - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	9	13
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 設置時の計画(A) 102.77

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = 9 現在(報告時)の状況(B) 37

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号]	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自	bon	担当予定科目	後任補充状況			就任辞退(未			:就任) の理由			
				該当無し														
	╛						╧											
				合計	(D)				後任補充状況の集計(E)									
	就	任を	F辞	退した教員数	担当科目	数の合記	† (a)	+ (b) + (c)	① の	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数					∤数(c)		
					必	修	0	科目	必修			科目	必修	<u> </u>	科目	必修		科目
					選	択	0	科目	選択			科目	選択		科目	選択		科目
			0	, ,	自	由	0	科目	自由			科目	自由		科目	自由		科目
					1	+	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	ā†	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自	1031	担当予定科目	後任	補充	犬況	辞任等の理由				
			該当無し												
						+									
						1									
	<u> </u>		合計	(F)				後任補充状況の集計 (G)							
	辞	任l	た教員数	担当科目	数の合言	† (a) +	+ (b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)					十数 (c)		
				必	修	0	科目	必修	1	科目	必修	科目	必修		科目
				選	択	0	科目	選択	1	科目	選択	科目	選択		科目
		0	人	自	由	0	科目	自由		科目	自由	科目	自由		科目
				1	+	0	科目	計	0	科目	計	0 科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、 $\mathbf{\underline{c}}$ 年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)					①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の				合計数(c)		
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
_		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
0	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		ä†	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) =

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任等の	理由		
			該当無し											
														4
														-
		_	f	計			後任補充状況の集計							
	話	任 l	した教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数			数 (c)				
				必修	0	科目	必修		科目	必修	科目	必修	科	·目
		•		選択	0	科目	選択		科目	選択	科目	選択	料	·目
		0	λ.	自由	0	科目	自由		科目	自由	科目	自由	科	目
				āt	0	科目	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科	目

- (注) ・ **定年により退職した全ての享任教員**についてに記入してください。 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、
 - 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し	

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附 帯 事 項	等 —————	履行状況		今後の の実施計画
認 可 時 (30年10月)	・が置る中授門るされ実力門したこ水よりで、大学のである。とというでは、教学性目が高いたが、大学のである。として、大学のである。として、大学のできる。では、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の		<>・き実とと で充う準め かった と 関 で で で う で が 関 で で で えいま かった と 関 で で で で で で で で で で で で で で で で で で		
		遵守事項	<委員会・諸規程の整備> ・専門職大学を開発の事業の は、充実にた教学を一切 いた。では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	履行済	「該当なし」
			く専任教員への増員>・学科員をの増員>・学科長をの地大学専任教員をのある本学専ため、を経験のある本学専たため、当成34年4月1日から1年月前日と、開学時の専任教員との、1年4月1日をもり名から30名に変更した。(令和元年度)		
		遵守事項	「別本の	履行済	「該当なし」
			<大計画> ・味・関心学校の教室 東門学校の教室 東門学校の教育のを学表のの ・味・関心を学変をのある。 ・味・関心を学変室をに を持動を変変ををして すった変をのようで うに変とのいよっで学がが がした。 ではました。 ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではまままれて ではままれて ではままれて ではままれて ではままままなまままれて ではまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		

	・作業療法学専攻にお	.	・下記の通り科目名称を改		
認 可 時 (30年10月)	ける「結社」を記する 展開科目については、 科目の概要及び科目名 分を踏まえた科目名称 に改めること。	遵守事項	めた。 「福祉工学基礎論」は「ロボット技術活用論」に変 更。「地域福祉論」は「地域生活とサービス」とし	履行済	「該当なし」
認 可 時 (30年10月)	・「マンガ基礎禁門」 については成績評価方 法が課題場とのみ、授 をの到達目を適切を の到する計画の すること。	遵守事項	・とした。 ・とした。 ・とした。 ・とした。 ・の計50%を評価を の計50%を評価を の計50%を評価を の計50%を評価を の150回ーマーゼン評価と ・レーリニケンシンーする。 ・レーリニケンシンでも ・レーリニケンシンでも ・レーリニケンシンでも ・レーリニケンシンでも ・レーリニケンシンでも ・レーリニケンを ・レーリニケンシンでも ・レーリニケンを ・レーリニケンを ・アーリーと ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アーリーを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アートを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・	履行済	「該当なし」
認 可 時 (30年10月)	・に加える設考いのである。 に加える設考いのでは記述を、実で、可技・道の単立を、理で、可技・道の単立を、一点を、では、大きのでは記述を、一点を、一点を、一点を、一点を、一点を、一点を、一点を、一点を、一点を、一点	遵守事項	・成書で、 つにと定いに判してる、 な に を は で のに と で のに を のに で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	履行済	「該当なし」
認 可 時 (30年10月)	・ ある ある い試付は、 等の に のいで で 修 のに のの のの のの のの のの のの のの のの のの	遵守事項	・ で変換し、	履行済	「該当なし」

認 可 時 (30年10月)	・専任教育のでは、実育分な必とを成野制度のでは、職業的になり、ののでは、職業的になり、職業的になり、職業的になり、のにおりません。というでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないでは、大きなのでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、いきないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、まないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	遵守事項	・学生が無料目と東京社会 ・学生が展別関関関の 展別関関関の 展別関関関の 展別関関関の の関展の の関係員して教に配と、 を主きないます。 を主きないます。 を主きないます。 を主きないます。 を主きないます。 を主きないます。 は、 できるも、 を主きないます。 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できるも、 できなるに、 がいり、 にも、 にも、 にも、 にも、 にも、 にも、 にも、 にも	履行済	「該当なし」
認 可 時 (30年10月)	・教員の補充を必要とついてに東は、科教員を充住は、科教員を充足は、任教員を充足は、任教員を充足は、任教員を充足は、任教員を充足は、任教員を充足は、任教員を充足は、任教員を充足は、任教員を充足は、任政・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	遵守事項	(令和2年度) ・令和2年度専任教員採用等設置計画変更書(AC教員審査)において、令和2年11月に「運動器障害署報告報告等理学療法実習」おける授業科目「可」の判定を受け、教員として就任した。(令和3年度)	履行済	「該当なし」
認 可 時 (30年10月)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	遵守事項	・学科長は、基学科長選考規 程第3条に基本である 程第3条に基づ授度 (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き)	履行済	「該当なし」
認可時(30年10月)	・規程は、職権のと言用を割からを務めて、職権のを主義を割からを務める性が、職権のでは、職権ののでは、職人のでは、職人のでは、職人のでは、職人のでは、職人のでは、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、職人のでは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	遵守事項	・長12部延予退名名でつ体方攻科慮・格手ス研る。保証は一てるに8名に名本専、考には数数が変数をといるに、専年最も成員は、員教こ全が構す、内で等である。では、真年歳も成員は、員教こ全が構す、内で等である。、任延1任毎年表でを表では、人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	履行済	「該当なし」

		・下位の職位の若手教員に対 して、個人研究費並びに共同 研究費を支給、研究時間を確 保、研究成果を学術誌や紀要 に発表するよう奨励する。		
		・学位未取得の教員に対して は、大学院進学を積極的に支 援する。 (令和元年度)		
	遵守事項	・開学時(平成31年)のり1組織は、30名の専能68.1歳)、、経教授10名(平均年齢68.1歳)、、権数接48.6(平均年齢68.1歳)、 機動、請謝教名(平均年齢68.7.5歳)で構成する。36名の東等的2.1歳)、13名(平均年齢67.1歳)、13名(平均年齢67.1歳)、13名(平均年齢53.2歳)、13名(平均年齢53.5歳)歳)、13名(平均年齢51.5歳)歳)、13名(平均年齢51.5歳)歳)、3名が長9名(平均年齢51.5歳)で、3名(94)、50歳で名(33.4%)、50歳代が7名(19.4%)、60歳~64歳を6歳が12名(33.4%)、50歳代が7名(19.4%)、60歳~64歳を6歳が12名(33.9%)、50歳の金年のが8名(11.9%)、70歳以上が8名(22.2%)であ家家教教員、2条務名(22.2%)であ家家教教員、2条務(22、2%)である家負員は、4報以上12名のうち7名(2分の1以上)は、70歳(別よりは12名のうち7名(2分の1以上)は、研教費2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、	履行済	「該当なし」
		・門職和 は、		

	遵守事項	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	履行済	「該当なし」
		ける倫理審査体制を整え、成 果は学術誌や紀要等に発表す るよう奨励する。 また、教員の研究能力を高		
	遵守事項	め、学の大学のでは、 の、学の大学のでは、 の、学の大学のでは、 の、学の大学のでは、 の、学の大学のでは、 の、学の大学のでは、 の、学の大学のでは、 の、学の大学のでは、 の、でのでは、 の、でのでは、 の、でのでは、 の、でのでは、 の、でのでは、 の、でいるでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでが、 でいるできる。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	履行済	「該当なし」
		のアメルトトラスルトトラスルトトラスルトトラスルトトラスルトトラスルトトラスルトトラ		

認可時(30年10月)	研れ後め含にい 研れ後め含にい 研れ後の含い。	助言事項	図るためのようで、	履行中	い用験こ(・究整でしが織組い 域ンわ障能ン実目設成るの攻る置てえる(・究に実画語を再言評はな面よにて(・図語教料た検等水本り室す料 し械中応をる(・究を寄むして、 ・究をでよる、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったで、 ・ ったい ・ ったい ・ ったい ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいを、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいをは、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいと、 ・ ったいといいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
-------------	-------------------------------	------	-----------	-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

認 可 時 (30年10月)	・学生が教育研究を行なう上で外国の文献に なう上で外国の文献に 触れる機会をセーー を充実 とが望ま しい。	・インターネットで配信される外国文献が検索・ できるデータがベース 「ProQuest Nursing & Allied Health Database+MEDLINE」を契約 した。利用可能な電子 護分 野で約1,400誌で、リハビ 野で約1,400誌で、リハビ 野で約1,400誌で、リハビ 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌で、リスデ 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野で約1,400誌に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での前に、「東 野での 野での 野での 野での 野での 野での 野での 野での 野での 野での	履行済	「該当なし」
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和元年)	「該当なし」			
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和2年)	「該当なし」			
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和3年)	「該当なし」			

- (注)・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<リハビリテーション学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
1. 「学則」について	以下の理由等により、学則を令和2年4月1日に改正した。 (1)理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の一部改正(施行日:令和2年4月1日)に伴い、学則の一部を改正した。(別添資料9-1)(改正内容)・履修方法及び卒業要件と授業科目について、一部見直しを行った。 ・卒業要件単位数を変更した。 (2)令和2年度より「大学入学共通テスト」を利用した入試区分を実施するため、学則の一部を改正した。(別添資料9-2)(改正内容)・別表2に大学入学共通テストの成績利用による志願者に係る入学検定料を定めた。
2. 「シラバス(授業計画)」について	以下の理由により、設置認可申請時及び付帯事項による改正時の「シラバス(授業計画)」を変更した。 【理由】 専任教員 濱田 和範(准教授)の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている。現在、当該教員は「後縦靱帯骨化症(分節型)」により頸椎~胸椎~腰椎の広範囲にわたり脊柱管が狭窄され、その結果、脊髄が圧迫され上下肢の運動や感覚に麻痺をきたしている。令和元年4月には頸椎固定の手術も受けているが、その後も段階的に症状は増悪してきており、物を持つことや歩行などの日常生活動作にも支障をきたしている。今後の授業において、学生に不利益をきたさず、教育の質を担保するために令和3年6月のAC教員審査を受けた結果、令和3年9月(後期)より、専任教員 岩崎 洋(准教授)を採用し授業科目を担当させることとなった。
3.「施設・設備の整備状況,経費」について	【変更した科目】 ・「義肢装具学演習」 (別添資料10-1-①、②) ・「脊髄障害理学療法実習」 (別添資料10-2-①、②) ・「理学療法臨床実習Ⅱ」 (別添資料10-3-①、②) ・「理学療法臨床実習Ⅲ」 (別添資料10-4-①、②) ・「理学療法臨床実習Ⅲ」 (別添資料10-5-①、②) ・「義肢・装具作業療法実習」 (別添資料10-6-①、②) ・「理学療法地域支援実習」 (別添資料10-7-①、②) ・「中学療法地域支援実習」 (別添資料10-8-①、②) ・「応用理学療法学演習」 (別添資料10-8-①、②) ・「応用理学療法学演習」 (別添資料10-8-①、②) ・「応用理学療法学演習」 (別添資料10-8-①、②) ・「応用理学療法学演習」 (別添資料10-8-①、②) ・「応用理学療法学演習」 (別添資料10-8-①、②)

(注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

① 実施体制

a 委員会の設置状況

<令和元年度>

FD委員会、SD委員会設置(平成31年4月)

<令和2年度>

年度当初よりFD委員会規程(別添資料12−1)及びSD委員会規程(別添資料12−2)に基づき各委員会を 組織した。

FD委員会は、リハビリテーション学科長を委員長とし、委員は理学療法学専攻教員2名、作業療法学専攻教員1名、言語聴覚学専攻教員1名、事務職員2名で構成されている。SD委員会は、事務局長を委員長とし、委員は、事務職員6名で構成されている。

<令和3年度>

FD委員会規程(別添資料12-1)及びSD委員会規程(別添資料12-2)に基づき各委員会を組織(別添資料12-2)した。新たに図書館長を委員長とし、理学療法学専攻教員2名、作業療法学専攻教員1名、言語聴覚学専攻教員1名、事務職員2名で構成されている。SD委員会は、事務局長を委員長とし、委員は、事務職員6名で構成されている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

<令和元年度>

令和元年度開催は、FD及びSD委員会について、令和元年7月に開催している。

<令和2年度>

委員会は、必要に応じて委員長が委員を招集し開催している。令和2年度は、FD委員会2回、SD委員会2回、開催した。

<令和3年度>

委員会は、必要に応じて委員長が委員を招集し開催している。令和3年度は、FD委員会3回、SD委員会2回、 開催した。

c 委員会の審議事項等

<令和元年度>

- 1. 教育の質的向上に向けた諸施策の企画・立案及び支援
- 2. 職員の研修等の企画・実施及び支援
- 3. 職員の能力開発の推進に向けた諸施策の企画・実施及び支援
- 4. 授業の改善に関すること
- 5. 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)主催プログラムの参加及び支援

<令和2年度>

- 1. FD·SD活動に関する情報収集と提供
- 2. 教育の質的向上に向けた企画・立案及び支援
- 3. 職員の研修等の企画・実施及び支援
- 4. 職員の能力開発の推進に向けた企画・立案及び支援
- 5. 授業の改善
- 6. FD・SDの啓発活動
- 7. その他、FD・SD推進活動

<令和3年度>

- 1. FD・SD活動に関する情報収集と提供
- 2. 教育の質的向上に向けた企画・立案及び支援
- 3. 職員の研修等の企画・実施及び支援
- 4. 職員の能力開発の推進に向けた企画・立案及び支援
- 5. 授業の改善、遠隔授業への対応
- 6. FD・SDの啓発活動
- 7. その他、FD·SD推進活動

② 実施状況

a 実施内容

- <令和元年度>
- ・FD委員会 教員研修(開学前 平成30年12月) ・SD委員会 SD研修(新任職員研修)(令和元年5月)
 - ※今後の教職員研修会参加については、FD委員会及びSD委員会で検討していく。

<令和2年度>

- ・「科学研究費の応募方法」に関する講習会
- ・「シラバスの書き方」に関する講習会
- 研究発表会
- · 研究倫理教育「APRIN eラーニングプログラム」
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」 FD研修会・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」 SD研修会
- 「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設職員等講習会」
- ・ 学生による授業評価アンケート

<令和3年度>

- ・「科学研究費の応募方法」に関する講習会
- 教員研究発表会
- ・ 教員による研究授業
- 遠隔授業のための研修会の実施
- 研究倫理教育の推奨、講習会の開催
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」FD研修会 ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」SD研修会
- ・ 高知学園大学・高知学園短期大学・高知リハビリテーション専門職大学での合同研修
- ・ 学生による授業評価アンケート

b 実施方法

<令和元年度>

教職員研修会参加等、今後FD委員会及びSD委員会で検討していく。 (特にSPOD主催のプログラムには積極的に参加予定である)

<令和2年度>

- ・「科学研究費の応募方法」に関する講習会は、本学教員が講師となり2回実施
- ・「シラバスの書き方」に関する講習会は、本学教員が講師となり実施 ・本学の教員が講師となり「研究発表会」を実施
- ・ 研究倫理教育「APRIN eラーニングプログラム」に関する説明会を実施後、全教職員を登録し、原則、全員、 Web講義を受講
- ・ 四国内の大学等で開催された「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」 FD研修会を受講
- ・四国内の大学等で開催された「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」SD研修会を受講
- ・ 大阪で開催された「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設職員等講習会」の受講
- ・ 学生による授業評価アンケートを前期と後期で年2回実施

<令和3年度>

- ・「科学研究費の応募方法」に関する講習会は、本学教員が講師となり1回実施
- ・ 本学の教員が講師となり「教員研究発表会」を実施 ・ 本学の教員が講師となり「研究授業」を3回実施
- ・ 遠隔授業のための研修会の実施、個別少人数での実地練習
- ・ 研究倫理講習会(高知大学教授による講習会)を年2回実施
- ・四国内の大学等で開催された「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」FD研修会を受講
- ・四国内の大学等で開催された「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」SD研修会を受講
- ・ 学生による授業評価アンケートを前期と後期で年2回実施
- c 開催状況(教員の参加状況含む)

<令和元年度>

- FD委員会 専門分野における医療英語(平成30年12月 25名)
- S D 委員会 SD研修(新任職員研修) (令和元年5月: SPOD主催 1名)

- FD委員会は、令和元年5月23日と11月19日の2回開催。
- ・「科学研究費の応募方法」に関する講習会は、令和元年8月13日、10月1日、10月8日に開催(延参加人数:88名)
- ・「シラバスの書き方」に関する講習会を令和元年12月24日に開催(参加人数:30名)
- ・ 研究発表会は、令和元年8月13日、10月1日、12月3日、令和2年2月18日に開催(延参加人数:124名)
- ・研究倫理教育「APRIN eラーニングプログラム」に関する説明会を全教職員に行い、全教職員を登録した。前任 校で修了した教員以外、次年度就任予定者を含め53名の教職員が修了
- 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」 F D 研修会:延参加人数21名
 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」 S D 研修会:延参加人数12名
- ・「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設職員等講習会」受講者2名
- 授業評価アンケート実施:令和元年7月及び令和2年1月に実施

<令和3年度>

- FD委員会は、令和3年11月24日、令和4年2月2日、令和4年3月28日の3回開催。
 SD委員会は、令和3年12月08日、令和4年3月17日の2回開催。
- ・ 本学の教員が講師となり「研究授業」を、令和4年1月11日・14日・17日の3回実施。 ・ 遠隔授業のための研修会の実施、個別少人数での実地練習(延75名が参加)
- ・「教員研究発表会」は、令和3年6月29日、8月3日、10月26日、12月23日の4回開催(延参加人数:95名)
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」FD研修会をzoomにて参加。(延参加件数50件) ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」SD研修会をzoomにて参加。(延参加件数12件)
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」講師派遣プログラム研修を令和3年8月25日に開催(延参加 人数11名)
- 授業評価アンケート実施:令和3年7月及び令和4年1月に実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

<令和元年度>

現在は具体的な取り組みは行われていない。今後、研修会に参加し、教員間で情報共有を行い、授業改善に 努めていく予定である。

<令和2年度>

- ・「科学研究費の応募方法」に関する講習会による科研費申請の促進
- ・「シラバスの書き方」に関する講習会により、シラバス記入方法の統一化 ・ 研究発表を通じて、研究内容の共有及び共同研究を促進
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」FD・SD研修会により先進的な教育実践を啓発
- · 「APRIN eラーニングプログラム」を通じて全職員に対する研究倫理の啓発
- ・「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設職員等講習会」を受講による教育の質的向上
- ・ 授業評価アンケート結果の分析を行い、授業内容改善に活用

<令和3年度>

- ・ 研究発表を通じて、研究内容の共有及び共同研究を促進 ・ 研究授業を通じて、授業改善の具体的方法を教員間で共有
- · zoomを用いた遠隔授業の一部実施
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」FD・SD研修会により先進的な教育実践を啓発
- ・ 高知学園3校合同の研究倫理講習会により倫理教育の基礎的知識を修得
- ・ 授業評価アンケート結果の分析を行い、授業内容改善に活用

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

<令和元年度>

未実施。令和元年度前期授業終了後及び後期授業終了後に、授業評価アンケートを実施する。アンケート 結果について、FD委員会検討し、授業の改善に努める。

<令和2年度>

令和2年7月及び令和3年1月に実施

く合和3年度>

- 令和3年7月及び令和4年1月に実施
- b 教員や学生への公開状況、方法等

<令和元年度>

・学科全体及び専攻ごとに集計及び検討し、年度末に報告書を作成する。教職員に報告書を配布し、また、 大学のホームページにも公開する予定である。

<令和2年度>

・ 車 マーンとに集計を行い、教職員全体で内容を共有することを予定している。学生に対してはアンケート結果を グラフ化し、ホームページに掲載する予定である。

<令和3年度>

・・専攻ごとに集計を行い、教職員全体で内容を共有している。学生に対してはアンケート結果をグラフ化し、 ホームページに掲載している。

(注) · 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況(各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む)

設置状況・・・産業界及び地域社会等と連携して教育課程の編成をするために、学長のもとに「教育課程連携協議会」 を設置した。 教育課程連携協議会設置規程(平成31年4月1日施行)

構成員の交代①構成区分 地域 土佐市健康づくり課 課長交代の為、森本悦郎から合田聖子に変更した。 (令和元年11月) (別添資料13-1)

構成員の交代②構成区分 教職員 高知リハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション 学科 作業療法学専攻 専攻長交代の為、辻 美和から足立 一に変更した。(令和3年4月) (別添資料13-1)

構成員の交代③構成区分 地域 土佐市長寿政策課 課長交代の為、岡本 久から中平勝也に変更した。(令和3年4月) (別添資料13-1)

構成員の交代④構成区分 教育課程連携協議会委員長 前任者体調不良の為、辻 博明から平松真奈美に変更した。 (令和4年4月) (別添資料13-2)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

令和元年12月27日

各専攻より教育課程の説明(展開科目設定の経緯、趣旨等)を行い、質疑応答等を行った。

令和2年3月26日 (開催予定日)

医療関係者の委員が多いことから新型コロナウイルス感染予防対策として対面での会議を延期した。

令和3年2月26日

医療関係者の委員が多いことから対面での会議を避け、書類送付による意見集約を行った。

令和3年3日29日

対面での意見交換会議を開催した。

令和3年9月29日

対面(リモー - ト参加含む) での意見交換会議を開催した。

令和4年3月29日

対面(リモート参加含む)での意見交換会議を開催した。

c 委員会の審議事項等

<令和元年度>

- 1 諸規程及び、委員長と委員の選出について 2 専門職大学について

- 3. 教育課程について
 4. 展開科目について
- 5. 単位数の確認について
- 6. 地域との連携について
- 7 完成年度後の構想について 基本的な事項の確認や今後の見通しを含め、議論を実施。

<令和2年度>

- 1. 令和元年度報告(学籍状況・成績GPA状況・授業評価結果)
- 2. 令和2年度報告(学籍状況・成績GPA状況・新型コロナウイルス感染症対策としての授業実施状況)
- 3. 令和3年度教育課程について 1)指定規則の変更に伴う教育課程の変更(令和2年入学の理学療法学専攻・作業療法学専攻)
 - 2)3年次より開講される科目
 - 3) 臨床実習実施計画
- 4. サテライトキャンパスを拠点とする教育について(地域課題研究Ⅱ)

<令和3年度>

一第1回一

- 1. 履修モデルを基本とした「カリキュラムマップ」について
- 2. 展開科目における問題点について
- 3. 令和3年度 前期の報告 (学籍状況・成績について) 4. 臨床実習について
- 5. 地域課題研究Ⅱの進捗状況について
- 6.4年次後期開講の「地域支援実習」について
- 7. 令和3年度 後期 学事暦について

一第2回-

- 1. 令和4年度 学事暦について
- 2. 令和4年度 教育課程について
- 3. 令和4年度 実習計画について 4. 令和3年度 学籍状況・成績 (GPA値) について
- 地域課題研究Ⅱの進捗状況について
- 5. 地域課題研究Ⅱの進捗状況につ 6. 令和3年度 臨床実習について 7. サテライトキャンパスについて

d その他

該当なし

② 審議状況

<令和元年度>

a 審議した内容

各専攻よりの展開科目設定の経緯、趣旨等教育課程の説明に対して、質疑応答がなされた。

今後開催する教育課程連携協議会により教育課程の編成に対し審議を行っていく。

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

各区分委員からの学生との関わりについての意見を踏まえ、地域あるいは色々な関係機関の行事等を取り入れた 教育への協力を要請した。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

令和元年度においては、基礎的科目が中心であったため、今後、地域等との関わりを持った授業について検討 予定である。

<令和2年度>

- a 審議した内容
 - 1. 現在はリハビリテーションのスペシャリスト養成を目的としているが、将来的にゼネラリスト養成を視野に入れた教育課程の可能性について議論を行った。
 - 2. 病院等は日常的に地域との関わりがあるので、地域課題研究Ⅱの「地域課題の掘り起こし」のフィールドとしての可能性について議論を行った。
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

地域等との関わりを持った授業の実施について、サテライトキャンパスの設置により地域の抱える課題の堀り起こし等を検討している。

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
 - 1. 地域課題研究Ⅱについては、地域の声を直接聞くためには通常の時間割では実施できないので、2コマ程度を時間割外で集中的に行うことを予定している。
 - 2. ゼネラリストの養成等については、可能性について継続的に検討を行うことになった。

<令和3年度>

a 審議した内容

どのような人材を育成するのか、教養、専門、展開、実習など科目群の結びつきや関連性についてカリキュラムマップ・履修モデルを元に説明がなされた。今後は科目の改訂にも取り組んでいく必要があることから、意見交換が行われた。

また、令和3年度の状況について資料に基づき報告および質疑応答がなされた。

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

リーダーの役割や積極的に関わっていこうとすることの重要性について意見が出され、4年次にリーダーシップ論が 開講される等の説明があった。

また、実習や職場で接する高齢者などとのコミュニケーションを円滑に取ることができるよう、相手への理解を深めることが必要ではないかとの意見があり、治療、援助に関わる時に個人を理解し、対象者にどのようなアプローーチをしていくのかということが授業の中に組み込まれていくとの説明がされた。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

地域課題研究Ⅱにおいて、地域の課題への取り組みがなされ、グループ毎にまとめられた成果を発表会にて発表することができた。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

<令和元年度>

開学後1カ月が経過しており、設置認可申請書に記載した内容に基づき、大学運営を行っている。専門職大学のの特性を活かし、今後も設置の趣旨・目的を遵守し大学運営を行う。

<会和2年度>

本学は、開学1年が経過しており、大学設置認可申請書に記載した内容に基づき、教育研究活動等の状況について、自ら点検し評価を行うために「自己点検・評価委員会」を設置している。自己点検・評価委員会において本学の目標達成状況を把握するため、令和2年3月に自己点検を行った。

その結果、使命・目的及び教育目的の反映の項目の、「中・長期的な計画への反映」について策定の必要性がある。「学修支援」においても教職員の協働による学修支援の体制の整備が急がれる。学生の学修環境の整備において、新型コロナウィルスの影響を考えた遠隔授業の方法についての検討も急がれる。「教学マネージメントの機能性」においては、学長のリーダーシップの確立・意思決定に対して、更なる教職員との意思疎通向上に努めることが肝要となる。また、分散する学務内容の再整理を行い、適切な分散と統合と責任を明確化する体制の再構築する必要性がある。

今回の点検結果から出てきた課題解決のための検討や体制整備を行ってゆくとともに、新たに改善すべき点を明らかにし、専門職大学の特性を活かしながら設置の趣旨、目的を遵守した大学運営を行ってゆきたい。

<令和3年度>

本学は開学4年目となり、大学設置認可申請書に記載した内容を、令和3年度に行った自己点検結果に基づき、「自己点検・評価委員会」にて自己点検を行い、前年度からの課題となっている項目について点検を行った。使命・目的及び教育目的の反映の項目の、「中・長期的な計画の反映」については、学校法人の計画に基づき令和2年度から令和6年度までの5か年計画の策定を行っている。(別添資料14-1)

「学修支援」においては、教職員の協働による体制の役割分担を明確にするとともに、共同授業とオムニバス授業における授業 提供方法を教職員に周知徹底していった。幸いにも本学では令和2年度、学生・教職員の感染者は出ていない状況ではあるが、 遠隔授業の方法に関してオンライン授業が滞りなく実施できるよう、現在環境の整備を行っているところである。

「教学マネージメントの機能性」においては、大学内の組織図の改正を行い、より細かく役割分担を明確化を行い、学長指揮のもと各委員会が実施する組織に改編した。(別添資料14−2)課題として残っているのは、教員と職員等の協働した学修支援体制の整備と、研究環境の充実として「実験研究室」の整備が急がれる。

今後も大学運営の中から改善すべき点を明らかにし、設置の趣旨・目的に則した大学運営に努めていきたい。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ・令和2年10月末 公表
 - 令和3年4月末 公表
 - 令和4年6月末 公表予定
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公表
- ③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・令和7年に機関別認証評価機構(公益財団法人 日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内にて検討中
- ・令和5年に分野別認証評価機構(未定)の評価を受けるべく、学内にて検討中
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

O 設置計画履行状況報告書(令和3年度) a 公表予定の有無 [有 ・ 無]	
≪ a で「有」の場合≫ b 公表(予定)時期 [調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ~ 3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以降 c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他(]
《aで公表「無」の場合》 d 公表しない理由 〔	J

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

新型コロナウイルス事案の特記事項 【令和4年5月報告】

≪令和3年度≫

I 新型コロナウイルスの影響により変更を講じた臨床実習科目について

①臨床実習科目の期間変更ならびに実施場所・指導者の一部変更について

理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻2年次科目「理学療法臨床実習 I」・「作業療法臨床実習 I」・「言語聴覚 療法臨床実習 [] について、計画時では令和3年9月実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、臨床実習施設 側の受け入れが困難となったため、令和3年12月と令和4年3月に実施した。令和4年3月は「作業療法臨床実習 I 」のみの実施であ り、学内実習として専任教員により実施した。

理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻3年次科目「理学療法臨床実習Ⅱ」・「作業療法臨床実習Ⅱ」・「言語聴覚 療法臨床実習Ⅱ」は、新型コロナウイルス感染症拡大により、臨床実習施設側の受け入れが困難となったため、一部学生を学外 実習の授業計画を学内実習として専任教員により実施した。

②学生には臨床実習オリエンテーション時に十分説明を行い、学内実習についても教育効果に支障が生じないよう実施した。

Ⅱ 遠隔授業を実施した科目

①高知県の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、9月16日から9月29日まで遠隔授業と対面授業の分散登校措置をとった。遠隔授業では、オンデマンド型(オフタイム)、オンデマンド型(オンタイム)、同時双方型の手法を用いて実施した。疑問・質問等については、各科目担当教員がメールにて、随時回答した。

実施した科目は以下のとおりである。

3専攻1年次生共通科目

「生理学Ⅱ(植物性機能)」・「情報処理演習Ⅱ」・「英語Ⅰ」

3専攻1年次生選択科目

「衣・」へ上をいっし 「教育学」・「健康とスポーツ」・「基礎運動学」・「解剖学Ⅲ(骨格系)」・「統計学」 「英語Ⅱ」・「人間発達学」・「運動生理学」

理学療法学専攻1年次科目

「理学療法評価学」

作業療法学専攻1年次科目

「応用作業学実習」

言語聴覚学専攻1年次科目

「言語聴覚障害学総論Ⅱ」・「失語症学」

3専攻2年次生共通科目

「地域課題研究II

理学療法学専攻2年次科目

「運動療法学実習」

作業療法学専攻2年次科目

「義肢・装具作業療法実習」・「日常生活支援作業療法実習」

言語聴覚学専攻2年次科目

「音声障害学実習」

作業療法学専攻3年次科目

「就労支援作業療法演習」

②新型コロナウイルスの緊急事態宣言・まん延防止等重点措置地域や所属先の規則により、対面授業を一部もしくは全回数実 施できない授業において、遠隔授業を実施した科目は以下のとおりである。

理学療法学専攻1年次科目 「スポーツ心理学」

作業療法学専攻1年次科目 「土佐地域資源論」「社会的企業論」

「リハビリテーション医学」 3専攻2年次共诵科目 理学療法学専攻2年次科目 「産業保健論」

作業療法学専攻2年次科目 「精神医学」

言語聴覚学専攻2年次科目 「精神医学」・「聴覚系医学」

「生命倫理」 3専攻3年次選択科目

理学療法学専攻3年次科目 「経営管理論」「起業論」

※なお、②に示した科目については、自宅での受講ではなく、学生は本学へ通学し、本学教員同席のもと本学講義室より同時双方向型で受講した。(「産業保健論」「土佐地域資源論」「起業論」はオンデマンド型(オフタイム)のため除く) ※「起業論」については、一部の回数が3月31日までに終了しなかっため、4月に授業を実施した。

Ⅲ 開講時期の変更と開講時期変更にかかる学生への配慮

作業療法学専攻では、1年次科目「土佐地域資源論」を「1前」から「1後」に変更した。同一学年内での変更であり、教育課程の体系性への影響はなく、学生に対しても、十分に説明を行うため教育効果に支障は生じない。

Ⅳ 令和3年度設置認可申請時のシラバス変更

・ 1730年度、新型コロナウィルス感染拡大の影響により、設置認可申請書のシラバスについて、記載(計画)通りの履行が難しい状況となり変更した。変更した科目は以下のとおりである。

① 1部遠隔授業を実施した科目

「情報処理演習 II」(1後) (別添資料 15-1-①、②) 「健康とスポーツ」(1前・後)(別添資料 15-2-①、②) (別添資料15-1-1)、2) 「英語 I」(1前・後) (別添資料15-3-1、2) 「解剖学Ⅲ(骨格系)」 (3後) (別添資料15-4-①、②) 「運動療法学実習」(2後) (別添資料15-5-1、2) (別添資料15-6-①、②) 「応用作業学実習」(1後)

「日常生活支援作業療法実習」(2後)(別添資料15-7-①、②) 「義肢・装具作業療法実習」(2後) 「音声障害学実習」(2後) (別 (別添資料 15-8-①、②)

(別添資料15-9-1)、②)

② 臨床実習科目における授業内容の変更

「理学療法臨床実習Ⅱ」 (別添資料16-1-①、②) (別添資料 1 6-2-①、②) 「作業療法臨床実習I」 (別添資料16-3-1、2) 「作業療法臨床実習Ⅱ」 「言語聴覚療法臨床実習Ⅱ」(別添資料16-4-①、②)

Ⅴ 学生の学修環境の整備

新型コロナウイルスに対する本学の対応方針を3報(4/22付、12/16付、2/7付)(別添資料17-1、2、3)にわたりホーム ページ上に掲載し、状況に応じた対応を行った。 分散登校期間中、自宅でネットワーク環境の整備ができない学生には、学内で受講ができるように受講場所を準備した。パソ

コンを準備できない学生には貸出用パソコンを提供し、遠隔授業を受講できるよう整備した。

Ⅵ コロナ禍における令和4年度入学者選抜にかかる変更

新型コロナウイルス感染または感染が疑われる症状の受験生に対し、受験機会確保を考慮し、昨年度同様に別日程での振替受 験実施の特別措置を行うこととした

また、「3文科高第1161号 令和4年1月11日付 令和4年度大学入学者選抜における受験機会の更なる確保について(依頼)」を受け、下記の措置を追加して行うこととした。

1. 本学の一般選抜(大学入学共通テスト利用選抜)を受験予定であった者が、大学入学共通テストの本試験および追試験いず

れも受験できなかった場合、本学の一般選抜(一般選抜)への振替受験を認める。 2. 本学では、一般選抜(一般選抜)において、A日程の振替はB日程またはC日程、B日程の振替はC日程としているが、A 日程、B日程、C日程の全てを受験できなかった当該受験生が大学入学共通テストを受験している場合、大学入学共通テストの 成績、調査書等による合否判定を実施する。

3. 上記1および2のいずれの措置の受験ができていない当該受験生に対して、小論文・面接で選抜を実施する。

※I・II・II・IV・VIについては、単年度(令和3年度のみ)の対応である。

≪令和4年度≫

I 遠隔授業実施及び実施予定の科目

新型コロナウイルスの感染拡大地域や所属先の規則により、対面授業を一部もしくは全て実施できない授業において、遠隔授 業を実施する予定である。実施予定科目は以下のとおりである。

理学療法学専攻2年次科目

「精神医学」

言語聴覚学専攻2年次科目

「精神医学」

※なお、上記2科目については、自宅での受講ではなく、学生は本学へ通学し、本学教員同席のもと本学講義室より同時双方向型 で受講予定。

Ⅱ 新型コロナウイルスの影響により変更を講じた臨床実習科目について

理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻4年次科目「理学療法臨床実習Ⅲ」・「作業療法臨床実習Ⅲ」・「言語聴覚 療法臨床実習皿」は、実習受入施設の対応により受入不可または、臨床実習期間中に受入中止となった学生については、学外実 習の授業計画を学内実習として専任教員により対応する。

学生には臨床実習オリエンテーション時に十分説明を行い、学内実習についても教育効果に支障は生じないよう実施する。

新型コロナウイルス事案の特記事項 【令和3年5月報告】

≪令和2年度≫

I 開講時期の変更を検討中の科目及び変更する科目について

- ・理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻2年次科目「理学療法臨床実習 I 」・「作業療法臨床実習 I 」・「言語療法 臨床実習 I 」の科目について、計画時では令和2年9月実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、令和3 年3月に実施した。
- ・作業療法学専攻2年次科目「作業療法評価実習Ⅱ(精神・認知系)」の科目について、専任教員と兼任講師の共同授業である が、兼任講師が大阪に在住しており、新型コロナウイルスの総独拡大により外出自粛要請が出されていることもあり、高知県へ 授業に来られないため、開講時期を「2前」から「2後」に変更して授業を実施した。

Ⅱ 遠隔授業を実施した科目

本の 2年4月2・3日にオリエンテーションを実施したが、高知県の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月6日から4月23日まで 休校措置をとった。4月24日以降は対面授業を行わず、教材やレポート課題、オンデマンド授業に必要な資料等を送付し遠隔授業による自宅学習を実施した。疑問・質問等については、各科目担当教員がメールにて、随時回答した。 実施した科目は以下のとおりである。

各専攻1年次生共通科目

「情報処理演習Ⅰ」・「コミュニケーション論」・「リハビリテーション概論」

「解剖学 I」・「健康科学」・「心理学」・「英語 I」

選択科目

「英語Ⅱ」・「教育学」・「社会学」

理学療法学専攻1年次科目

「理学療法概論演習」

作業療法学専攻1年次科目

「基礎作業学実習」・「生活活動と障害」

言語聴覚学専攻1年次科目

「言語聴覚障害学総論 I 」・「マンガ概論」

理学療法学専攻 • 作業療法学専攻共通科目

「運動機能学実習」

3 専攻2年次共通科目

「リハビリテーション医学」

理学療法学専攻2年次科目

「運動生理学実習」・「理学療法セミナーⅡ(PBL)」・「理学療法運動学演習」 「臨床心理学」・「理学療法日常生活活動学」・「物理療法学」・「運動療法学」

「理学療法測定実習Ⅰ」・「理学療法検査実習Ⅰ」・「産業保健論」

作業療法学専攻2年次科目

「精神医学」・「作業療法日常生活活動学」・「臨床作業療法技法実習I(PBL)」 「作業療法評価実習I(身体系)」・「作業分析学」・「作業療法運動学演習」

「基礎作業療法評価学」・「運動生理学実習」・「地域作業療法学」

言語聴覚学専攻2年次科目

「言語発達障害検査実習」・「言語聴覚療法セミナーI」・「聴覚障害学」・「精神医学」

※なお、オンデマンド授業につきましては、パソコンやスマートフォンでダウンロード閲覧可能な授業を、5月25日から6月5日ま で配信した。

対面授業は、6月8日から8月28日まで実施した。

開講時期の変更にかかる学生への配慮

Ⅲ 開講時別の変更にかかる子生への配慮 理学療法学専攻では、2年次科目「産業保健論」を「2前」から「2後」に変更した。作業療法学専攻では、1年次科目「土佐地 域資源論」を「1前」から「1後」に変更した。また、作業療法学専攻2年次科目「作業療法評価実習Ⅱ(精神・認知系)」開講時 期の変更について、後期配置科目数の学生への負担が増えないよう、「地域作業療法学」を「2後」から「2前」に変更した。言 語聴覚学専攻では、2年次科目「臨床心理学」「聴覚障害学」を、「2前」から「2後」に変更した。いずれの科目も同一学年内で の変更であり、教育課程の体系性への影響はなく、学生に対しても、十分に説明を行うため教育効果に支障は生じない。

Ⅳ 令和2年度設置認可申請時のシラバス変更

① 1部遠隔授業を実施した科目

「英語 I」(1前後)

(別添資料18-1-①、②) (別添資料18-2-①、②) 「情報処理演習 I 」(1前) 「運動療法学」(2前)

② 1部遠隔授業の実施と成績判定方法を変更した科目

(別添資料18-3-1)、2)

③ 1部遠隔授業の導入と補講を実施した科目

「運動生理学実習」(2前) 「運動機能学実習」(2前) (別添資料18-4-1)、②) 「運動生理学実習」(2前) (別添資料18-4-①、②)「運動機能学実習」(2前) (別添資料18-5-①、②)「理学療法運動学実習」(2前) (別添資料18-6-①、②)「理学療法検査実習I」(2前) (別添資料18-7-①、②) 「生活活動と障害」(1前) (別添資料18-8-①、②) 「基礎作業学実習」(1前) (別添資料18-9-①、②)

(別添資料 1 8 - 1 3 - ①、②) (別添資料 1 8 - 1 4 - ①、②) 「地域作業療法学」(2前) 「言語発達障害検査実習」(2前)

※「新型コロナウィルス感染症対応のシラバス」と「設置認可申請書のシラバス」を対比した資料を、別添資料として添付す

る。 ※【令和2年度追加書面調査にて報告済】 2年次前期に配置している「理学療法測定実習 I 」 (別添資料 1 9 - 1) を、学生の安全確保・健康確保の観点から設置認可申請書のシラバスに記載している対面授業の一部 (15回の授業中6回) を自宅における遠隔 授業に変更した。「理学療法測定実習 I 」の成績評価方法については、筆記試験50%、実技試験50%を、筆記試験100%に変更し た。(別添資料19-2)

Ⅴ 学生の学修環境の整備

新型コロナウイルスに対する本学の対応方針を6報(別添資料20-1、2、3、4、5、6)にわたりホームページ上に掲 載し、状況に応じた対応を行った。

VI コロナ禍における令和3年度入学者選抜にかかる変更

「事務連絡令和2年11月25日 令和3年度大学入学者選抜における新型コロナウイルス感染症への対応等に関する変更報告について(依頼)」により、コロナ禍での受験機会確保を考慮し、総合型選抜において、2回の受験機会(実施日3月16日、3月25 日)を追加した。

※I・II・III・IV・VIについては、単年度(令和2年度のみ)の対応である。

≪令和3年度≫

I 遠隔授業実施及び実施予定の科目

コロナウイルスの非常事態宣言中の地域や所属大学の規則により、対面授業を一部実施できない授業において、遠隔授業を実 施する予定である。実施予定科目は以下のとおりである。

理学療法学専攻1年次科目 「スポーツ心理学」 理学療法学専攻2年次科目 「産業保健論」 3専攻共通科目

「生命倫理」

【設置計画履行状況報告書・補足説明資料(専門職大学等)】

(共涌留意事項)

- ○「認可(設置)時の計画 には認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」で記載した計画を記入ください。
- ○認可申請書に記載がなければ「記載なし」と記入ください。
- 〇「履行状況」には報告時点で取り組んでいる事項(準備状況含む)を記入ください。

その際、「認可(設置)時の計画」から変更している場合は、変更した理由を具体的に記入ください。

① 入学者選抜

図 可 (設 置) 時 の 計 画 履行状況 (学試験と募集区分の変更 入試方法については、一般入試、AO入試選考、指定校推薦、公 (1) 墓集区分の名称変更 募制推薦、社会人選考の5つとする。 「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直し係る予告の改正について (通知)」(30文科高等370号 平成30年10月22日)により、以下の名称へ変 及した。 入試方法については、一般入試一般選抜 (一般選抜・大学入学共通テスト 利用選抜)、AO入試選考総合型選抜、指定校推薦学校推薦型選抜 (指定校 推薦型選抜)、公募制推薦学校推薦型選抜 (公募推薦型選抜)、社会人選考 社会人選抜の5つとする。【令和3年度】 募集人員について (2) 墓集区分の追加 募集人員を以下のように定める。 一般選抜の中に大学入学共通テスト利用選抜を追加した。これに 伴い、募集人員を以下のように変更した。 を以下のように変更した。 一般入試21名 一般選抜11名・大学入学共通テスト利用選抜10名 理学療法学専攻 一般入試21名 作業療法学専攻 一般入試12名 言語聴覚学専攻 一般入試12名 理学療法学専攻 作業療法学専攻 一般入試12名 一般選抜 7名・大学入学共通テスト利用選抜 5名 言語聴覚学専攻 一般入試12名 一般選抜 7名・大学入学共通テスト利用選抜 5名 【今和3年度】 (3) 入学試験内容の追加 入学試験内容について 「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告の改正について (通知) 」 (30文科高等370号 平成30年10月22日) により、学校推薦型選抜 【AO入試選考】 選抜方法は、ゼミナールの成績、面接、志望理由書、活動報告書 を資料とし総合判定する。 (指定校推薦型選抜)と総合型選抜において、評価方法に「プレゼンテー ション」を追加した。【令和3年度】 【指定校推薦選考】 選抜方法は、面接及び調査書、活動報告書を資料とし総合判定す ※入学者選抜において実際に各項目に該当する選抜を実施していればの結果と ・多様性に配慮した選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 受験者や合格者の内訳を差支えない範囲で記入ください。 AO入試選考においては、学力だけでなく、個性や創造性が豊かで、意 < 令和元年度 AO入試選考 各専攻受験者·合格者内訳> 理学療法学専攻:受験者 10名・合格者 9名 欲にあふれた学生を受け入れる。 作業療法学専攻:受験者 7名・合格者 4名 言語聴覚学専攻:受験者 3名・合格者 6名(別専攻から2次志望による合格者含む) 選抜方法は、本学でのゼミナール(講義と演習)を修了した者の中から ゼミナールの成績、面接、志望理由書、活動報告書を資料とし総合判定 言語聴見子専攻: 支験台 3名・合格台 6名(別専攻から2 < 令和2年度 AO入試選考 各専攻受験者・合格者内訳> 理学療法学専攻: 受験者 6名・合格者 15名 作業療法学専攻: 受験者 6名・合格者 6名 言語聴覚学専攻: 受験者 4名・合格者 4名 する。(募集人員:理学療法学専攻14名、作業療法学専攻8名、言語聴覚 学車政8名) <令和3年度 総合型選抜 各専攻受験者·合格者内訳> 理学療法学専攻:受験者 11名 合格者11名 作業療法学専攻:受験者 7名・合格者 7名 言語聴覚学専攻:受験者 6名・合格者 6名 <令和4年度 総合型選抜 各専攻受験者·合格者内訳> 理学療法学専攻:受験者 14名 • 合格者14名 作業療法学専攻:受験者 3名·合格者3名 言語聴覚学専攻:受験者5名·合格者4名 社会人選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 社会人選考は、下記のいずれかに該当する者で、将来、保健医療専門 < 令和元年度 社会人入試 各專攻受験者·合格者内訳> 和九年度 145人人员 日本人人员 日日 理学療法学専攻:受験者 0名·合格者 0名 作業療法学専攻:受験者 0名·合格者 0名 職として働く意欲を持って学ぶことができる者に対して、学力試験を免除 し、小論文及び面接、志望理由書の内容を総合的に判定して行う 言語聴覚学**車**攻·受験者 1名 6格者 1名 a.大学入試資格を有する者で、社会人として2年以上の経験のある者 <令和2年度 社会人入試 各専攻受験者·合格者内訳> 理学療法学専攻:受験者 0名·合格者 0名 作業療法学専攻:受験者 1名·合格者 0名 b.大学を卒業した者あるいは3月卒業見込みの者 c.短期大学を卒業後、社会人として1年以上経験のある者 言語聴覚学専攻:受験者 0名・合格者 0名 d.高等専門学校を卒業後、社会人として1年以上経験のある者 < 令和3年度 社会人選抜 各専攻受験者·合格者内訳> 理学療法学専攻:受験者 1名·合格者 1名 作業療法学専攻:受験者 0名·合格者 0名 (募集人員:公募制推薦入試に含む。公募制推薦入試の募集人員:理 学療法学専攻7名、作業療法学専攻4名、言語聴覚学専攻4名) 言語聴覚学専攻:受験者 0名・合格者 0名 <令和4年度 社会人選抜 各専攻受験者·合格者内訳> 理学療法学専攻:受験者 2名·合格者 2名 作業療法学専攻:受験者 0名·合格者 0名 言語聴覚学専攻:受験者 1名·合格者 1名

臨地実務実習

認可(設置)時の計画

実習先の確保の状況

高知県を中心に西日本をはじめとする全国各地の施設からの承諾を受 け、各専攻における臨床実習目標に対応できるよう臨床実習施設を確保 している。高知県内の臨床実習施設は、理学療法学専攻60施設、作業 療法学専攻72施設、言語聴覚学専攻48施設である。また、高知県外の 臨床実習施設は理学療法学専攻58施設、作業療法学専攻41施設、言語 聴覚学専攻48施設であり、急性期、回復期、生活期対象の医療機関、介 護老人保健施設等、様々な施設や疾患に応じた理学療法、作業療法、 言語聴覚療法を学ぶことができる質の高い臨床実習施設を確保してい

<認可(設置)時の各専攻の臨地実務実習施設の地域別割合> 理学療法学専攻 作業療法学専攻 言語聴覚学 言語聴覚学専攻 118施設 113施設 96施設 高知県四国3県 60施設(50.8%) 72施設(63.7%) 48施設(50.0%) 22施設(195%) 16施設(136%) 21施設(21.9%) その他 42施設(35.6%) 19施設(16.8%) 27施設(28.1%)

※実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても 記入ください

(略)高知県内の臨床実習施設は、理学療法学専攻60施設<mark>64施設</mark>71施設、作業療 法学専攻72施設77施設、言語聴覚学専攻48施設63施設64施設である。また、高知県外の臨床実習施設は理学療法学専攻58施設5施設、作業療法学専攻 、言語聴覚学専攻48施設57施設61施設であり、急性期、回復期、生 活期対象の医療機関、介護老人保健施設等、様々な施設や疾患に応じた理学療法、作業療法、言語聴覚療法を学ぶことができる質の高い臨床実習施設を確保し ている。【令和3年度】【令和4年度】

変更した具体的理由

学生の履修における利便性に配慮するためと、学生が希望する分野での学修の

機会を確保するため。【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大により受け入れ可能施設が減少、新たに追加するこ とで学修の機会を確保するため。【令和3年度】【令和4年度】

<今和2年度に変更後の各車攻の臨地実務実習施設の地域別割合>

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	言語聴覚学専攻
総 数	123施設	118施設	110施設
高知県	64施設(52.0%)	77施設(65.2%)	53施設(48.2%)
四国3県	16施設(13.0%)	22施設(18.6%)	27施設(24.5%)
その他	43施設(35.0%)	19施設(16.1%)	30施設(27.3%)

<令和3年度に変更後の各専攻の臨地実務実習施設の地域別割合>

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	言語聴覚学専攻
総 数	134施設	118施設	114施設
高知県	71施設(53.0%)	77施設(65.2%)	54施設(47.4%)
四国3県	18施設(13.4%)	22施設(18.6%)	27施設(23.7%)
その他	45施設(33.6%)	19施設(16.1%)	33施設(28.9%)

<令和4年度に変更後の各専攻の臨地実務実習施設の地域別割合>

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	言語聴覚学専攻
総 数	136施設	120施設	115施設
高知県	71施設(52.2%)	77施設(64.2%)	54施設(47.0%)
四国3県	20施設(14.7%)	22施設(18.3%)	28施設(24.3%)
その他	45施設(33.1%)	21施設(17.5%)	33施設(28.7%)

実習水準の確保の方策

臨床実習委員会を設置し、臨床実習水準を確保するため、臨床実習指 導体制、および臨床実習受入れ施設との連携体制の構築を行う。

大学側と臨床実習施設側の指導者が連携して臨床実習指導を行う。臨床実習指導者は、大学の提示した実習計画に基づき、臨床実習環境を調整し、学生が担当する対象者の評価や治療プログラム立案・修正、治 療の実施、スタッフとの調整等を行う。また、大学臨床実習担当者と指導 状況について密に情報交換する。

臨床実習にかかる教員と受入れ施設の臨床実習指導者等で構成され る臨床実習指導者協議会を年1回開催する。参加者の臨床実習運営に 関わる情報交換をするとともに、臨床実習における学修成果の評価を共 有し、課題の検討を大学側と受入れ施設側で共に行う。その結果に基づ き、次年度の臨床実習を計画することにより、学修環境や指導体制の改

教員及び臨床実習指導者を対象とした臨床実習指導、卒前・卒後教育 等に関連した研修会も実施する。

学生に対しては、臨床実習ナリエンテーションをに行い、臨床実習の目的を周知し、学生の不安を軽減し、早期に問題対応できる体制を構築す

実習先との連携体制

臨床実習施設との連携体制を維持するため、大学臨床実習担当教員 と臨床実習指導者は適時連絡を取り合い、学生指導及び臨床実習全般 の調整を行う。臨床実習担当者による臨床実習巡回指導では、大学と臨 床実習施設との情報交換、連携が十分に図れる体制をとる。臨床実習施設への訪問は原則として2年次の臨床実習を除き、各臨床実習期間中に 1回、あるいは要請もしくは必要に応じて複数回の訪問を行う。臨床実習 巡回指導では学生の健康状態を確認するとともに、学生からの相談に応 じ、臨床実習中の学修に関するサポートも行う。

臨床実習を確実に履行できるよう、専任教員は巡回指導時以外にも臨 床実習指導者ならびに学生と1週間に1回程度定期的に連絡をとり、臨 床実習の状況を確認、学生及び臨床実習指導者が抱える悩みや問題等 について指導・援助を行う。連絡の手段として、臨床実習指導者について は電話を、学生については電話及びメールを使用する。

連携実務演習等

「記載なし」

「認可(設置)時の計画どおりに履行」

令和元年度より臨床実習委員会を設置し、臨床実習水準を確保するため、大学 教員及び臨床実習指導者との臨床実習指導体制、および臨床実習受入れ施設と の連携体制の構築を行っている。【令和元年度】【令和2年度】【令和3年度】【令和4 年度】

「臨床実習指導要項」を作成し、2年次の臨床実習前に承諾を受けた臨床実習 施設に配布し、内容を確認して後に臨床実習指導にあたるよう周知を行った。【令 和2年度【【令和3年度】【令和4年度】

「学生用臨床実習ガイド」を作成し、2年次の臨床実習前に臨床実習オリエン テーションを行った。【令和2年度】【令和3年度】【令和4年度】 「客観的臨床能力試験(OSCE)学生用マニュアル」を作成し、3年次にオリエンテーションを行った。【令和3年度】【令和4年度】

「客観的臨床能力試験(OSCE)」を4年次に行った。【令和4年度】

臨床実習指導者協議会については、令和3年度に開催予定。 臨床実習指導者協議会をリモートにて行った。【令和3年度】

「認可(設置)時の計画どおりに履行」

2年次の「理学療法臨床実習 I 」「作業療法臨床実習 I 」「言語聴覚療法臨床実 習Ⅰ」では、臨床実習指導者と電話にて、学生指導及び臨床実習全般の調整を 行った。学生から専任教員への臨床実習に関する相談は、電話にて行った。【令和 2年度【令和3年度】

3年次の「理学療法臨床実習Ⅱ」「作業療法臨床実習Ⅱ」「言語聴覚療法Ⅱ」で は、臨床実習期間中に訪問にて指導を行った。新型コロナウイルス感染症対策として専任教員の訪問が困難な施設に対しては、リモート又は電話にて指導を行った。 また、学生に対して週1回程度、電話及びメールにて指導・援助を行った。【令和3年

③ その他

認可(設置)時の計画

※実際に実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置につい ても記入ください。

・ 同時に授業を行う学生数が40人を超える場合に講じる措置

・ 同時に投業を打り子生数が40人を起える場合によりの行用により名を超える授業科目は、3専攻の学生が共通して学修する科目の、必修科目の「地域包括ケア論」(3年次)、「リーダーシップ論」(4年次)、「チーム連携論」(4年次)、選択科目の「生命倫理」(3年次)、「国際関係論」(4年次)である。

(略)理学療法学専攻としては、「展開科目」の「企業論」(2年次)、「経営組織論」(3年次)、「マーケティング論」(3年次)、「経営管理論」(3年次)、「起業論」(3年次)である。(略)

履行状況

理学療法学専攻としては、「展開科目」の「企業論」(2年次)、「経営組織論」(3年次)、「マーケティング論」(3年次)、「経営管理論」(3年次)、「起業論」(3年次)である。作業療法学専攻及び言語聴覚学専攻では、同時「二40名を超える授業科目はない。

変更した具体的理由

「企業論」(2年次)については、2クラス開講が可能となったため。【令和2年度】

教育効果を確保するために、授業担当教員に専任教員や理学療法士・ 作業療法士・言語聴覚士の資格等を有する者を教育補助者としてつけ、 学生の授業理解促進のための支援や助言等を行う。また、授業担当教 」、エンスポーストルル・シーンの人法、ドッカーサビコノ。よん、放本に当然 員が円滑な講義が進行できるように補助する。視聴覚設備などの完備や 十分な収容能力を持つ講義室で行う。

その他の科目「認可(設置)時の計画どおりに履行」

・ 入学前の実務経験を単位に換算した場合、その実施状況 (換算の対象とした実務経験の内容と、換算した単位数、適切な換算 が行われていることを説明すること。また換算の根拠となる規定等も添付 すること)

教育補助者をつけて、視聴覚設備などの完備や十分な収容能力を持つ講義室で

「記載なし」